



報 會 師 劑 藥 沖 繩

No.295. 2018(平成30年) 12月号



沖 繩 県 薬 劑 師 会

目次

薬剤師綱領	(1)
表 彰	秋の叙勲 旭日小綬章 (神村武之先生)	(2)
	平成30年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰 (上原正徳先生、小湾勝敏先生)	(3)
	学校保健および学校安全文部科学大臣表彰 (神谷正秀先生)	(3)
	平成30年度 沖縄県薬事功労者知事表彰 (伊佐常隆先生)	(4)
	九州山口薬剤師会会長表彰 (山里勇先生)	(5)
	沖縄県立学校保健会より感謝状授与 (西登貴世先生)	(5)
	第50回沖縄県公衆衛生大会知事表彰 (小渡宏二先生)	(6)
	第50回沖縄県公衆衛生大会大会長表彰 (内間俊和先生、比嘉はつみ先生、平良恭子先生)	(6)
	沖縄県健康づくり表彰 (がんじゅうさびら表彰) 準グランプリを受賞.....	(7)
沖縄学術大会	第32回沖縄県薬剤師会学術大会報告.....	外間惟夫 (8)
	第32回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム.....	(10)
	第32回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会.....	大城喜仁 (16)
	第32回沖縄県薬剤師会学術大会奨励賞受賞講演要旨.....	(17)
薬と健康の週間	くすりと健康フェア 会長あいさつ.....	亀谷浩昌 (19)
	くすりと健康フェア.....	山城英人 (20)
	薬祖祭.....	大城喜仁 (22)
	平成30年度「薬と健康の週間」行事表.....	(23)
薬 事 情 報	薬事情報センター委員会主催 アンチ・ドーピング研修会報告.....	吉田典子 (24)
	アンチ・ドーピング研修会に参加して.....	南雲翔太 (25)
災 害 対 策	平成30年度沖縄県災害対策本部設置運営訓練に参加して.....	鈴木玲子 (25)
月例相談会	第160回健康とおくすり相談会報告 (南部地区薬剤師会)	(27)
	第161回健康とおくすり相談会報告 (南部地区薬剤師会)	(27)
	第162回健康とおくすり相談会報告 (宮古地区薬剤師会)	(27)
	第163回健康とおくすり相談会報告 (那覇地区薬剤師会)	中村昌義 (28)
	第164回健康とおくすり相談会報告 (中部地区薬剤師会)	四谷祐子 (29)
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報.....	(30)
D I	薬事情報おきなわ No. 252.....	薬事情報センター (31)
公 示	一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長候補者選挙に関する公示	亀谷浩昌 (37)
告 示	沖縄県薬剤師会代議員選挙の告示.....	選挙管理委員会 (38)
薬 局 訪 問	はいさい！はいた～い！宮盛薬局.....	前濱朋子 (42)
	平成30年度 第3回理事会(臨時)議事概要.....	(44)
	平成30年度 第4回理事会議事概要.....	(47)
	平成30年度 第5回理事会議事概要.....	(55)
告知ポスター	くすりと健康フェア.....	(62)
転 載 記 事	患者第一対話で信頼 旭日小綬章 神村武之さん.....	(2)
	空手と私 拳に刻む「報恩継承」 厳しい稽古と仕事両道 神村武之さん	(2)
	平成30年度薬事功労者厚生労働大臣表彰 上原正徳氏・小湾勝敏氏.....	(3)

・表紙

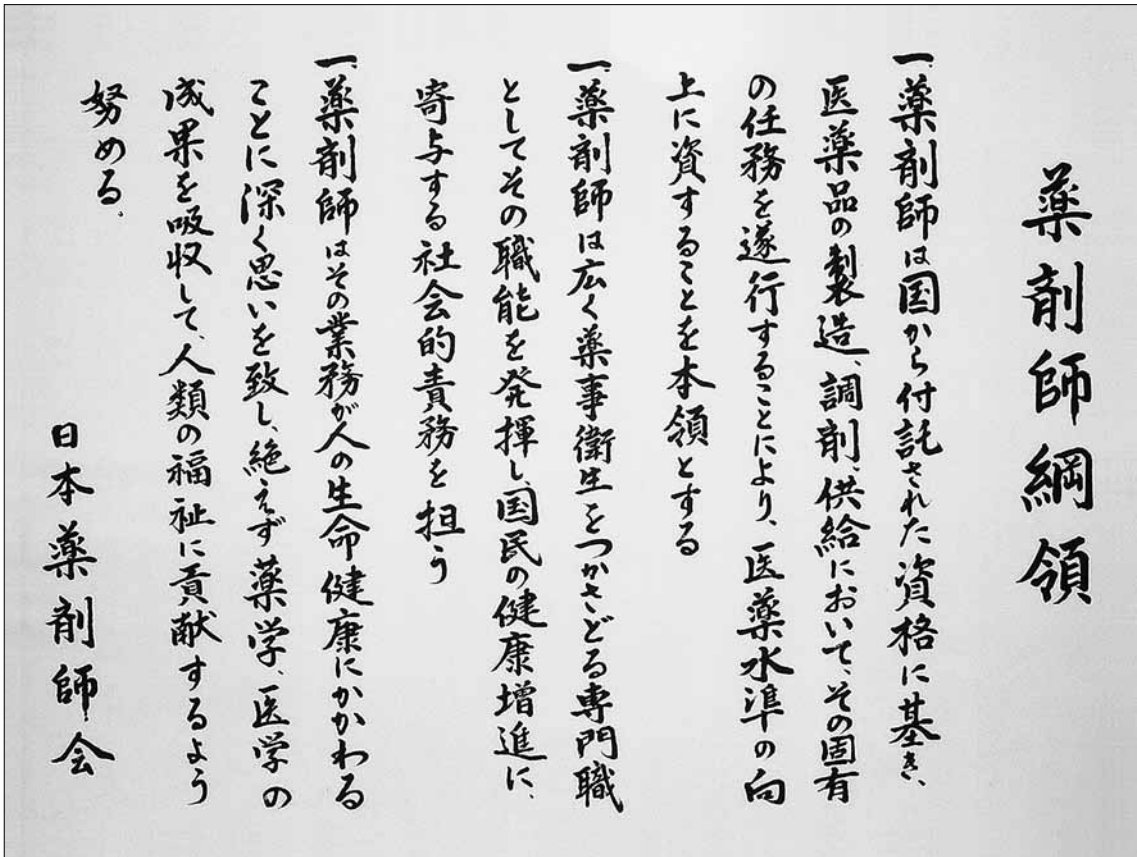
「トリノの薬局」 photo by 廣川 直子 (ハイジア薬局)

撮影地：イタリア トリノ

イタリアのトリノ中心部近郊にある世界遺産、サヴォイア王家の王宮群のひとつ、ヴェナリアアレー (ヴェナリア王宮) 近くの薬局です。

とよ ひら ほう うん
題字：豊平峰雲

転載記事	伊佐さんに知事表彰 薬事功労、中部地区薬剤師会長…………… (4)
	健康づくり推進 6団体がんじゅうさびら表彰 活動も報告…………… (7)
	くすりと健康フェア 県民公開講演会…………… (63)
	論壇 お薬手帳は健康ツール 本人の症状 スムーズに伝達 ……………成川賢一 (64)
	論壇 「かかりつけ薬剤師」健康と生活サポート ……………幸地良信 (65)
	薬と健康の週間で講演会 薬の正しい知識学んで…………… (66)
	認可外保育園にマスクを4万枚 県医薬品卸業協会が寄贈…………… (66)
	薬と健康の週間PR広告 薬局は健康サポート拠点……………日本薬剤師会 (67)
	第1回：「かかりつけ薬剤師をもちましょう」……………日本薬剤師会 (68)
	第2回：「お薬手帳はお持ちですか」……………日本薬剤師会 (69)
	第3回：「薬剤師がご自宅に伺います！」……………日本薬剤師会 (70)
	第4回：「薬局の健康サポート機能を上手に活用」……………日本薬剤師会 (71)
会務報告	平成30年11月分…………… (72)
	沖縄県薬剤師連盟会務報告 (平成30年11月分) …………… (75)
年間目次	おきなわ薬剤師会報 平成30年もくじ (通巻291号～295号) …………… (76)
一包一話	おお！久米島……………橋の下 (86)
会員作品	誌上ギャラリー (会員作品) について…………… (88)
編集後記	…………… (88)
お知らせ	平成30年度 沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内 …………… (6)
	会報原稿募集のご案内…………… (54)
	沖縄県薬剤師会 Facebookをご覧ください！…………… (89)



日本薬剤師会 昭和48年10月10日制定

会員 太田節子書

秋の叙勲 旭日小綬章



神村 武之先生 受章おめでとうございます

平成30年11月3日 (土) 沖縄タイムス



患者第一 対話で信頼

旭日小綬章

神村武之さん(70)

元県薬剤師会会長

県薬剤師会の事務長を23歳から務めた後、理事や副会長、会長を務めた。医薬分業が年々進み、薬剤師に求められる役割が大きくなっていく中、「いつでも患者が第一」とモットーを持ち続けてきた。

会長時代、安価なジェネリック医薬品の周知に努め、県内使用割合は全国一となった。「県民所得が低いという要因もあるだろうが、現場の薬剤師の説明努力と素直な県民性が大きい。信頼関係あってこそ」と振り返る。

ジェネリック医薬品の活用は薬局側として在庫を抱えることもあり、利点は少ないというが、「それでも患者のニーズに幅広く応えたい」と語る。

「時代とともに役割が変わっても、対話が最も重要なのは変わらない」と患者と向き合い続ける。

(那覇市三原3の12の21)

平成30年12月16日 (日) 沖縄タイムス

拳に刻む「報恩継承」

「小さい頃から勉強よりもスポーツが好きだった。空手を始めたのは、単純だが強くなったから。那覇市三原で薬局を営む神村武之さん(70)は18歳で剛柔流道館に入門して日々鍛錬を重ねることで、会長を務めた元薬剤師としてのシネリック医薬品の周知に努めるなど、「文武両道」の半世紀を送ってきた。

(政経部・鏡刈一哲)

神村武之さん(70) 元県薬剤師会会長

空手と私

少年時代に野球や柔道などで体を動かすことが好きで、空手に出合ったのは18歳。あの頃は「ムキムキ」といえるくらい、周囲の人が空手を習っていた。誰か強くなりたいと考えていたと友人とともに剛柔流道館に通い始めた。

道場では一生の付き合いとなる3人の師に出会った。1人は上原恒氏、「どんなにきれいな型を覚えても体幹がなければ武術としては通用しない」と指導

を受け、石樋(チーシ)やカーミンと置名を使った鍛錬で徹底的に筋力を鍛えた。「厳しい先生で、鍛錬中に談笑しあうものなる恐ろしい」と振り返る。

宮城安一氏にはウチナケチ12時間の詳細な指導を受け「メン

厳しい稽古と仕事両道



薬剤師の仕事と空手の鍛錬を両立してきた神村武之さん(70) 那覇市三原

すよ」と懐かしむ。

上原氏が直心館上原空手道場を開いてから自らも移籍したが、2人の師からも指導を受けた。仕事では薬剤師会での勤務を経て1979年に開南薬局を開いた。昼間は妻と三脚で薬局を切り盛りし、夕方からは道場で自己鍛錬や師範代として弟子の指導を毎日続け「夢中になつて入りがなくなり家に帰れなくなつたこともある」と笑う。県薬剤師会の発展にも尽くし、今年の秋の叙勲では旭日小綬章を受章した。

沖縄サミットの歓迎レセプションでは各国首脳の前で演武を披露し、フランスやドイツでの武芸祭への参加など沖縄空手を世界に向けて発信してきた。心には「報恩継承」の文字を意識し続ける。現在教士八段。「先達の努力に報い、沖縄空手道の継承に微力ながら努めたい」と話し、最も願うことに沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を挙げた。

稽古で「十二手」(セーサン)を披露する神村武之さん(70) 那覇市三原・沖縄空手道協会 直心館(空手道場)

平成30年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰



上原 正徳先生 小湾 勝敏先生
おめでとうございます



平成30年10月16日、厚生労働省講堂にて記念撮影
上原正徳氏(左)と小湾勝敏氏(右)



平成30年度薬事功労者厚生労働大臣表彰
(16日)
【薬剤師会】上原正徳(元県病院薬剤師会副会長)▽小湾勝敏(元県病院薬剤師会理事)

平成30年10月17日(水)
沖縄タイムス・琉球新報

※発行元が記事利用を許諾しています。

学校保健および学校安全文部科学大臣表彰



神谷 正秀先生 おめでとうございます



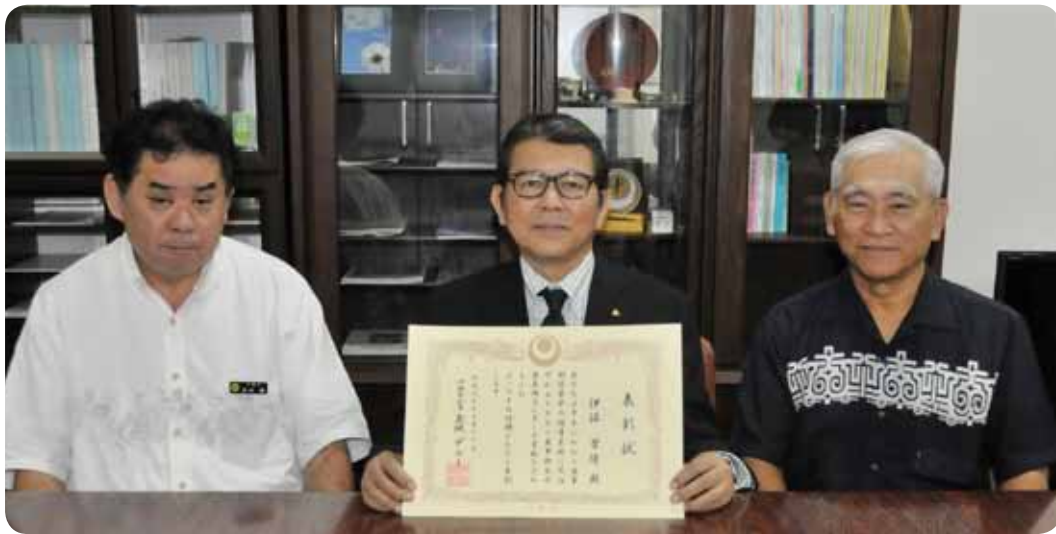
平成30年度 沖縄県薬事功労者知事表彰



伊佐 常隆先生 おめでとうございました

期日：平成30年10月12日（金）

会場：沖縄県保健医療部 部長室



左より、砂川靖 沖縄県保健医療部長、伊佐常隆氏、亀谷浩昌会長

平成30年10月14日（日）琉球新報

平成30年10月13日（土）沖縄タイムス

伊佐さんに知事表彰 薬事功労、中部薬剤師会長

2018年度薬事功労者知事表彰式が12日、県庁で開かれ、受賞した中部地区薬剤師会の伊佐常隆会長(66)＝読谷村、写真＝に表彰状が渡された。



伊佐さんは1978

年から学校薬剤師に委嘱され、学校保健活動の向上に貢献した。「受賞は重みがあり、責任を感じる。今まで通り与えられた仕事をやっていきたい」と語った。

薬事功労者に 伊佐さん選出 40年の活動たたえる

本年度薬事功労者の知事表彰受賞者に、中部地区薬剤師会会長の伊佐常隆さん(66)＝読谷村＝が選ばれた。

12日、県庁で表彰式があり、県の砂川靖保健医療部長から賞状を手渡された伊佐さんは「重みがある。これからも気負うことなく、自分に与えられた仕事を淡々と、地域のためにやっていきたい」と語った。

伊佐さんは読谷村内で薬局を経営しながら、中部地区薬剤師会の副会長を16年、会長を1年10カ月務めているほか、学校薬剤師を40年間続け、多い時で6校を担当した。



薬事功労者表彰を受け、県担当者と懇談する伊佐常隆さん(左)と県薬剤師会の亀谷浩昌会長(右)12日、県庁

※発行元が記事利用を許諾しています。

九州山口薬剤師会会長表彰



山里 勇先生 おめでとうございます



第79回九州山口薬学大会本会議 会期：平成30年11月3日（日） 会場：別府国際コンベンションセンター B-ConPlaza



前列左より2人目が山里 勇氏



山里 勇氏（中央）を大会参加者で囲んでお祝い

沖縄県立学校保健会より感謝状授与



西 登貴世先生 おめでとうございます



第30回沖縄県立学校保健研究大会 会期：平成30年11月29日（木） 会場：沖縄県立総合教育センター



第50回 沖縄県公衆衛生大会知事・大会長表彰

おめでとうございます 小渡 宏二先生 (知事表彰)
内間 俊和先生・比嘉 はつみ先生・平良 恭子先生 (大会長表彰)

期日：平成30年11月2日 (金) 会場：沖縄県市町村自治会館



2列目右から、3人目が比嘉はつみ氏、2人目が平良恭子氏。小渡宏二氏と内間俊和氏は諸都合により欠席。

平成30年度 沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内

日時：平成31年1月20日 (日) 午後6時～

会場：ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 守礼の間

- | | | | | |
|---------------------|---------|---------|--------|--|
| 【旭日小綬章】 | 神村 武之氏 | | | |
| 【薬事功労者厚生労働大臣表彰】 | 上原 正徳氏 | 小湾 勝敏氏 | | |
| 【公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰】 | 神里 まり子氏 | | | |
| 【学校保健功労者文部科学大臣表彰】 | 神谷 正秀氏 | | | |
| 【日本薬剤師会有功賞】 | 長嶺 文子氏 | 金城 孝有氏 | 宮里 暁子氏 | |
| 【九州山口薬剤師会会長賞】 | 山里 勇氏 | | | |
| 【沖縄県薬事功労者知事表彰】 | 伊佐 常隆氏 | | | |
| 【沖縄県公衆衛生大会知事表彰】 | 小渡 宏二氏 | | | |
| 【沖縄県薬剤師会会長表彰】 | 萩堂 盛浩氏 | 吉田 和子氏 | 知念 正人氏 | |
| | 福地 健治氏 | 吉富 弓江氏 | | |
| 【沖縄県学校保健功労者表彰】 | 真栄城 玄一氏 | 垣花 千エミ氏 | 山城 専氏 | |
| 【沖縄県公衆衛生大会会長表彰】 | 内間 俊和氏 | 比嘉 はつみ氏 | 平良 恭子氏 | |

※祝賀会チケットをお求めの方は、沖縄県薬剤師会事務局、または地区薬剤師会までご一報ください。

沖縄県健康づくり表彰(がんじゅうさびら表彰) 準グランプリを受賞



沖縄県薬剤師会は、平成16年～現在までに160回を超える健康とおくすり相談会を実施してきました。この取り組み実績を同表彰の地域活動部門に応募したところ、準グランプリを受賞しました。





健康づくり6組表彰
がんじゅうさびら表彰 活動も報告

【北中城】健康づくりに取り組む団体や企業を表彰する「県健康づくり表彰」の表彰式が18日、イオンモール沖縄ライカムで開かれた。正・準グランプリを受賞した6組に表彰状と記念品が贈られた。写真。

地域活動部門ではラジオ体操などを通して地域児童の育成に取り組む平均年齢81歳の「曙願寿会」(那覇市)がグランプリを受賞した。上原美智子会長は「自分たちの健康のために始めたが、地域の活性化につながり生きがいになってうれしい」と喜びを語った。

事業所部門でグランプリを受賞したのは、健康に関する社員勉強会や公園の清掃などに力を入れる三崎工業(那覇市)。出席した知

念秀明取締役は「長寿沖縄復活のために今後も最新の情報を取り入れながらさらなる健康増進を目指したい」とあいさつした。

表彰式は17、18の両日に県がライカムで実施した健康イベント「みんなで！ヘルスアクション」の一環として開かれ、多くの来場者が受賞者の活動報告に聞き入った。

各部門の準グランプリは次の通り。

【地域活動部門】県薬剤師会(南風原町)、こくら文化・スポーツクラブ(那覇市)【事業所部門】丸政工務店(金武町)、第一生命保険那覇支社(那覇市)

平成30年10月19日(月) 沖縄タイムス

平成30年11月20日(火) 琉球新報



健康づくり推進6団体知事表彰
がんじゅうさびら事業

【北中城】健康づくりに取り組みを積極的に実施している団体や事業所を表彰する「県健康づくり表彰」(がんじゅうさびら表彰)式典が18日、北中城村のイオンモール沖縄ライカムで開かれた。事業所部門のグランプリを受賞した三崎工業(那覇市)や地域団体部門グランプリの曙願寿会(那覇市)など計6団体が知事表彰を受けた。

がんじゅうさびら表彰は、2040年までに県民の平均寿命世界一を目標に掲げた「健康長寿おきなわ復活プロジェクト」の一環。事業所部門準グランプリには丸政工務店(金武町)と第一生命保険那覇支社(那覇市)、地域団体部門準グランプリには、県薬剤師会(南風原町)とこくら文化・スポーツクラブ(那覇市)が受賞した。

※発行元が記事利用を許諾しています。

沖縄学術大会

第32回沖縄県薬剤師会学術大会報告

日時：平成30年10月28日（日）10:00～17:10

会場：沖縄県看護協会館（会員発表・ランチョンセミナー・特別講演・機器展示）
沖縄県薬剤師会館 ホール（懇親会）



亀谷浩昌大会会長挨拶

爽やかな秋晴れの10月28日（日）、沖縄県看護協会館に於いて「薬剤師が動くとき 地域医療が活きる」をテーマに第32回沖縄県薬剤師会学術大会が開催された。今大会の参加者は269名（県薬181名、病薬85名、非会員3名）であり、看護協会での開催もすっかり定着した感がある。

照屋勇人大会実行委員の進行のもと定刻に開始し、まず大会実行委員長として現在、厚労省からエビデンス創出が求められ、さらに来年度日薬学術大会での倫理審査の必須化、さらに県薬でも倫理審査委員会を設立中であるなど、今後の学術活動の必要性を述べて開

大会実行委員長
外間 惟夫



会の辞とした。続いて亀谷大会会長から「本庶佑博士のノーベル医学生理学賞受賞を契機にオプジーボ等の高額な免疫治療への関心が高まり、医療の費用対効果が求められてくる。その時薬剤師は薬物療法の効果と副作用モニターなどの薬学的ケアとともにポリファーマシーの解消、フォーミュラリーへの取り組み、さらに市販薬等のセルフメディケーション推進など、医療チームの中で薬剤師に期待されるものは何か、しっかり考えて期待に応えて

いきたい。また学術大会では情報を受け取るだけでなく、日々の仕事の中で得た知見を発信することも大事なことである。多くの会員が演題発表をすることを願っている。」と挨拶があった。

会員発表の部では、沖縄県立中部病院の伊波寛史氏、いしみね薬局の山内優香氏、とくりん薬局の宮城勇己氏、琉球大学医学部附属病院の山田智史氏が座長を務め、病院薬剤師関連から8演題、保険薬局・その他部会関連から9演題の合計17演題の発表が行われた。大会奨励賞は、病院薬剤師関連部門では沖縄協同病院の入月健氏による「在宅療養を希望されるオピオイド持続皮下注射使用患者のために」が、薬剤師がチーム医療の中心となった在宅がん患者の終末医療の実践が評価された。保険薬局・その他関連部門ではうちどまり薬局の田中由紀子氏による「調剤薬局での関節リウマチ患者への薬剤師の関わり～抗リウマチ薬の休薬に対する指導効果～」が抄録の具体的記載と、保険薬局において投薬後ケアを通じた患者セルフマネジメント支援が評価され、それぞれ受賞となった。ただ、選考委員からは来年度より倫理的配慮が不明の場合は選考対象外とする付帯意見もあり、薬剤師も研究者としての意識を高めていく必要がある。


ランチョンセミナーはファイザー株式会社との共催で、那覇市立病院の金城雄一先生を座長に、那覇西クリニックの鎌田義彦先生を講師として「乳癌の治癒に向けて～サブタイプ・ゲノミックス・免疫～」をご講演いただいた。

特別講演では、琉球大学大学院医学研究科・内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)の益崎裕章先生に「人生100年時代の医療はこう変わる！～薬剤師の皆様へ期待される働き方と考え方のイノベーション～」のタイトルでご講演いただき、大変好評であった。

その他、機器展示も開催され最新の自動調

**第32回
沖縄県薬剤師会学術大会**

＜講演要旨＞



薬剤師が動くとき 地域医療が活きる

会期：平成30年10月28日(日)
会場：沖縄県看護協会館(大会・機器展示)
沖縄県薬剤師会館(懇親会)

講演要旨集表紙

大会テーマ：薬剤師が動くとき 地域医療が活きる
写 真：医療ゾーン

今大会は地域医療に関する発表が多いことから、大会テーマを「薬剤師が動くとき 地域医療が活きる」に決定した。地域医療には多職種間の協力が重要である。講演要旨集の表紙には、この大会テーマに相応しいデザインとして、多くの医療関連団体が集中して拠点を置く「医療ゾーン」を用いることにした。他県では見られない風景をドローンで空撮したこのデザインは、2年後に沖縄県内で開催される第80回九州山口薬学大会のインフォメーションにも採用される。

剤ロボット機器や調剤支援技術ソフト等8社の展示・紹介があった。

最後に、普久原隆大会副実行委員長による閉会の辞で盛会のうちに幕を閉じた。

九州山口地区において学術大会を継続開催している県は沖縄、大分、佐賀、熊本の4県のみであり、今年で32回目を迎えることは誇れることである。また、2020年には沖縄で九州山口薬学大会が開催されることもあり、本県での学術活動を一層高めることも喫緊の課題である。

ご協力をいただいた座長や演者の先生方、共催や広告・機器展示に出展いただいた協賛企業と沖縄県薬剤師会事務局ならびに大会運営スタッフの皆様へ、心より感謝申し上げます。

第32回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム

受付 9:00 ~
開会 10:00 ~



司会 第32回学術大会 委員
照屋 勇 人

- 開会の辞 第32回学術大会 実行委員長 外間 惟 夫
- 会長挨拶 第32回学術大会 会長 亀谷 浩 昌



I 会員発表（午前部）

◎演題番号（1～4） 10:10～10:50 座長 伊波 寛 史
（沖縄県立中部病院）



1. 当院入院患者の吸入薬デバイス選択および吸入手技の現状調査

社会医療法人 敬愛会 中頭病院 ○照屋 雄一 具志堅 司
照屋 李佳子 柴田 高輔
渡慶次 真由美 宮城 英之



2. 薬剤アレルギー注意喚起シールを活用した情報提供への取り組みと課題 —アンケート調査を踏まえて—

浦添総合病院 薬剤部 ○島袋 優花 玉城 聖佳
浜元 善仁 翁長 真一郎



3. 在宅療養を希望されるオピオイド持続皮下注射使用患者のために

沖縄協同病院 薬局 ○入月 健



4. 当院薬局に寄せられる電話相談内容の実態調査

沖縄県立中部病院 薬局 ○大浦 宏巳 勝連 真人
喜舎場 知香 野波 陽子 津波 美奈子 與座 順子
赤嶺 一姫 伊波 寛史 上原 淳奈 喜友名 朝史
長田 麗裕 野原 開 宮城 絵梨歩 川平 浩子

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧)

10:50 ~ 11:00



◎演題番号 (5 ~ 9) 11:00 ~ 11:50 座長 山内優香 (いしみね薬局)



5. 調剤薬局での関節リウマチ患者への薬剤師の関わり
~抗リウマチ薬の休薬に対する指導効果~

ぎのわん健康支援センター うちどまり薬局 ○田中由紀子
沖山尚美 又吉敬子
宮城保彦



6. 薬剤師から提案 居宅療養管理指導の一症例

薬局えぱーわーな~ ○平良恭子



7. 長期入院中心静脈栄養患者の退院後の在宅における服薬支援

(株)薬正堂 ○砂川信子
喜屋武芳美 佐藤雅美
比嘉純 仲里遥
上原志緒梨 大城智之
当真房子 宮里敏行



8. 地域の薬剤師コミュニティの活動を

在宅医療の始めるきっかけに活用した一例

ひよこ薬局¹⁾ ○藤原明人^{1,2,3)}
薬水会²⁾ 中部地区薬剤師会³⁾ 玉城武範^{2,3)} 普久原隆^{2,3)}



9. OTC薬の説明書を使ったくすり教育・中学校TT編

学校薬剤師部会 ○知名博樹

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧)

11:50 ~ 12:30



II ランチョンセミナー 12:30～13:30 共催：ファイザー 株式会社
乳癌の治癒に向けて ～サブタイプ・ゲノミクス・免疫～



講師：那覇西クリニック 院長
鎌田 義彦 先生



座長：那覇市立病院 薬剤部長
金城 雄一

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧)
13:30～14:00



III 特別講演 14:00～15:30
人生100年時代の医療は こう変わる！
～薬剤師の皆様へ期待される働き方と考え方のイノベーション～



講師：琉球大学大学院 医学研究科
内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)
教授 益崎 裕章 先生



座長：第32回学術大会 副会長
琉球大学医学部附属病院 薬剤部長
中村 克徳

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧)

15:30 ~ 15:40



IV 会員発表 (午後の部)

◎演題番号 (10 ~ 13) 15:40 ~ 16:20 座長 宮城 勇己 (とくりん薬局)



10. 地域の薬局の特徴を活用した薬学実務実習の学習意識に関する考察

アリス薬局¹⁾ あなたのかかりつけ薬局²⁾ メイト平良川薬局³⁾
ミドリ薬局 美里店⁴⁾ 薬水会⁵⁾ 中部地区薬剤師会⁶⁾
○普久原 隆^{1,5,6)} 上原 卓朗^{2,5)}
福地 健治^{3,5,6)} 玉城 武範^{4,5)}



11. 調剤者に対する薬剤暴露を意識した調剤室内の環境改善への取り組み

有限会社くすりのミドリ ミドリ薬局 美里店
○玉城 武範



12. 居宅療養管理指導～在宅訪問1件からの取り組み～

いは薬局 ○瑞慶山 純子
瑞慶山 礼奈 潮平 沙貴
奥間 七英子 アラ 有美



13. 在宅訪問薬剤師を10年やってみて

～年間プレアボイド数80件に至るまでの道のり～

すこやか薬局 野嵩店 ○石田 浩
松堂 歩 長嶺 夏姫
佐久川 碧 金城 耕晴
當間 彩 比嘉 浩一
喜屋武 芳美 佐藤 雅美

ブレイクタイム (休憩・機器展示等の閲覧)

16:20 ~ 16:30



◎演題番号 (14～17) 16:30～17:10 座長 山田 智史
(琉球大学医学部附属病院)



14. DOAC適正使用における当院の取り組み

友愛会 豊見城中央病院 薬剤科

○三田井 菜菜子

宮 良 政 人 花 城 茜

上 原 政 文 大 城 匡 史

國 分 千 代 橋 本 孝 夫



15. 離島におけるHIV診療開始後の現状とそこから見えてきた薬局での課題

沖縄県立宮古病院 薬局

○諸 見 奈 緒

名 波 元 康 渡 真 利 国 浩

看護部 東 江 忍

総合内科 杉 田 周 一



16. 県立病院間における感染対策チームの連携と薬剤師の役割

沖縄県立北部病院 薬局

○屋比久 篤 志

吉 本 尚 志 徳 嶺 恵 子



17. 薬剤耐性アクションプランに対応した院内抗菌薬採用見直しの効果

琉球大学医学部附属病院薬剤部¹⁾ ○座間味 丈 人^{1,2)} 潮 平 英 郎^{1,2)}

琉球大学医学部附属病院感染対策室²⁾ 外 間 惟 夫¹⁾ 中 村 克 徳¹⁾

琉球大学大学院医学研究科 仲 松 正 司^{2,3)} 西 山 直 哉^{2,3)}

感染症・呼吸器・消化器内科学講座 (第一内科)³⁾ 健 山 正 男^{2,3)} 藤 田 次 郎^{2,3)}

○ 閉会の辞

第32回学術大会 副実行委員長 普久原 隆

〈会員発表審査会〉



病院・診療所薬剤師関連部門審査員

- 小杉 卓大 ○翁長 真一郎 ○徳嶺 恵子
- 垣花 真紀子 ○勝連 真人



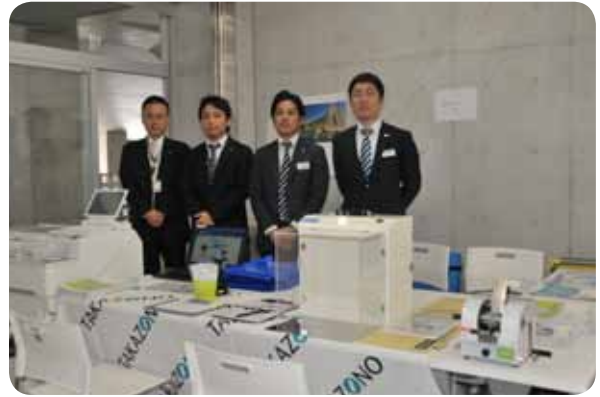
保険薬局・その他関連部門審査員

- 前濱 朋子 ○宮城 幸枝 ○川満 直紀
- 荒井 千春 ○吉富 弓江

〈機器展示コーナー 8社〉



(株) ユヤマ 沖縄営業所



(株) タカゾノ



(株) トーショー 沖縄営業所



(株) リレーションズ



(株) EMシステムズ



(有) アクセス・オー



PHC (株)



沖縄東邦 (株)

第32回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会

日時：平成30年10月28日（日）17:30～19:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

第32回沖縄県薬剤師会学術大会の会員発表、特別講演を無事に終え、会場を沖縄県薬剤師会館に移し、午後5時30分から第32回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会が催された。

司会は学校薬剤師部会の新垣紀子氏が務めた。江夏京子副会長の開会の辞、亀谷浩昌会長の挨拶、糸数公沖縄県保健医療部保健衛生統括監が来賓の挨拶をされた。

続いて、外間惟夫大会実行委員長より発表者全員に演題発表認定証が授与された。今大会は17演題の発表があり、その中でも優秀な発表者に大会奨励賞の授与式が行われた。今年の大会奨励賞は、病院薬剤師関連部門に、沖縄協同病院の入月健氏による「在宅療養を希望されるオピオイド持続皮下注射使用患者のために」、保険薬局・その他関連部門は、

うちどまり薬局の田中由紀子氏による「調剤薬局での関節リウマチ患者への薬剤師の関わり～抗リウマチ薬の休薬に対する指導効果～」がそれぞれ選ばれ、亀谷会長から賞状と副賞が授与された。

次に、沖縄県薬剤師会長表彰が執り行われ、本会に長年貢献された5氏に亀谷会長から賞状と記念品の授与が行われた。荻堂盛浩氏、吉田和子氏、知念正人氏、福地健治氏、吉富弓江氏の5氏を代表して、福地健治氏より受賞の喜びと感謝の言葉が述べられた。

中村克徳大会副会長の乾杯の音頭で歓談に入り、大いに盛り上がった懇親会は、前濱朋子副会長の挨拶で閉会となった。

(文：第32回学術大会事務局 大城喜仁)



奨励賞受賞者
田中 由紀子氏と入月 健氏



会長表彰受賞者
後列左より、吉富弓江氏、他二人は受賞者代理



会長表彰受賞者代表挨拶
福地 健治氏



奨励賞受賞者と来賓席で記念撮影



来賓挨拶
糸数 公
県保健衛生統括監



乾杯の音頭
中村 克徳
大会副会長



司会
新垣 紀子
学校薬剤師部会

<病院診療所薬剤師関連部門奨励賞受賞講演要旨>

3. 在宅療養を希望されるオピオイド持続皮下注射使用患者のために

沖縄協同病院 薬局 ○入 月 健

【背景】

終末期がん患者の疼痛管理において、内服困難な患者や吸収障害のある患者に対してオピオイド持続皮下注射でコントロールされる例がある。そういった患者でも最期の場所を自宅で迎えたいという希望を持っている方も少なくない。しかし、在宅へ移行しようとする際に、オピオイド持続皮下注射を継続したままで受け入れてくれる訪問診療医は限られている。また、麻薬の無菌調整に対応できる保険薬局においては県内で対応できる施設が11施設（2018年9月現在）という状況である。

【目的】

入院中にオピオイド持続皮下注射で症状コントロールが行われている患者を、限られた訪問診療医に頼らずとも、どの訪問診療委でも切れ目のない医療が受けられるようにすることを目標とし、当院の系列事業所で訪問診療をおこなっている協同にじクリニック（現とよみ生協病院）、近隣の保険薬局で麻薬注射の無菌調整に対応できるこくら虹薬局と連携し、入院から在宅への円滑な流れの確立を目指した。

【方法】

沖縄協同病院から医師（緩和ケア内科）、看護師、MSW、医事職員、薬剤師、協同にじクリニック（訪問診療）から看護師、こくら虹薬局から薬剤師が参加し、プロジェクトチームを結成。

【結果】

全6回の会議を行い、「注射麻薬使用患者の在宅退院を支援する手順書」を作成した。手順書作成後、3名の患者の退院支援に関わり、いずれも円滑な退院につながった。また、病院と在宅のスタッフ間の情報交換や連携などもしやすい環境となった。

【考察】

緩和ケアをメインに診ている訪問診療医ではなくても「注射麻薬使用患者の在宅退院を支援する手順書」を作成し、各事業所がそれぞれ何を行うのかを相互に理解することで、切れ目のない医療を提供することが出来た。保険薬局が注射麻薬の無菌調整を行う施設が増えれば、訪問診療医も安心して受け入れることが出来るのではないか。また、病院から退院し、在宅に移行したとしても、その後もお互いに情報交換し連携をとることが重要である。現状は関連施設の間で運用しているが、今後は他の事業所とも連携していきたい。

<保険薬局・その他関連部門奨励賞受賞講演要旨>

5. 調剤薬局での関節リウマチ患者への薬剤師の関わり
～抗リウマチ薬の休薬に対する指導効果～

ぎのわん健康支援センター うちどまり薬局 ○田 中 由紀子 沖 山 尚 美
又 吉 敬 子 宮 城 保 彦

【はじめに】

関節リウマチは、抗リウマチ薬や生物学的製剤を用いた薬物療法により痛みを抑えるだけでなく、進行を抑えることが可能な病気となった。一方、メトトレキサート（MTX）をはじめ、抗リウマチ薬の多くは高い治療効果を持つ反面、感染症というリスクを考慮することが必要である。感染の罹患に気づかずに抗リウマチ薬を使用し続けた場合は重篤な事態となる。日本リウマチ学会からも「MTXを一時休薬する場合」についての患者用パンフレットが作成されている。

当薬局での抗リウマチ薬使用患者からの調剤後の電話相談の約半数は、風邪時の抗リウマチ薬服用継続の可否についてであった。

【目的】

抗リウマチ薬使用患者に対して、「抗リウマチ薬を休薬する」場合の認識の有無について聞き取り、認識のなかった患者には当薬局作成のオリジナル文書で指導を行った結果、その効果がみられたので報告する。

【対象・方法】

2018年1月から7月間に、当薬局で抗リウマチ薬を調剤した患者122人

- ①抗リウマチ薬使用状況、抗リウマチ薬による有害事象、併発疾患を薬歴より調査
- ②風邪などに罹患した場合に、抗リウマチ薬を一時的に休薬する認識があるかを服薬指導時に聞き取りを行った。
- ③休薬の認識がなかった患者に対しては、当薬局作成の休薬に関する文書で指導を行った。次回来局時に休薬に関して認識の改善や対処が適切であったかの聞き取りを行った。

【結果】

- ・男/女 24/98(人)、平均年齢59.8歳
- ・MTX併用84%、タクロリムス併用24%、生物学的製剤併用25%。PSL併用22%、NSAID併用48%
- ・抗リウマチ薬による有害事象は44件で、うちMTXが73%（32件）を占めた。
- ・対象患者の33%は高血圧症、10%は高脂血症、7%は高尿酸血症に罹患していた。
- ・122人中、「抗リウマチ薬を一時的に休薬する」について認識有は65人、認識無は57人。
- ・認識無の患者57人のうち12人は風邪や口内炎時に抗リウマチ薬を休薬していなかった。
- ・当薬局作成の休薬に関する文書で指導を行った結果、57人中53人（92%）に認識の改善がみられた。認識の改善がみられた症例を提示する。

【考察】

文書を用いた指導により「抗リウマチ薬を休薬する」場合の認識に改善がみられ患者指導の重要性が確認できた。又、患者の48%に併発疾患があり、34%は抗リウマチ薬での副作用を経験していた。ハイリスク薬の使用が多い関節リウマチ患者に対して、処方監査・患者の不安や問題点にも目をむけた服薬指導・副作用モニタリングの必要性を確認することができた。関節リウマチは、主に外来治療となり患者自身の疾患管理と自己管理を重んじた治療スタイルへと変化している。患者にセルフマネジメント能力を身に付けてもらえるような服薬支援を行っていきたい。

薬と健康の週間

くすりと健康フェア
会長あいさつ



会長 亀谷 浩昌

会場の皆さん今晚は 只今ご紹介いただきました
ました沖縄県薬剤師会 会長の亀谷です。本
日は、お忙しい中、県民公開講演会において
頂きありがとうございます。

「薬と健康の週間」は毎年10月17日からの
1週間、厚生労働省、都道府県、市町村、そ
して薬剤師会が主催して全国一斉に行われま
す。この目的は、「医薬品を正しく使用する
ことの大切さ、そのために薬剤師が果たす役
割について多くの方に知っていただく」ため
です。

さて、効果的なおくすりが世の中にどんど
ん出てきますが、その分、価格も高くなって
います。国民医療費が増え続け、健康保険の
制度を維持することが年々難しくなっていま
す。医療費を節約するためにも、薬は無駄な
く、正しく、効果的に使うことが求められて
います。

また、高齢社会になれば病人が増えるのは
仕方のない面もありますが、できるだけ病人
が増えないような手立てが必要です。「なる
べく病気にならないように普段から健康に気
を使った生活をしましょう」と呼びかけてい
るわけです。

厚生労働省は薬剤師に対して、薬のことだ
けではなく、健康に関するあらゆる事柄につ

いて国民のために働くことを求めています。
我々薬剤師もこれを望むものです。処方箋が
なければ薬局に行きにくい雰囲気がありますが、
かかりつけ薬剤師、かかりつけ薬局を持
つことが普通になれば、気軽に相談が出来る
と思います。

今年のノーベル医学生理学賞は日本人の本
庶佑（ほんじょたすく）先生が免疫に関する
研究で受賞しました。免疫チェックポイント
阻害薬につながる研究です。国民の2人に一
人がガンに罹り、3人に1人はガンで死ぬ時
代になっています。ノーベル賞の話題ととも
に、ガン治療における免疫の働きに注目が集
まっていますが、免疫は会場の皆さんの全員
にもともと備わっています。そして、お金を
かけなくても免疫の力を高めることはできる
のです。

今日は、日常の診療で医療技術と自然
治癒力の両方を使って病気を治している、
マンマ家クリニックの久高学先生に、笑いの
力を使って会場の皆さんの免疫力を高めてい
たいただきます。

最後に私から会場の皆さんにお願いがあり
ます。笑わないと損ですから多少無理をして
も笑っていただきたいと思います。大いに
笑って楽しい時間を過ごしてください。

薬と健康の週間

くすりと健康フェア

日時：平成30年10月18日(木) 16:00～18:00 健康とおくすり相談会

18:30～20:00 県民公開講演会

会場：パレット市民劇場（那覇市）

主催：沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会



亀谷浩昌会長あいさつ

本年度の全国統一事業のテーマ「決めよう！探そう！活用しよう！かかりつけ薬剤師を～もっと身近に、ずっとそばに～」のもと、「薬と健康の週間」が10月17日(水)～23日(火)の一週間、沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会の主催で実施され、その行事の一環として、10月18日(木)にパレット市民劇場で「くすりと健康フェア」が開催された。

県民公開講座の前の16時～18時の南部地区薬剤師会主催による健康とおくすり相談会では、多くの相談者が訪れた。相談員として

南部地区薬剤師会の先生方のサポートとして多数の実務実習薬学生がお手伝いをし、丁寧な対応で相談者を喜ばせた。

「くすりと健康フェア」の進行は、本会会員の那覇市保健所生活衛生課の金城桂史氏が務めた。

まず始めに、主催者として沖縄県保健医療部衛生薬務課の新城光雄室長が部長あいさつを代読し、次に那覇市保健所の東朝幸所長、最後に本会の亀谷会長があいさつをした。



司会を務めた 金城桂史氏



基調講演「知らなきゃ損する薬局の活用法」



西川 裕 常務理事

<県民公開講演会プログラム>

○開会

○主催者あいさつ

○基調講演「知らなきゃ損する薬局の活用法」

◎特別講演「笑医（わらい）」

司会 那覇市保健所生活衛生課 金城 桂 史

沖縄県保健医療部部長 砂 川 靖

那覇市保健所所長 東 朝 幸

沖縄県薬剤師会会長 亀 谷 浩 昌

沖縄県薬剤師会常務理事 西 川 裕

講師：マンマ家クリニック 院長 久 高 学



<講師プロフィール>

久高 学 (くだか まなぶ)

乳腺科・甲状腺科「マンマ家クリニック」 院長。
愛媛大学医学部卒業。医学博士。乳癌学会乳腺専門医。
がん治療認定医。

「患者の話聞き、否定しない」をモットーに、身近なクリニックづくりに力を注ぐ。「大事なものは、笑うことより誰かを笑わせること“笑い”のエネルギーは、笑わせた人に返ってきて、お互いを元気にさせる。」と観客を引きつける軽妙なトークで、ラジオ番組や講演会で人気のスーパードクター。

趣味は飲む打つ買う（健康のために青汁を飲み、パソコンで原稿を打ち、グッピーを飼っている）

基調講演では、昨年に引き続き本会常務理事の西川裕先生の「知らなきゃ損する”薬局の活用法」と題して、質問形式でかかりつけ薬局・薬剤師のことや電子お薬手帳のことを丁寧に説明していた。

続いて、本日のメインイベントの特別講演では、「笑医（わらい）」と題して、マンマ家クリニック 院長（院長）の久高学先生にご講演を頂いた。会場は350余名の大入り満員で、久高先生の人気ぶりが伺えた。始めから最後

まで会場は笑いの渦で、「笑うということは体にいいこと。」「でも、笑うよりももっともっといいことがあるんです。それは、人を笑わすこと。」と会場をうなずかせていた。

最後に、久高先生の好きなインディオの言葉で締めくくった。「あなたが生まれてきたとき、周りの人は笑って、あなたは泣いていたでしょう。だからあなたが死ぬとき、あなたが笑って、周りの人が泣く人生を送りなさい。」 (文：事務局次長 山城 英人)



会場は終始 笑い声が絶えなかった



控え室で記念撮影

左より、亀谷浩昌会長、東朝幸氏、久高学氏、新城光雄氏、金城桂史氏

薬と健康の週間

薬 祖 祭



「薬と健康の週間」行事は、毎年、波上宮本殿で、朝10時からの『薬祖祭』を皮切りに行われる。宮司の祝詞の中に、薬祖神である少彦名命（スクナヒコナノミコト）に薬の取り扱いに間違いがないよう病める人の苦しみの癒えんことを奏上して、沖縄県薬業連合会（沖縄県薬剤師会、沖縄県卸業協会、沖縄県登録販売者協会、沖縄県医薬品配置協議会）、沖縄県、那覇市に言上されている。当会の第六・八・十一代会長であった故仲松弥元氏は、昭和37年に製薬会社が軒を並べる大阪市道修町の少彦名神社より御分霊「神農（中国医薬の守護神）」を勧請して、那覇市波上宮に依

頼して奉祀された。道修町で毎年11月22、23日に神農祭が行われることから、波之上宮に神農が奉祀された翌年より、11月23日（勤労感謝の日）に薬祖祭が執り行われるようになった。神農を祀る神農祭とは別に、東京、京都、名古屋をはじめ、各地で薬劑を祀る祭礼が行われている。祭神は日本の医薬の神として敬われてきた少彦名命と大国主命（オオクニヌシノミコト）。祭日は土地ごとに違っていたが、近年、10月17日に統一され、薬剤師会や薬業界が祭主となって催している。

今年の薬祖祭は、前日までの悪天候から一転、10月18日（木）午前10時から波上宮本殿にて、晴れわたった朝の澄みきった潮風の流れるさわやかな雰囲気の中で、沖縄県薬業連合会と沖縄県、那覇市で厳修された。

（文・事務局 大城 喜仁）



参拝者には、病除祈願の張り子の虎を笹に結びつけたお守りが配られる。この風習は、日本で初めてコレラが大流行した年に道修町の医薬商が相議り、疫病除卸薬「虎頭殺鬼雄黄圓（虎の頭骨を配合した丸薬）」を作り、神前で祈祷して庶民に無料で施し、虎と竹を組み合わせたお守りと共に配った。当時、コレラを「虎列刺」と書き、その猛威と怖さを誇示していたので、薬に“虎を殺す鬼”と名づけられた。

平成30年度「薬と健康の週間」行事表

月 日	時 間	行事名	場 所	実施団体
10月12日(金)	11:00～11:30	沖縄県薬事功労者知事表彰式 被表彰者：伊佐 常隆 氏	沖縄県保健医療部長室	沖縄県
10月15日(月)	～23日(火)まで	「薬と健康の週間」パネル展	那覇市役所1階ロビー	沖縄県、那覇市、沖縄県薬剤師会
10月17日(火)	10:00～10:30	認可外保育園マスク寄贈式	沖縄県生活福祉部長室	沖縄県医薬品卸業協会
	10:00～10:30	薬祖祭	波上宮本殿	沖縄県薬業連合会、沖縄県
	10:30～11:00	永年勤続者表彰	波上宮本殿	沖縄県医薬品卸業協会
10月18日(木)	13:00～16:00	全国統一薬事講習会	沖縄県薬剤師会館	沖縄県医薬品登録販売者協会
	16:00～18:00	くすりと健康フェア 健康とおくすり相談会	パレット市民劇場 ロビー	南部地区薬剤師会
	18:30～20:00	くすりと健康フェア 県民公開講演会	パレット市民劇場	沖縄県、那覇市、沖縄県薬剤師会
	14:00～15:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	ドン・キホーテ宮古島店	宮古地区薬剤師会、沖縄県
10月20日(土)	16:00～17:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	イオン名護店前	北部地区薬剤師会、沖縄県 沖縄県薬物乱用防止協会北部支部
10月21日(日)	11:00～12:00	「薬と健康の週間」街頭キャンペーン	サンエー石垣シティ	八重山地区薬剤師会、沖縄県
10月22日(月)	16:00～17:00	「麻薬・覚せい剤乱用防止」 街頭キャンペーン	イオン北谷店前	沖縄県医薬品登録販売者協会、 中部地区薬剤師会、沖縄県

薬事情報

薬事情報センター委員会主催
アンチ・ドーピング研修会報告

日時：平成30年11月1日（木）19：30～21：30

会場：沖縄県薬剤師会館ホール

<会次第>

○挨拶

○講演

「沖縄県ならびに沖縄県薬剤師会における

これまでのアンチ・ドーピングの取組みについて」

薬事情報センター委員会 吉田典子

○特別講演「千葉県におけるアンチ・ドーピングの取組みについて」

講師：千葉県薬剤師会ドーピング防止ホットライン&スポーツファーマシスト活動推進担当

畑中範子

司会・座長：沖縄県薬剤師会 常務理事 笠原大吾

沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

今回、学校薬剤師としてもご活躍の千葉県薬剤師会の畑中先生にご講演いただきました。2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えた今、非常にタイムリーな話題でした。ドーピングに関する最新情報や国内外の違反事例などについてもご紹介いただきました。畑中範子先生の気さくで明るいお人柄もあり、終了後も楽しいお話を伺う事ができましたこと深謝いたします。

研修会の参加者は32名、うち公認スポーツファーマシスト（以下SPと略す）は11名。参加者に「アンチ・ドーピング活動」に関するアンケート調査を行った結果、70%の薬剤師



薬事情報センター
吉田典子

がドーピングに関する質問を受けたことがあると回答しています。また、講習会は受けたものの、活動する場がなかったため、千葉県のように県内の大規模なスポーツ大会がある際に、啓発活動が行えるといいというご意見もありました。最近のドーピング防止ホットラインへの問い合わせをみても、サプリメントに関するものも多く、特に安価で簡単に入手しやすい外国製のサプリメントが中高校生



特別講演 講師 畑中 範子氏



基調講演 講師 吉田 典子氏



司会・座長 笠原大吾 常務理事

等の若年層にも広まっている状況があります。薬剤師として常にドーピングに関する最新情報を把握し、アスリートにどう啓発するかが重要です。(2017年度の県内の公認SPは41名(うち県薬会員25名))

スポーツに薬剤師として携わりたいと考えている方、スポーツにご興味のある方、アンチ・ドーピングにご興味のある方、まずはSPのサイト (<https://www.sp.playtruejapan.org/>) をご確認ください公認SP取得を目指してみてもいかがでしょうか？

＜アンチ・ドーピング研修会に参加して＞

そうごう薬局 豊見城店
南雲 翔太
(公認SP)



千葉県では、平成22年の千葉国体の時から活動が盛んになり、現在446名のSPが登録・活動されているとのことでした。また、千葉県薬剤師会のドーピング防止活動紹介では

様々な活動をご紹介いただきました。

○×クイズのついたリーフレットを作成し、小学校などへ啓蒙活動を行ったり、各団体へ出前講座を行うチラシを作成し実際に講座を行っていました。さらに、クロスカンントリーの大会で参加選手に啓蒙資料の配布を行ったりと、幅広い活動をされていました。年間227名の活動実績があることを教えていただきました。

この研修を終えて、私自身、年数回のドーピング問い合わせに対応しておりましたが、まだまだ啓蒙活動が足りないと痛感させられました。沖縄のアスリートがうっかりドーピングで不利益を受けないよう、アスリートが競技に集中できるよう、サポートしていくことがスポーツファーマシストの使命だと感じています。ドーピングのことはSPに聞くということが広く認知される状態が理想な姿だと思います。SPとしてドーピング防止活動・啓蒙活動をできることから、少しずつ行っていきたいと思っています。

災害対策

平成30年度沖縄県災害対策本部設置運営訓練に参加して

日時：平成30年11月6日(火) 10:00～16:00
会場：沖縄県庁4階講堂

去る11月6日(火) 沖縄県災害対策本部設置運営訓練に参加させて頂きましたのでご報告いたします。訓練は医療関連団体の他、消防、自衛隊、ライフラインやインフラ関係団体など多くの団体が参加し本格的なものでした。

訓練はシナリオ非開示型ロールプレイング方式図上訓練で実施され、初動対応期における災害本部活動を実践的・实际的に訓練するもので、私たちは、県災害医療本部に参加し

災害対策委員会
鈴鹿 玲子



ました。J-MATやD-MAT、D-PATの方々には、何度も訓練をされており、実践も経験されているので、手慣れた感じで、出てくる課題や問題に、手際良く対応されていました。早い段階で、病院などの被災状況の把



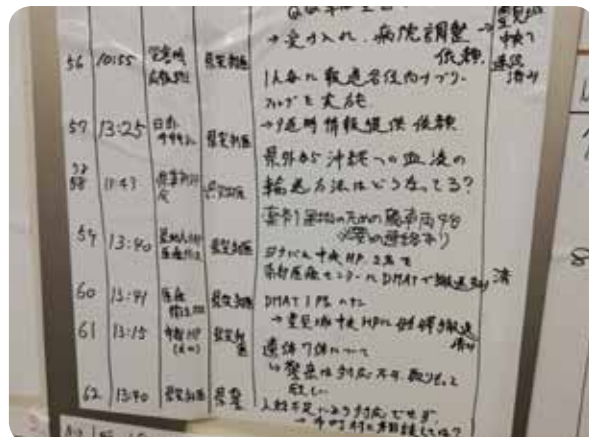
握や、受け入れ態勢等を広域災害救急医療情報システム『EMIS』を利用して収集されていました。

また、次々と入ってくる様々な部署からの被害情報やインフラ・ライフラインの現状、使える施設の情報、活動している部署の現状等の情報を時刻、発信元、受信先、内容、状況に分けて、壁に貼り付けてある大きな掲示板に書き出し、情報を共有しながら、解決できていない問題はないか、定期的に確認しながら対応をされていました。

初動対応期の訓練だったので、これから避難所の情報収集、対応に入るという手前で訓練が終了しました。避難所の情報が入ってくれば、避難所での衛生管理や、救護所での医薬品の管理等で薬剤師が必要とされ、その人員について等、声がかかることがあったらうと思います。

反省会の後、本部災害医療コーディネーターをされていた、沖縄赤十字病院の佐々木秀章医師に薬剤師に期待することを伺ったところ、救護所などでの衛生管理を最初に挙げられました。

医薬品については、配送時の緊急車両の手配という形ではありましたが、訓練後半に出てきました。医薬品の手配については出てくることはありませんでしたが、実際に災害が起きた時は、早い段階で上がってくる問題だと思います。医薬品卸や、医師会等との連携、情報収集の方法などについて、話し合うべき



課題が見つけれられたように感じました。薬剤師が災害時に対応できるよう、災害対応研修会なども定期的に行う必要があるのではないかと感じました。

災害対策委員会の私自身が、薬剤師の災害時対応について知識を深める必要があると強く感じ反省しました。薬剤師が薬剤師として技能や知識を生かせるための研修会の必要性について意見を上げていきたいと思いました。

経験のない私が、このような訓練に参加して大丈夫なのだろうか？と不安でした。しかし、多くの方々が真摯な姿勢で訓練に参加し、有事に備える姿を近くで見ることができて、刺激を受けることができました。このような貴重な経験をさせていただいたことに、感謝申し上げます。ありがとうございました。この経験を、今後の委員会活動に活かしていく所存です。



月例相談会

第160回健康とおくすり相談会

日時：平成30年9月2日（日）13:30～16:00

場所：サンエー西原シティ

担当：南部地区薬剤師会

■健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

○新垣 秀幸 ○松本圭五

第161回健康とおくすり相談会 ～くすりと健康フェア～

日時：平成30年10月18日（木）16:00～18:00

場所：那覇市パレット久茂地 ロビー

担当：南部地区薬剤師会



■健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

○新垣 秀幸

○新垣 梓

○小湾 勝敏

○知念 大輔

○伊敷さゆり

○松本 圭五

○三上まどか

○玉寄 睦子

○薬学生10名

第162回健康とおくすり相談会

日時：平成30年10月27日（土）14:00～15:00

場所：宮古島市老人福祉センター

担当：宮古地区薬剤師会

■健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

○古謝 真己 ○上川畑 剛 ○下地 睦夫

月例相談会

第163回健康とおくすり相談会

日時：平成30年11月11日（日）10:00～15:00
場所：沖縄セルラースタジアム
担当：那覇地区薬剤師会

去る11月11日（日）、那覇市主催の平成30年度なは健康フェアにて行われた、健康とおくすり相談会に参加しましたのでご報告いたします。会場は沖縄セルラースタジアムで同時開催されました、ひやみかちなはウォークのゴール地点でもあり、老若男女たくさんの市民の方々に終始賑わっておりました。

健康フェアということで、会場は私たち薬剤師会以外にも栄養士会、看護協会、市立病院などいくつものブースがありました。薬剤師会のブースでは、健康チェックとして動脈硬化度の測定とその結果に基づいた生活習慣などのアドバイス、ジェネリック医薬品、おくすり手帳、おくすり整理バッグの説明、お薬相談を行いました。

私は、午前中は動脈硬化度の測定、午後は測定結果やお薬に関する相談窓口を担当しました。当日は開始から終了まで測定希望者の行列が途切れることなく、約160名の市民の方々がいらっしゃいました。初めて、相談会に参加させて頂きました。健康とおくすり相談会というだけあって、飲んでいる薬についての相談をされる方が多いと思っておりましたが、実際は普段薬を飲んでいない方も多く相談に来られました。考えてみれば、普段薬を飲まない方は、こういった機会がなければ、なかなか薬剤師と話す機会も無く、普段の体調やサプリメントに関してなど熱心に質問される方も多かったです。動脈硬化度の数値も実年齢相当か、実年齢よりも若い数値が出る方が多かった印象でした。市民の方々のセル



ハーブ薬局 やえせ店
中村 昌義

フメディケーションに対する関心の高さを実感しました。私の職場は調剤薬局でOTCもあまり扱っておらず、普段の業務では医師から薬を処方された患者さん以外の方とお話しする事がほとんど無いので、自分にとっても大変有意義な経験となりました。

今回の相談会では、動脈硬化度の測定に加えて骨密度測定も併せて行う予定でしたが、参加できた薬剤師の人数が少なかったため、骨密度測定は行うことができませんでした。当日は別の研修会が入っていたため参加者の確保が難しかったようです。いらっしゃった市民の方からは骨密度も測りたかったとのお声も頂きました。次回は是非もっと多くの先生方にご参加いただき、薬剤師としての職能を発揮することで、市民の皆さんのセルフメディケーションに貢献できる相談会にしたいと思います。



健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- 川満 直紀 ○渡具知一枝
- 磯 昭子 ○兼島 静江
- 吉田 洋史 ○盛本 直也
- 中村 昌義

月例相談会

第164回健康とおくすり相談会

日時：平成30年11月11日（日）9：00～16：00

場所：うるま市健康福祉センターうるみん

担当：中部地区薬剤師会

去る11月11日（日）、『第5回健康フェスタ inうるみん』が開催されました。様々なブースがある中、中部地区薬剤師会は『健康とおくすり相談会』のブースを設けることになり、相談会を行いました。今回測定したのは、血糖、HbA1c、血圧、体成分分析でした。

相談会には、薬剤師13名、実務実習薬学生1名が参加しました。

地区薬剤師会主催の相談会は初参加でしたが、当日の機器説明を受け、血圧測定と体成分分析を主に担当しました。

開始から測定希望者が途切れることなく来られました。第5回ともなると認知度も高くなっているのか、測定希望者の中には今回測定しなかった骨密度や動脈硬化の測定を希望される方もいました。相談会では計100名の方が訪れました。

測定前に記載してもらったアンケートでは、日常での運動やこまめな血圧測定をされている方が多く、健康に対する意識の高さを感じました。測定を担当している時に気になったことは、体成分分析で運動している方の筋肉量や脂肪量の測定結果が、筋肉量は標準範囲内でも脂肪量は意外と高めだったことです。運動内容や運動量に個人差があるのは大体予測はできますが、効率的な運動の仕方等を知っていたら、同じ運動量でもさらに脂肪量が減らすことができるのではないかと思います。

◆健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- | | | |
|--------|--------|---------|
| ○新江 裕貴 | ○伊佐 常隆 | ○江夏 京子 |
| ○仲座 方利 | ○仲吉 文男 | ○福地 健治 |
| ○米倉 美帆 | ○伊佐 要一 | ○諸見里めぐみ |
| ○高木 英子 | ○照屋 洋子 | |
| ○普久原 隆 | ○四谷 祐子 | |



みらい薬局
四谷 祐子

日常の業務を振り返ると、食生活改善や運動療法のアドバイスに関して簡単なもので終わってしまうことが多々あります。今回、相談会に参加したことで、住民の健康維持のための食事療法や運動療法に関する知識を充実させなくてはならないと思いました。

近年、地域住民が自分たちの健康を自分自身で支え、一人ひとりのQOLの向上を実現できるセルフメディケーションの推進が求められてきています。医療の高度化や高齢化社会の到来、医薬分業の進展等により、薬局及び薬剤師を取り巻く環境は大きく変化しており、私たち薬剤師の求められる像や役割にも変化が見られております。

相談会は地域に密着した健康情報を提供でき、薬剤師の顔を見せることができる場です。住民の健康意識が高まってきている中で薬剤師にしかできない服薬支援や健康食品等の安全かつ適正な使用に関する助言や健康の維持・増進を積極的に支援することは必要だと思います。患者や住民に「相談して良かった」と言ってもらえるような薬剤師になれるよう努力していこうと思っています。来年も機会があれば参加したいです。



県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください！

やくたっ
薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

➔ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電話 098-963-8930

➔ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電話 098-963-8935

➔ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

➔ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
<ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

薬事情報おきなわ No.252

2018年 12月号 : Vol.33 No.5

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 平成30年11月20日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	モビコール配合内服剤	6.8523g1包	83.90	EAファーマ	マクロゴール4000/塩化ナトリウム/炭酸水素ナトリウム/塩化カリウム:慢性便秘症治療薬(慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く))(新医療用配合剤)
	ベオーバ錠50mg (ベオーバ)	50mg1錠	185.70	杏林製薬	ビベグロン:選択的β ₃ アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤(過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁)(新有効成分)
	トラディアンス配合錠AP (@/10/5)	1錠	283.30	日本ペーリン カーインゲルハイム	エンパグリフロジン/リナグリプチン:選択的SGLT2阻害薬/胆汁排泄型選択的DPP-4阻害薬配合剤(2型糖尿病 ただし、エンパグリフロジン及びリナグリプチンの併用による治療が適切と判断される場合に限り)(新医療用配合剤)
	トラディアンス配合錠BP (@/25/5)	1錠	395.60		
	トアナ配合錠LD (Sc125/LD)	1錠	62.20	三和化学研究 所	アナグリプチン/メホルミン塩酸塩:選択的DPP-4阻害薬/ビグアナイド系薬剤配合剤(2型糖尿病 ただし、アナグリプチン及びメホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限り)(新医療用配合剤)
	トアナ配合錠HD (Sc150/HD)	1錠	62.20		
	ゾスパタ錠40mg (@235)	40mg1錠	19,409.10	アステラス製 薬	ギルテリチニブフマル酸塩:抗悪性腫瘍剤(FLT3阻害剤)(再発又は難治性のFLT3遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病)(新有効成分)
	ベジーニオ錠50mg (Lilly50)	50mg1錠	3,258.70	日本イーライ リリー	アベマシクリブ:抗悪性腫瘍剤 CDK4及び6阻害剤(ホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能性又は再発乳癌)(新有効成分)
	ベジーニオ錠100mg (Lilly100)	100mg1錠	5,949.20		
	ベジーニオ錠150mg (Lilly150)	150mg1錠	8,460.10		
ローブレナ錠25mg (25LLN)	25mg1錠	7,216.40	ファイザー	ロルラチニブ:抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤(ALKチロシンキナーゼ阻害剤に抵抗性又は不耐容のALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌)(新有効成分)	
ローブレナ錠100mg (LLN100)	100mg1錠	25,961.00			
注 射 薬	ロラゼパム静注2mg	2mg1mL1瓶	2,225	ファイザー	ロラゼパム:抗けいれん剤(てんかん重積状態)(新投与経路)
	ビーリンサイト点滴静注用35μg	35μg1瓶 (輸液安定化液付)	281,345	アステラス・ア ムジェン・バイ オファーマ	ブリナツモマブ(遺伝子組換え):抗悪性腫瘍剤/二重特異性抗体製剤(再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病)(新有効成分)
	フィラジル皮下注30mgシリンジ	30mg3mL1筒	301,704	シャイヤー・ ジャパン	イカチバント:遺伝性血管性浮腫(HAE)治療用 選択的ブラジキニンB2受容体ブロッカー(遺伝性血管性浮腫の急性発作)(新有効成分)
	ジビイ静注用500	500国際単位1瓶 (溶解液付)	75,376	バイエル薬品	ダモクトログ アルファ ペゴル(遺伝子組換え):ペグ化遺伝子組換え型血液凝固第Ⅷ因子製剤(血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制)(新有効成分)
	ジビイ静注用1000	1,000国際単位1瓶 (溶解液付)	139,307		
	ジビイ静注用2000	2,000国際単位1瓶 (溶解液付)	257,462		
ジビイ静注用3000	3,000国際単位1瓶 (溶解液付)	368,761			

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
外用	エイベリス点眼液0.002%	0.002%1mL	945.30	参天製薬	オミデネパグ イソプロピル:選択的EP2受容体作動薬 緑内障・高眼圧症治療剤(緑内障、高眼圧症)(新有効成分)

●報告品目・新キット製品 平成30年11月28日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	ビートル顆粒分包250mg (@PTG250)	250mg1包	176.10	キッセイ薬品 工業	スクロオキシ水酸化鉄:高リン血症治療剤(透析中の慢性腎臓病患者における高リン血症の改善)(再審査期間中の剤形追加)
	ビートル顆粒分包500mg (@PTG500)	500mg1包	258.70		
	アミティーザカプセル12μg (SPI AB)	12μg1カプセル	61.50	マイランEPD	ルビプロストン:クロライドチャネルアクチベーター(慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く))(再審査期間中の規格追加)
	エフィエントOD錠20mg (エフィエント OD20)	20mg1錠	1,128.80	第一三共	プラスグレル塩酸塩:抗血小板剤(経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される下記の虚血性心疾患 急性冠症候群(不安定性狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞) 安定狭心症、陈旧性心筋梗塞)(再審査期間中の剤形追加)
	テネリア錠40mg (テネリア 40)	40mg1錠	231.00	田辺三菱製薬	テネリグリブチン臭化水素塩:選択的DPP-4阻害剤(2型糖尿病)(再審査期間中の規格追加)
	ラダノスNF経口ゼリー分包装12g	54.167%12g1包	48.20	三和化学研究 所	ラクツロース:生理的腸管機能改善剤・高アンモニア血症用剤(○慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く)○高アンモニア血症に伴う下記症状の改善 精神神経障害、手指振戦、脳波異常 ○産婦人科術後の排ガス・排便の促進)(新効能・新用量・規格追加)
	パキサドリンシロップ5000mg	50mg1mL(懸濁後の内用液として)	605.70	田辺三菱製薬	バルガンシクロビル塩酸塩:抗サイトメガロウイルス化学療法剤(下記におけるサイトメガロウイルス感染症・後天性免疫不全症候群・臓器移植(造血幹細胞移植も含む)・悪性腫瘍 臓器移植(造血幹細胞移植を除く)におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制)(剤型追加)
注 射 薬	インフリキシマブBS点滴静注用100mg 「ファイザー」	100mg1瓶	50,042	ファイザー	インフリキシマブ(遺伝子組換え)[インフリキシマブ後続3]:抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分な下記疾患 ○関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む) ○尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症 次のいずれかの状態を示すクローン病の治療及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限り)・中等度から重度の活動期にある患者・外瘻を有する患者 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療(既存治療で効果不十分な場合に限り))(バイオ後続品)
	アガルスダーゼ ベータBS点滴静注 5mg「JCR」	5mg1瓶	83,921	JCRファーマ	アガルスダーゼ ベータ(遺伝子組換え)[アガルスダーゼ ベータ後続1]:遺伝子組換えファブリー病治療剤(ファブリー病)(バイオ後続品)
	アガルスダーゼ ベータBS点滴静注 35mg「JCR」	35mg1瓶	469,292		
	ケプザラ皮下注150mgオートインジェクター	150mg1.14mL1キット	44,945	サノフィ	サリルマブ(遺伝子組換え):ヒト型抗ヒトIL-6受容体モノクローナル抗体(既存治療で効果不十分な関節リウマチ)(新キット製品)
	ケプザラ皮下注200mgオートインジェクター	200mg1.14mL1キット	59,509		
	シムジア皮下注200mgオートクリックス	200mg1mL1キット	61,745	ユーシービー ジャパン	セルトリズマブ ペゴル(遺伝子組換え):TNFα阻害薬(ペグヒト化抗ヒトTNFαモノクローナル抗体Fab'断片製剤)(関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む))(新キット製品)
	オブジーボ点滴静注240mg	240mg24mL1瓶	410,580	小野薬品工業	ニボルマブ(遺伝子組換え):抗悪性腫瘍剤-ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体(悪性黒色腫 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、根治切除不能又は転移性の腎細胞癌、再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、がん化学療法後に増悪した治療切除不能な進行・再発の胃癌、がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫)(再審査期間中の規格追加)

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
注 射 薬	トラスツズマブBS点滴静注用60mg「第一三共」	60mg1瓶 (溶解液付)	13,683	第一三共	トラスツズマブ(遺伝子組換え) [トラスツズマブ後続2]:抗HER2ヒト化モノクローナル抗体 抗悪性腫瘍剤(HER2過剰発現が確認された乳癌、HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌)(バイオ後続品)
	トラスツズマブBS点滴静注用150mg「第一三共」	150mg1瓶 (溶解液付)	31,858		
	アディノベイト静注用キット1500	1,500国際単位1 キット(溶解液付)	155,275	シャイアー・ ジャパン	ルリオクトコグ アルファ ペゴル(遺伝子組換え):ベグ化遺伝子組換え血液凝固第Ⅷ因子製剤(血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制)(再審査期間中の規格追加)
アディノベイト静注用キット3000	3,000国際単位1 キット(溶解液付)	286,973			
外 用 薬	オラビ錠口腔用50mg (L)	50mg1錠	1,181.70	そーせい	ミコナゾール:口腔粘膜付着型 口腔咽頭カンジダ症治療剤(カンジダ属による口腔咽頭カンジダ症)(新剤形医薬品)
	フェントステープ0.5mg	0.5mg1枚	303.80	久光製薬	フェンタニルケエン酸塩:経皮吸収型 持続性疼痛治療剤(非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における疼痛(ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る)・中等度から高度の疼痛を伴う各種癌・中等度から高度の慢性疼痛)(新用量・規格追加)

●新医薬品 平成30年12月12日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内 用 薬	ジャルカ配合錠 (SVJ3T)	1錠	5,350.90	ヴィーブヘル スケア	ドルデグラビルナトリウム/リルピピリン塩酸塩:抗ウイルス化学療法剤(HIV-1感染症)(新有効成分・新医療用配合剤)

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



●メンソールたばこ禁止方針 米政府、電子式も対策強化 (共同通信11月27日)

米食品医薬品局 (FDA) は16日までに、メンソールなどの風味が付いたたばこの販売禁止を目指す方針を明らかにした。法整備が必要なため時間がかかるとみられ、たばこ産業の反発も必至だが、実現すれば健康対策が大きく前進する。発表や米メディアによると、メンソールたばこは若年層やアフリカ系住民の間で利用割合が高く、米国のたばこ販売量の30%以上を占める。風味があることで喫煙を始めるきっかけになりやすいとされる。電子たばこについては、FDAは店頭販売の制限やインターネット販売での年齢確認を強化する。

●低い健サポ薬局の認知度、“かかりつけ”は4割認知 一日薬が「調査PR」(薬事日報12月4日)

日本薬剤師会は11月、健康サポート薬局の啓発を目的とした「広報活動」について公表した。「健康サポート」「かかりつけ薬剤師」などの言葉や、その機能について広く知ってもらうため、まだ一般的に知られていない事実や新製品などを調査という手法を用いて広める「調査PR」という手法を用いた。調査は、今年9月5、6の2日間、20～79歳の男女1000人にインターネットで実施。健康サポート薬局を「知らない」と答えた人は91.6%で、「知っている」は8.4%にとどまっていた。健康サポート薬局を「使いたい」は51.3%だった。

●在宅患者への薬剤師介入、薬剤管理状況が大幅改善 一都薬健康情報事業 (薬事日報12月17日)

在宅患者の薬の管理状況が、薬剤師介入により約8割で

改善、ポリファーマシー問題も7割強の患者で改善したことが、ケアマネージャーや訪問看護師と連携し2014年度から4年間実施された東京都薬剤師会「薬局薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」の取りまとめ結果から明らかになった。今後は、薬剤師が介入しても「変化なし」等の改善が見られなかった事例について検証し、多職種との連携を図りながら在宅患者、地域包括ケアにおける薬物療法のさらなる適正化を目指す。

●薬局を機能別で3区分へ「最低限の薬局」含め底上げ (薬事日報12月17日)

厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会は14日、薬機法改正を含めた制度改正に関する取りまとめ案を大筋で了承した。薬局全体の底上げを図るため、薬局ビジョンが求めている「かかりつけ薬剤師・薬局」が備えるべき機能を持った薬局を「最低限の薬局」として位置づける。さらに、地域で在宅対応や医療機関と連携して服薬情報の一元管理を行う薬局、医療機関と緊密に連携し、より丁寧な薬学管理や、特殊な調剤に対応できる薬局に分類する。薬剤師に対しては、服用期間を通じた継続的な薬学的管理と指導内容の記録、医師などへの情報のフィードバックなどを義務づける。

●使用順序で費用対効果に差 抗精神病薬の組合せ比較で (薬事日報12月19日)

統合失調症患者が退院して地域に移行する上で、どのような抗精神病薬の使用順序が費用対効果に優れているのか解析した結果を、協和病院薬剤科、東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学らの研究グループがまとめた。3剤を対象に6通りの組み合わせを比較した結果、まずはアリピラゾールを投与し、次にリスペリドンに切り替える治療戦略の費用対効果が高いことが明らかになった。実臨床データをもとに模擬的な解析を行って推計した。

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇医薬ジャーナル 54巻 11号
 - *喘息治療における分子標的治療
- ◇医薬ジャーナル 54巻 12号
 - *Cardio Oncologyの現状と課題
 - ～専門医からプライマリケア医まで考えるべきこと～
- ◇月刊薬事 60巻14号
 - *薬物療法問題集
- ◇月刊薬事 60巻15号
 - *薬物治療に直結する！重症患者の全身管理プラクティス
- ◇月刊薬事 60巻16号
 - *ガイドラインでこう変わった 最も新しいICKDの薬物治療
- ◇産科と婦人科 85巻11号
 - *月経を診る一患者満足の外來診療のために
- ◇産科と婦人科 85巻12号
 - *思春期にまつわる最近の話題
- ◇総合診療 28巻11号
 - *日本一マジメな「おしっこドリル」今これだけは押さえておきたい腎・泌尿器のモンダイ
- ◇総合診療 28巻12号
 - *こんなときこそ漢方を！
- ◇調剤と情報 24巻15号
 - *薬剤性精神障害
- ◇調剤と情報 24巻16号
 - *婦人科漢方でもっと寄り添える！
- ◇治療 100巻 11号
 - *終末期の肺炎
- ◇治療 100巻 12号
 - *みんなで診る性感感染
- ◇日経メディカル 611号
 - *波紋広がる東京医大の入試不正事件
- ◇日経メディカル 612号
 - *忘れられないカルテ
- ◇日経メディカル 613号
 - *メカニズムから解き明かす 咳診療の最新 Tips
- ◇日本医事新報 4929号
 - *胃腸障害以外にもあるNSAIDs持続投与の問題点
- ◇日本医事新報 4930号
 - *ガイドラインに基づく男性型脱毛症診療
- ◇日本医事新報 4933号
 - *新しい食物アレルギー管理—“必要最小限”の除去食の進め方
- ◇日本医事新報 4934号
 - *最新 抗インフルエンザ薬の作用機序と使いわけ
- ◇日本医事新報 4937号
 - *文献を紐解く 溶連菌のこんな話題
- ◇薬局 69巻12号
 - *慢性運動器疼痛～整形外科のペインマネジメント徹底解説

【今月の論文等】

- 薬物療法■
 - ▶ 適応外使用の処方せんの読み方 (101) 肥厚性癩痕・ケロイド
月刊薬事60 (15) p.155
 - ▶ 適応外使用の処方せんの読み方 (102) 胃石

月刊薬事60 (16) p.153

■新薬■

- ▶ 審査報告書から見る新薬の裏側 [22] プレバイミス錠・プレバイミス®点滴静注 (レテルモビル)
月刊薬事60 (15) p. 182
- ▶ 審査報告書から見る新薬の裏側 [23] シベクトロ錠・点滴静注用 (テジゾリドリン酸エステル)
月刊薬事60 (16) p. 147

■安全性情報■

- ▶ 副作用・薬物相互作用トレンドチェック 注目論文を読み解く (79)
 1. PPIの使用が肝臓のリスクになる可能性
 2. DPP-4阻害薬で水疱性類天疱瘡のリスクが上昇
 3. クロザピンによる好中球減少症/白血球減少症、耐糖能異常の本邦での実態
 4. ベンゾジアゼピン系よりも非ベンゾジアゼピン系の方が長期使用に至るリスクが高い？
 5. シクロスポリン併用でグラゾプレビル血漿中濃度が顕著に上昇
 6. タンジンの併用でクロピドグレルの血小板作用が減弱
医薬ジャーナル 54 (11) p.160
- ▶ 副作用・薬物相互作用トレンドチェック 注目論文を読み解く (80)
 1. 緑茶カテキンによりジゴキシンの血清中濃度が低下
 2. 高地においてもゾルピデムは早期覚醒時の認知機能を低下させる
 3. 免疫チェックポイント阻害薬による致死的な有害事象の特徴
 4. シルデナフィルの高用量服用による遷延的な網膜毒性
 5. 吸入ステロイドにより非結核性抗酸菌症のリスクが上昇
 6. セントジョーンズワート併用でマシテンタンは中程度に、リバーロキサバンは軽度血漿中濃度が低下
医薬ジャーナル 54 (12) p.150

■薬剤師業務■

- ▶ リスクマネジメント～院内での薬剤師の活動～ (125) 医薬品との相互作用によるプラスチック製医療機器の破損と適正使用の確保
医薬ジャーナル 54 (11) p.127
- ▶ リスクマネジメント～院内での薬剤師の活動～ (126) 医療安全管理部専従薬剤師が関わったインシデント分析
医薬ジャーナル 54 (12) p.117

■産科・婦人科■

- ▶ 患者のQOL向上と薬剤師の関わりPART II. 服薬指導と病棟活動 (127) 産科病棟における妊婦・授乳婦への薬剤管理指導業務
医薬ジャーナル 54 (11) p.155

■漢方薬■

- ▶ 漢方薬の飲み方のコツと注意点
総合診療28 (12) p. 1658
- ▶ 小児への漢方薬の上手な使い方・飲ませ方
総合診療28 (12) p. 1659
- ▶ 「普通の」めまい×苓桂朮湯 [漢方スッキリ方程式 (19)]
日本医事新報 (4929) p.14

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

ポケット医薬品集 2019年版

【著者】澤田 康文、佐藤 宏樹、龍原 徹 【発行】南山堂 【発行日】2018年12月

【判型/頁】B6変型判/1,405頁 【定価】5,076円(税込)

独自の編集スタイルを30年貫き続ける定番の医薬品集。2019年3月時点の薬価基準収載品目リストを反映！簡潔なポイント解説で、薬の作用メカニズムや薬剤選択、薬物療法管理に必須となる医薬品情報などを整理。日常診療・薬剤業務に強い味方となる一冊。

調剤報酬 2018-19 改定点フォーカスガイド 薬剤管理からのアプローチ

【著者】オフィスシロウス 山口 路子 【発行】南山堂 【発行日】2018年10月

【判型/頁】A5判/76頁 【定価】1,296円(税込)

2018年度調剤報酬改定のポイントをスッキリまとめた早わかりガイド。改定ポイントを図解して、整理するとともに、具体例を示しながら算定要件などを丁寧に解説。保険薬局のレセプト業務で抱える悩みや疑問はこの一冊で解決！

児童・青年期精神疾患の薬物治療ガイドライン

【編著】中村 和彦 【発行】じほう 【発行日】2018年11月

【判型/頁】B5判/400頁 【定価】4,320円(税込)

児童・青年期疾患を診療している児童精神科医、および児童・青年期にも対応したいと考えている精神科医、こころに関する症状や発達障害を診療している小児科医が日々の臨床に役立つように、児童・青年期精神疾患患者に対する薬物治療について解説。

緩和ケアでの問題解決力を磨く！ 薬剤師のための5ステップ実践ガイド

【編著】伊勢 雄也、片山 志郎 【発行】南山堂 【発行日】2018年12月

【判型/頁】B5判/279頁 【定価】3,780円(税込)

緩和ケア領域の様々な場面で、エキスパート薬剤師による処方支援の思考プロセスを5つのステップに分けて解説。さらに医療用麻薬の管理方法など緩和領域での重要点が2ページでサッと理解できる。チーム医療で活躍するために薬剤師が行うべきことや医師、看護師など他職種から求められることを解説。

周術期の薬学管理 第2版

【監修】(一社)日本病院薬剤師会 【発行】南山堂 【発行日】2018年12月

【判型/頁】B5判/317頁 【定価】4,104円(税込)

薬剤師による術前外来が浸透し、病棟で手術患者担当の薬剤師に限らず、手術患者すべての時期において、ほかの医療スタッフ、病院薬剤師、薬局薬剤師が連携しながら、患者サポートをすることが期待されている。薬学的視点を軸に、麻薬と手術の基礎知識、注意が必要な患者背景、術後モニタリングのポイントをわかりやすく解説。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)医薬品 PL センター窓口業務 (7)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びアンチ・ドーピングホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

「薬剤師届出票」の提出をお願いします！！

平成30年の薬剤師の届出及び調査(厚生労働省)

日本国内に居住する薬剤師の方は、2年に1度12月31日現在における住所地、従業地、従事している業務の種別等、薬剤師法で規定されている事項について、当該年の翌年1月15日までに厚生労働大臣に届け出ることが義務づけられています。(薬剤師法第9条)

本年はその届出年に当たりますので、必ず届出をお願いします。

1.対象者

日本国内に住所地があつて、日本国の薬剤師名簿に登録されている薬剤師(12月31日現在就労されていない場合や、海外出張で不在であっても届け出ること)。

2.調査の期日・届出期限

平成30年12月31日現在の状況を、平成31年1月15日(火)までに届け出て下さい。

3.提出先

住所地または従業地の保健所(郵送または直接お届けください)。

4.届出用紙

住所地若しくは従業地の保健所に問い合わせいただくか、厚生労働省のホームページからダウンロードして使用してください。

詳細につきましては、下記の厚生労働省ホームページをご覧ください。

届出票のダウンロードや記入例をご覧ください。

★『医師・歯科医師・薬剤師の皆さまに届出のお願い』(厚生労働省ホームページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/tp181016.html

公 示

2018年12月10日

会 員 各 位

一般社団法人 沖縄県薬剤師会
会 長 亀 谷 浩 昌

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長候補者選挙に関する公示

2019年3月24日、本会の第79回臨時総会を開催致します。同日に、本会の「一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則」、「同施行細則」により、2019年6月に開催を予定する、一般社団法人沖縄県薬剤師会の総会・理事会において選定する、会長（代表理事）に係る候補者を決定するための選挙を行います。

去る12月8日に開催された本会定例理事会におきまして、同選挙の公示日（2018年12月10日）ならびに選挙期日（2019年3月24日：臨時総会）等を決定し、会長候補者に関する公示を本会事務局ならびに本会ホームページ（会員のページ）に掲示しております。

詳細につきましては、同公示と同時掲載の一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則および選挙規則施行細則をご確認下さい。

自ら候補者になろうとする正会員、候補者を推薦しようとする正会員は、下記により届け出て下さい。

記

- (1) 候補者の資格は、2018年12月21日までに、本会へ正式入会手続きを完了している正会員に限りです。
- (2) 届出の受付期間は、2018年12月10日から2019年3月1日の午前9時から午後5時までとし、本会事務局（沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10）で受け付けます。但し、土曜日、日曜日と祝日を除きます。
- (3) 届出の締切日時は2019年3月1日午後5時までです。締切日時後の届出は、受け付けられません。郵送による場合は、必ず書留をご利用下さい。締切日時までに到着したものを有効とします。締切日時後に到着したものは無効とします。
- (4) 立候補届出書（又は候補者推薦届出書と承諾書）をはじめ、必ず添付しなければならない書類の様式は全て規定されております。届出関係書類一式あるいは本会定款等諸規定は、ご請求下されば郵送致します。
- (5) 本会ホームページに、選挙に関する関係規則等を掲載しますので、ご覧下さい。

お問い合わせは、本会事務局（電話 098-963-8930）へお願い致します。

以上

告 示

2018年12月10日

正会員 各位

一般社団法人 沖縄県薬剤師会
選挙管理委員会

沖縄県薬剤師会代議員選挙の告示

この度、2017・2018年度一般社団法人沖縄県薬剤師会代議員の任期終了を、2019年3月に控えておりますことから、次期の2019・2020年度一般社団法人沖縄県薬剤師会代議員を選出するため、下記により代議員選挙を告示します。

代議員は、一般社団法人沖縄県薬剤師会の総会の構成員（法人法上の社員）として議決権を有するものであり、代議員の選任は、正会員から立候補者を募り、正会員による投票をもって選出します。詳しくは、一般社団法人沖縄県代議員選挙規程をご確認ください。

各位の積極的な立候補をお願い致します。

記

1. 代議員の任期

今回選出の代議員の任期は、2019年3月25日から2021年3月開催の総会まで。

2. 立候補の資格

選挙期日の90日（2018年12月1日）前までに、本会の正会員として在籍していること。

3. 立候補の届出

2019年2月8日までに、所定の「立候補届出書」及び「経歴書」各1部を沖縄県薬剤師会選挙管理委員会宛てに提出してください。

4. 立候補の辞退

立候補を辞退したい時は、2019年2月22日迄に、所定の「立候補辞退届」1部を沖縄県薬剤師会内選挙管理委員会宛てに提出してください。

5. 選挙の方法

郵便投票（沖縄県薬剤師会から選挙人に直接送付した投票用紙による）

6. 選挙区ごとの代議員定数

別紙の代議員定数表をご参照ください。もしくは、本会事務局までお問い合わせください。

（注）この選挙区は、沖縄県薬剤師会の正会員が所属する支部ごとの区分です。

7. 選挙のスケジュール

2018年12月10日 ~ 2019年2月8日	立候補の受付
2019年 2月 8日	立候補の締切
2019年 2月12日 ~ 3月 2日	立候補者一覧表の告示
2019年 2月12日 ~ 3月 2日	投票（郵送による投票）
2019年 2月22日	立候補辞退の締切
2019年 3月 2日	開票（選挙期日）
2019年 3月 4日	当選者の告示

8. 立候補届出書・関係書類等

本会のホームページからダウンロードしてご使用ください。

また、本会事務局までご請求下されば郵送致します。

- 立候補届出書 (様式第1号)
- 経歴書 (様式第2号)
- 立候補辞退届出書 (様式第3号)
- 定款
- 代議員選挙規程

9. 問い合わせ先

沖縄県薬剤師会事務局

〒901-1105 南風原町字新川218-10

TEL 098-963-8930

FAX 098-963-8932

＜代議員選挙区＞

北部地区薬剤師会

名護支部 (名護市、本部町、今帰仁村、国頭村、大宜味村、東村、伊江村、伊是名村、伊平屋村)

中部地区薬剤師会

うるま支部 (うるま市、金武町、宜野座村)

沖縄支部 (沖縄市、北谷町)

嘉手納支部 (嘉手納町、読谷村、恩納村)

宜野湾支部 (宜野湾市、北中城村、中城村)

那覇地区薬剤師会

首里支部 (首里、古島、松島、真嘉比)

那覇東支部 (字安里、大道、松川、真地、壺屋二丁目、寄宮、長田、三原、繁多川、識名、古波蔵、与儀、上間、仲井真、国場)

那覇北支部 (泊、安謝、曙、港町、上之屋、おもろまち、天久、銘苺、安里一丁目～三丁目)

那覇中央支部 (松山、久米、若狭、東町、西、辻、通堂町、松尾、久茂地、牧志、前島、泉崎、壺川、楚辺、旭町、二中前、壺屋一丁目、樋川)

小禄支部 (小禄、鏡原町、高良、田原、宇栄原、山下町、具志、宮城、金城、当間、赤嶺、安次嶺、奥武山町、大嶺、鏡水、垣花町、住吉町、渡嘉敷村、座間味村、渡名喜村、栗国村、久米島町、北大東村、南大東村)

浦添支部 (浦添市)

南部地区薬剤師会

糸満支部 (糸満市、豊見城市、八重瀬町)

南風原支部 (西原町、与那原町、南風原町、南城市)

宮古地区薬剤師会

平良支部 (宮古島市、多良間村)

八重山地区薬剤師会

石垣支部 (石垣市、竹富町、与那国町)

代議員定数 (2018年12月1日時点の支部会員数)

地区薬剤師会	支 部	会員数		代議員数		予備代議員数
		今 期	前 期	次期 25人以下1人、 25人を超え20人増すごとに1人	今期との 比較 (増減)	
北部地区	名護支部	74	64	3	1	1
中部地区	うるま支部	74	82	3	0	1
	沖縄支部	142	132	6	0	2
	嘉手納支部	23	20	1	0	1
	宜野湾支部	79	68	3	0	1
那覇地区	首里支部	73	60	3	1	1
	那覇東支部	134	118	6	1	2
	那覇北支部	78	65	3	0	1
	那覇中央支部	87	101	4	0	1
	小禄支部	57	50	2	0	1
	浦添支部	116	113	5	0	2
南部地区	糸満支部	97	94	4	0	1
	南風原支部	137	133	6	0	2
宮古地区	平良支部	29	25	1	0	1
八重山地区	石垣支部	20	20	1	0	1
合 計		1,220	1,145	51	3	19

会員数	代議員数
1～44人	1
45～64人	2
65～84人	3
85～104人	4
105～124人	5
125～144人	6
145～164人	7

※次期＝第四期（2019・2020年度） 今期＝第三期（2017・2018年度） 第一期（2013・2014年度）
 ※代議員定数の決定＝選挙期日の90日前（2018年12月1日）迄に、本会の正会員として在籍していること。



はいさい！はい

薬局訪問

VOL. 47

クリスマスイルミネーションで街が華やぐ季節、58号線を北上すると、左側のアメリカっぽいネオンと共に、クリスマスイルミネーションに包まれた建物が見えてくる。

— 昨年の年末に訪問してから、ずっと気になっている薬局を、やっと訪問できた。



宮盛薬局（読谷村） ～ イルミネーションで別世界～

読谷村にある宮盛薬局は、58号線沿いにある、中部地区薬剤師会の伊佐常隆会長の薬局である。常隆氏と奥様の典子氏で経営されている。

常隆氏のご両親が、宮盛薬店（本店）を嘉手納町の嘉手納ロータリーの中通りで開店した。45年前には2店舗目として住宅兼店舗の建物で宮盛薬局支店を開局する。本店は、2回の移転で60年前に嘉手納ロータリーのバス停前に店舗を構える。その後、バス停前の店舗はロータリーの拡張で立ち退きとなった。その際に、読谷村にある宮盛薬局支店が宮盛薬局となった。

開設者である常隆氏は昭和50年に昭和薬科大学を卒業後、帰沖。薬局の仕事を手伝いながら語学学校へ通い、そこからアメリカへ2年間留学される。

「留学というより遊学で、ロサンゼルスという土地柄、映画もたくさん観たなあ」と話された。いろいろな国から来たいろいろな種の友人ができ、その中で、自己主張していくことの重要性も学んだそうである。

このアメリカ遊学で培った、アメリカナイズされた感覚が薬局のあちこちにみられる。今回の取材の目的のクリスマスイルミネーション。薬局内はまるでアミューズメントパーク。店舗入口の脇に飾られた煉瓦の街並みと緑のライトに光るエンパイヤーステートビル。店舗の中央に、天井まで届くツリーが

置かれ、その下に飾られた3体のぬいぐるみ（サンタ、雪だるま、熊）が歌い出す。天井に飾られるモールもシャンデリヤのように超豪華にキラキラしている。驚くのはこの飾り達、30年以上前の物という。昭和の時代もあれば、30年ではきかない物も。OTC薬のメーカーからの店舗用の飾りを大事に今も使用されているとのこと。アメリカから持ち帰ったというパイプチャイムの音色が優しく、店内の二代目Boseから流れるクリスマスソングを邪魔しない。Bose っつのも、またオシャレである。

店舗内で見つけたアメリカは他にも。アップルシナモン香りの芳香剤は置くタイプとエアタイプ。クーラーの吹き出し口にシュッとスプレーしていただくと、薬局内は外国のクリスマスの香りですばいになった。陶器のサンタのプレゼント袋にはクリスマスラッピングのハーシーチョコに、クリスマス帽子ラッピングのキスチョコが沢山飾られている。

「こんな外見だから、時々、外人さんが迷い込んできて、クリスマスの香りも懐かしいと喜んでくれたこともある。外人さんに、キスチョコの紙に書かれている“HOO！HOO！”がサンタの笑い声だと教わったりね。」

来局される地域の方たちも、このイルミネーションを楽しみにしている。

地域の健康相談を担う薬局が以前は近隣に

た〜い！！



国道から目を引くクリスマスイルミネーションで彩られた夜の宮盛薬局

5軒あったが、OTC薬から調剤へと変わっていく中で、いつの間にか宮盛薬局の1軒となった。最近では近隣に大手ドラッグストアが3店開店し、その1軒は国道58号線を挟んだ向かいにある。それでも、OTC薬、調剤、健康相談を長年続けている地域に根差した薬局の強み。OTC薬購入の方は以前よりは減ったが、「それでも相談したい時には、やはり、宮盛薬局でないかね。」と訪ねて来られる方もおられ、「閉めたら困るよ。」という長いお付き合いの方も多し。

OTC薬と処方薬を知ったことで、アドバイスの幅も広がったと実感する。健康サポート、セルフメディケーションといったことへの対応も、長くOTC薬を経験し、その時に学んだ知識が役に立っていると実感することも多いそうだ。現在、求められている薬局の姿が宮盛薬局にはあった。

取材も終盤、ビンテージ物もコレクションされているという。最初に、お母様が使っていたという木製の大きな5玉のそろばんが店舗内に飾られていた。貨幣単位が記されているが、なんと\$マーク。次に、アロハシャツを見させていただく。“なんでも鑑定団もの”である。このアロハシャツとの出会いも留学中とのことで、何十枚も保管されていると伺った。次は、番外編でアロハシャツの取材がしたいと思いつつ、薬局を後にした。

(文・広報委員会 前濱 朋子)

※掲載している画像は、当会Facebookにカラーで掲載していますので、お楽しみ下さい。



伊佐常隆氏と典子氏



店舗中央に天井まで届く大きなツリーと、天井に飾られたモールが店内をゴージャスに演出



ゴージャスに彩られた店内にOTC医薬品等が整然と並ぶ



ご自慢のアロハシャツを披露する常隆氏

平成30年度 第3回理事会(臨時) 議事概要

平成30年5月26日(土) 19:00～21:30

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

<出席者>

会 長：亀谷浩昌
副 会 長：江夏京子、外間惟夫、前濱朋子
理 事：村田美智子、川満直紀、笠原大吾、西川裕、山里勇、成川賢一、佐藤雅美、
渡具知一枝、下地仁、幸地良信、荒井千春、我喜屋美香、吉田洋史、新垣秀幸、
上原卓朗
監 事：友利弘一、神谷朝雄
欠 席：吉富弓江
相 談 役：神村武之(会営薬局移転検討特別委員会委員)
事 務 局：山城英人、大城喜仁

今回の議題は、会営薬局とよみ移転に関するものであることから、担当理事である川満常務理事が進行。

冒頭で、亀谷会長から挨拶があった。

(亀谷会長)

会営薬局とよみ移転については、本会だけに関わるものではなく、今後の県内における敷地内薬局への対応の有り方にも関係してくる。十分な協議をお願いしたい。

議題

(1) 定時総会の議題予定の「会営薬局とよみ移転について」の議題事項から報告事項への変更について

(山城次長)

去る5月の理事会において、6月17日の定時総会で「会営薬局とよみ移転について」を議題項目にすることで承認されたが、改めて公益法人協会に確認したところ、定款上では総会事項ではないこと、また、このような重要な事項は理事会の責任のもと決定すべきであり、あえて総会に提出したいのであれば報告事項でよいとの回答を得た。

よって、5月の理事会で定時総会の議題として承認された「会営薬局とよみ移転について」を報告事項に変更したい。

特に異議なく、了承された。

(2) 会営薬局とよみ移転について(豊見城中央病院敷地内保険調剤薬局応募書の提出について)

<資料配布>

(川満常務理事)

新豊見城中央病院が平成32年4月に竣工し、6月～7月頃に移転が計画されていることで、新

病院敷地内に患者の利便性を考慮した薬局の誘致が計画されており、既存の門前薬局に対して、文書「調剤薬局運営事業における優先交渉権の付与に関する応募申請について」で、本会に示された。これを受けて、会営薬局移転検討特別委員会において財務面、倫理面等の観点から協議を重ねてきた。そのことを踏まえて、豊見城中央病院敷地内保険調剤薬局応募申込書を提出するか否かを協議したい。

(山城次長)

これまで2か月に1回のペースで豊見城中央病院と進捗状況の把握のために面会を重ねてきた。新豊見城中央病院の移転先の土地は、市街化調整区域であることから商業施設を建設するためには法的に設立された組合に一部土地を譲渡しなくてはならない。その後に病院側が買い戻すこともできるようだが、何れにしても病院側はその譲渡した場所に薬局を誘致したいと考えている。しかし現時点では、譲渡する土地の広さや場所、その契約の相手先がどこなのか、そしてその物件が賃貸なのか売買なのか、価格等についてもまだ決定されていない状況である。

(成川理事)

薬局を誘致する土地の所有権が豊見城中央病院ではなく組合であった場合は、優先交渉権は、有効なのか。

(川満常務理事)

組合の組員には豊見城中央病院も含まれており、その件は理解されており有効である。

(山城次長)

土地の所有権が組合のまま薬局側との契約となった場合、敷地内ではなく敷地外との解釈にならないかと思ひ、九州厚生局に確認したが、そのような例が無いことと、位置関係等が不明確なことが多いため、回答できないとのことであった。

(川満常務理事)

敷地内に入った場合のメリット、デメリット等の意見をいただきたい。メリットとして考えられる例は、①会営薬局が敷地内に入ることによって、利益重視薬局の患者の抱え込みが阻止できる。②高度薬学管理機能を有することで地域薬局のモデル薬局になる。等がある。

(我喜屋理事)

メリットとしての高度薬学管理機能とあるが、現在、会営薬局とよみが薬剤師不足という中、本来であれば現時点で薬剤師を充足させて、病院薬剤部との連携を頻繁に行って準備をしていかなければいけないと思う。現実的に薬剤師不足が不安である。

(荒井理事)

先日、沖縄県立八重山病院の敷地内薬局誘致に対して反対の意見を示したことと、今回の豊見城中央病院の敷地内薬局への対応の整合性をどう考えているのか。

(亀谷会長)

何度か説明しているが、2段階戦略を考えている。まず、敷地内薬局には反対である。しかし、法的に敷地内薬局は条件が揃えば認められているため、利益重視の薬局が入るのを阻止するために会営薬局が入り、地域展開も含めて考えた方が望ましいのではないかと思っている。

(下地理事)

経営資産予想資料について説明いただきたい。

(山城次長)

不明確な状況が多い中、新病院は急性期患者を中心に、既存病院は慢性期患者を中心となることを踏まえて、新病院への敷地内薬局になる場合と既存病院の門前薬局のままの場合として

の経営資産の予想となっている。(資料に沿って詳細を説明)

(吉田理事)

県薬の会営薬局が私立病院の敷地内に入ることになるとマスコミ等からかなり注目されることが予想される。

(亀谷会長)

注目されることは必至と思われる。私が考える敷地内薬局に対する2段階戦略の考え方は、なかなか世間には理解してもらえない状況があり、もっと理論立てをしないとイケないと思う。

(上原理事)

世間およびマスコミに理解させるためには、会長の考える2段階戦略をしっかりと伝え、且つ高度薬学管理機能を有することを目的とした薬局作りを伝える必要があると考える。

(吉田理事)

敷地内ではなく、敷地外において高度薬学管理機能を有して会員薬局のお手本になることを考えてもいいのではないか。

(亀谷会長)

そうすると、敷地内に大手チェーン薬局が入り利益重視で展開することになる。

(吉田理事)

今、大手チェーン薬局は、厚労省が示す薬局ビジョンを実現するために力を入れており、これまでのお薬を渡すだけの機能は目指していないと思う。日薬および本会が敷地内を反対している立場である中、敷地内に入る理由を探しているように思える。

(亀谷会長)

敷地内反対を押し通すだけで、会営薬局はどうすべきかを提案してほしい。

(吉田理事)

これまで通り敷地内に入らず、門前にすべきであると考えます。

(佐藤理事)

ここ十数年で院外処方せんの内容も変わってきている。会営薬局のビジョンも変わって良いと思う。今がそのタイミングと考える。これは理事一人一人が全員でそれを望み、取り組む必要があると思う。

(川満常務理事)

これまでも理事会で状況等の報告をしてきたが、各地区薬剤師会に持ち帰って、どのような結論等が出ているのか教えてほしい。

(各地区代表理事)

北部・中部・那覇・八重山地区薬剤師会では、意見は求めたが結論は出ていない。

南部地区薬剤師会では、会営薬局が収益を求めただけなら敷地内反対との意見であった。

宮古地区薬剤師会は議論の末、敷地内は賛成となった。

(川満常務理事)

いろいろなご意見が出たが、現在、あらゆる条件が不明確な状況の中、敷地内に入る入らないを決定するのではなく、優先交渉権を提出しておき、あらゆる条件が揃って検討および交渉していくことが得策であることを前置きにし、豊見城中央病院敷地内保険調剤薬局応募申込書を提出することについて挙手を求める。

賛成多数で、豊見城中央病院敷地内保険調剤薬局応募申込書を提出することが了承された。

平成30年度 第4回理事会 議事概要

日時：平成30年6月9日（土）午後7時～午後9時45分

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

<出席者>

会 長：亀谷浩昌
副 会 長：江夏京子、外間惟夫、前濱朋子
理 事：村田美智子、川満直紀、笠原大吾、西川裕、山里勇
成川賢一、佐藤雅美、渡具知一枝、下地仁、幸地良信、
荒井千春、我喜屋美香、吉富弓江、吉田洋史、新垣秀幸
監 事：友利弘一
欠 席：上原卓朗
事 務 局：山城英人、大城喜仁、宮城豊英

理事会前に先日ご逝去された元会長の金城保景先生の告別式が執り行われた事を亀谷会長が報告した。司会進行は外間副会長。

議題

(1) パート職員賞与基準について

(山里常務理事)

従来は、特に勤務年数に応じて支給額を決定していたが、改正後は、週の就業時間を基に賞与額を決定する。また、現行の「支給する」から「支給する事ができる」と変更する事を提案したい。

議論の結果、賛成多数により承認された。

(2) パート職員賞与について

(山里常務理事)

昨年度下期（平成29年10月～3月）の決算状況を確認し、概ね良好であることから、パート職員への夏季賞与を支給したい。

支給する事で承認された。

(3) 平成30年度 くすりと健康フェア 講師について

(山城次長)

平成30年度くすりと健康フェア週間に開催される県民公開講演会の講師を選定いただきたい。沖縄県と那覇市による共催のため、講師の決定ではなく、薬剤師会として順位をつけて沖縄県と那覇市に推薦する。前回の理事会にて推薦された5名の講師の中より選出いただきたい。
1位：玉城絵美、2位：大城勝史、3位：田名毅

上記の順位にて、沖縄県と那覇市に推薦する事が決定された。

(4) 沖縄県薬剤師会会館使用料について

(山城次長)

会館使用規程⑤と⑦の改正について提案したい。理由として、特に製薬メーカーによる地区薬剤師会と研修会等を共催する事で会館使用料を安く利用するケースが多発したため。必ずしも非会員価格ではなく、条件付きで減額する要綱も追加する。また、賛助会員Aの入会数減少が懸念されているため、賛助会員Aに対する入会促進のための要綱も追加したい。

議論の末、賛成多数により承認された。

(5) 名誉会員及び相談役に関する規程について

(山城次長)

現在、顧問制度はなく相談役制度になっている。また、「名誉会員及び顧問制度に関する規定(内規)」が当会が一般社団法人化する以前のものであることから、改正について提案したい。

報酬は無償だが交通費に係る実費として、理事に準ずる形で支給する項を追記する事で承認された。

(6) 名誉会員の推戴について

(山城次長)

表彰選考諮問委員会にて名誉会員の基準に該当する3氏の推薦があった。名誉会員への推戴を承認いただきたい。

次年度以降、基準に準ずる方がいたら審議していきたいが、当会への貢献度も名誉会員への推戴に重要視されることが提言された。

3氏の名誉会員推戴が承認された。

(7) 第78回定時総会 提出議題の追加について

①会員規程の変更について

(山城次長)

特別会員Aであった会員が名誉会員に推戴した場合の会員規程がなかったため、資格基準(第3条第2項)に「名誉会員推戴前に特別会員Aであった者は、県薬会員のみを有するものとする」という規程を一部追加したい。

承認された。

②会費規程の変更について

(山城次長)

上記議題と同じ理由で、名誉会員の会費を0円という項目を追記したい。

承認された。

(8) 第78回定時総会 地区代表質問について

(山城次長)

来る定時総会における地区代表質問における回答の確認とその練習も兼ねて、大城課長が質問し、回答者本人が回答する形で進行したい。

代表質問に対して、回答の意図が違う文言もあったため、定時総会までに修正するという事で承認された。

9) その他

報告（会）

(1) 会営薬局の調剤保険料等について

(2) 平成30年度日本医薬品卸勤務薬剤師会研修会

5月11日(金) 大手町産経プラザ

(吉富理事)

全国の卸に勤務する薬剤師120名が参加した。地域包括ケアと感染症についての講演が行われ、非常に興味深い内容であった。

(3) 平成30年度第1回会営薬局移転検討特別委員会

5月14日(月) 県薬

(川満常務理事)

会営薬局を高度薬学管理機能を有する薬局にしていきたい。また、会営薬局とよみの移転に伴う敷地内優先権について、会営薬局の財政についての話し合いであった。

(4) 平成30年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会

5月15日(火) サザンプラザ海邦

(前濱副会長)

6/14に行われる県薬物乱用防止協会の総会についての話し合いであった。その報告も兼ねて次回報告する。

(5) 日本薬剤師会 意見交換会

5月16日(水) 日薬

(亀谷会長)

マスコミ非公開にて行った。インドの人口中絶薬を個人輸入した事による死亡例があった。そこで個人輸入できないように働きかけた。また、日医はオンライン診療について勧めているがその対応については明確な回答はなかった。大分県から個別指導によく当たる薬局があるので日薬として対応してくれないかと意見があった。

(6) 平成30年度第1回都道府県会長会議

5月16日(水) 日薬

(亀谷会長)

特に、オンライン医療の推進について協議した。日医としては慎重にしたらどうかと意見があった。日薬は対面の果たす役割が重要であると意見しているが、規制改革会議は実現に向けて議論を進めていきたいとしている。

(7) 九州厚生局沖縄麻薬取締支所より来訪

5月16日(水) 県薬

(大城課長)

沖縄麻薬取締支所が薬剤師不足しており、薬剤師無料職業紹介所の利用のため来訪。県衛生薬務課の中村主幹の紹介により川田麻薬取締官が見えられた。求人登録と共に、7月に開催される新任新人薬剤師研修会にて麻薬取締官の専門職の紹介をすることが決定した。

- (8) 平成30年度学校環境衛生・安全管理講習会 5月17日(木) 沖縄県立総合教育センター
(前濱副会長)
講師に新垣紀子氏を派遣し、県立学校の教頭(防災管理者)、保健体育科教諭(プール管理係)、保健主事、養護教諭、市町村教育委員会の担当者、指導主事、学校薬剤師を対象に講演した。学校薬剤師の参加は約10名であった。
- (9) 日本スポーツ振興センターより来訪 5月18日(金) 県薬
- (10) 那覇地区薬剤師会総会・特別講演会 5月20日(日) 県薬
(渡具知理事)
那覇地区薬剤師会総会を行った。特別講演として電話対応のマナーについて行った。
- (11) 平成30年度第2回学校薬剤師部会役員会 5月20日(日) 県薬
(前濱副会長)
6/2開催予定の九州地区学薬ブロック連絡会議の回答作成について協議した。
- (12) 平成30年度第1回財務委員会 5月21日(月) 県薬
(山里常務理事)
平成29年度決算報告を行った。薬学実務実習における指導薬剤師の手当について案を作成中である。また、会営薬局とよみの移転に伴う経営状況についても説明された。
- (13) 平成30年度第3回幹事会(臨時) 5月22日(火) 県薬
(山城次長)
会営薬局とよみの移転について特に、敷地内、優先交渉権について協議した。
- (14) 琉球大学学生来訪(学生新聞「琉大ジャーナル」取材) 5月23日(水) 県薬
(大城課長)
琉球大学では学生新聞「琉大ジャーナル」を毎年7月に発行しており、今年発行の69号で『沖縄県に薬学部が無い、薬剤師不足』に関する記事を掲載したいとの事で琉大学生記者が亀谷会長を訪れた。
- (15) 平成30年度第2回浦添市地域ケア会議 5月23日(水) 同仁病院
(笠原常務理事)
浦添市では患者の検討ケース概要を事前に共有する事で、薬剤師としてアドバイスを十分に検討してから現場に望む事が出来る事例を紹介した。
- (16) 新規個別指導・個別指導 5月24・31日(木) 那覇第一地方合同庁舎 6月7日(木) 県庁
- (17) 平成30年度 患者のための薬局ビジョン推進事業打ち合わせ会議 5月24日(木) 県薬
(西川常務理事)
電子版お薬手帳導入助成事業の計画書を作成した。
- (18) 琉球新報社新本社ビル 落成記念式典・祝賀会 5月25日(金) 琉球新報社新本社ビル
(亀谷会長)
琉球新報社の落成記念式典・祝賀会に出席した。
- (19) 在宅医療委員会主催研修会 in 八重山(DVD) 5月25日(金) 大濱信泉記念館
(幸地理事)
会員6名が参加した。
- (20) 平成30年度第3回理事会(臨時) 5月26日(土) 県薬
(川満常務理事)
会営薬局とよみの移転について協議した。

- (21) 平成30年度女性薬剤師部会総会・講演会 5月27日(日) 県薬
 (村田常務理事)
 亀谷会長が総会に挨拶として参加された。総会には会員15名が参加し、その後の漢方講座講演会に48名参加(内薬学生1名)した。年々参加者が減ってきているため会費の減額も検討している。
- (22) 宮古地区薬剤師会 総会 5月27日(日) シモジ薬局
 (下地理事)
 亀谷会長の代理で神村相談役が参加された。
- (23) 九州山口地区薬剤師会 薬局実務実習受入調整機関評議員会 5月28日(月) 福岡県薬
 (亀谷会長)
 平成29年度事業報告(案)について協議された。
- (24) 平成30年度第1回九山代表者会議 5月28日(月) 福岡県薬
 (亀谷会長)
 第80回九州山口薬学大会を2020年11月22～23日に沖縄県にて開催予定と報告した。
- (25) 日薬九州ブロック代議員予備会議 5月28日(月) 福岡県薬
 (亀谷会長)
 福岡県が九州ブロック代表者として質問する。質問案について協議したが、会議の場では決められなかったため、福岡県薬の事務局に一任する事となった。沖縄県は2020年に代表者として質問予定である。沖縄県による「電子化による処方箋保存の実現化について」の質問案は、平成28年3月31日に厚労省が通達している文書があるためそちらを確認するよう提言した。
- (26) スポーツファーマシスト委員会 5月28日(月) 県薬
 (笠原常務理事)
 薬事情報センター委員会の中の小委員会で、主にドーピング防止についての委員会である。報告(42)の沖縄県スポーツ医・科学委員会サポートプログラムの説明・内容の承認について協議した。
- (27) 講師派遣(未来の産業人材育成事業) 5月29日(火) 多良間小学校
 (大城課長)
 松尾はつよ氏の派遣が決定した。
- (28) 平成30年度第51回定時総会(沖縄県青少年育成県民会議) 5月29日(火) 豊見城中央公民館
 (亀谷会長)
 出席した。
- (29) 平成30年度第4回幹事会(臨時) 5月29日(火) 県薬
 (山城次長)
 第78回定時総会に向けての代表質問について協議した。
- (30) 平成30年度沖縄県警察官友の会役員会(総会) 5月31日(木) サザンプラザ海邦
 (村田常務理事)
 県民と警察官の理解と親睦を図る事を目的とし開催している。昨年度より大城桂子氏より引き継いだ。
- (31) 平成30年度第1回表彰諮問委員会 6月1日(金) 県薬
 (山城次長)
 名誉会員の推戴について話し合った。また、「名誉会員及び顧問制度に関する規定(内規)」

の当会が一般社団法人化する以前のものであることから見直しが検討された。

- (32) 平成30年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議 6月2日(土) 宮崎県薬
(前濱副会長)

亀谷会長、前濱副会長、村田学薬部長が出席された。

- (33) 認定実務実習指導薬剤師養成・更新講習会 6月3日(日) 県薬
(我喜屋理事)

新しいDVDカリキュラムで行った。養成講習会受講者37名・更新講習会受講者4名が参加された。

- (34) 未来の産業人材育成事業合同会議 6月4日(月) 沖縄県社会福祉協議会
(大城課長)

グジョブ事業の一環として行っており、各産業から学校に職業人講話として派遣している。担当の学校薬剤師に派遣依頼を行っているが平日のためなかなか都合がつかないため、松尾はつよ氏に派遣をお願いしている現状である。

- (35) 平成30年度第1回沖縄県自然環境保全審議会 6月5日(火) 県庁
(山城次長)

宮城敦子氏が委員として出席された。

- (36) 東日本大震災支援協力会議 解散総会 6月5日(火) 沖縄空手会館
(亀谷会長)

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震後に沖縄県に避難してきた被害者を支援するために、同年、東日本大震災支援協力会が官民188団体で結成されたが、役目を終えた事による解散総会であった。解散理由「支援対象者は結成から7年が経過、当初の1,062人から363人に減った。被支援者は普通の生活に戻りつつあり、支援協力会議は役目を終えた」

総会后、顕著な支援をしたとして企業と個人が表彰された。

- (37) 社会保険診療報酬支払基金 幹事会 6月6日(水) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部
(亀谷会長)

亀谷会長が出席した。

- (38) 「沖縄子どもの未来県民会議」平成30年度第1回総会 6月6日(水) 県庁
(山城次長)

亀谷会長の代理で山城次長が出席した。特に貧困問題について協議した。

- (39) 臨床及び疫学研究等に関する倫理審査の体制づくりについての協議会 6月6日(水) 琉球大学医学部附属病院
(外間副会長)

学術研修委員会委員を中心に、琉球大学の中村部長、薬事情報センターの吉田典子氏、事務局大城を加え、平成30年度中に倫理審査委員会の立ち上げを目的として協議した。

- (40) なごみ会主催県民健康フェア第3回実行委員会 6月6日(水) 沖縄県医師会館
(笠原常務理事)

今年度のキャッチコピーが「あなたの健康はみんなの幸せ-自分の「今」をチェックしよう-」に決定した。また、なごみ会相談員のための講習会を行う予定である。

- (41) 薬剤師研修協議会連絡会 6月7日(木) 日本消防会館
(外間副会長)

研修認定薬剤師制度の整備について協議した。これまで「薬剤師生涯学習の指標項目」の提

出は任意であったが、平成31年4月より義務化する事で決定した。なお、平成30年度中は試行期間である。

(42) 平成30年度第1回スポーツ医・科学委員会 6月7日(木) 沖縄県体協スポーツ会館
(笠原常務理事)

公益財団法人沖縄県体育協会スポーツ医・科学委員会が中心となり、本県スポーツの振興及び競技水準の向上に寄与することを目的とする組織である。スポーツ医・科学サポートプログラムファーマシスト部会としてサポートプログラムに係わる料金表について提案し、承認された。プログラムに組み込まれた事で、今後、スポーツファーマシストとしての活動の幅が広がる事が期待される。

(43) 会営薬局とよみ薬剤師会議 6月13日(水) 会営薬局とよみ
(川満常務理事)

毎月、理事会前に会営薬局とよみの薬剤師と対話をし、相談を受けている。今回、ヘルプ薬剤師からの不満が出てきている事から、リーダーへの指導とコミュニケーションを取りながら協力していきましようとして指示した。

(44) 琉球大学への薬学部創設を求める署名の提出 6月13日(水) 琉球大学
(亀谷会長)

薬学部創設を求める署名を琉球大学に提出する。出席者は大城琉大学長・石田琉大医学部長・藤田琉大附属病院長/沖縄県医師会 会長 安里哲好・沖縄県歯科医師会 会長 眞境名勉・沖縄県看護協会 専務理事 島袋富美子・沖縄県保健医療部薬務衛生課薬務室 室長 新城光雄である。また、多くの報道機関にも参加を呼びかけ、県民への周知を期待した。集まった署名数は10万261筆であった。

(45) その他
(大城課長)

八重山日報(2018.5.23付)に幸地理事の記事が掲載された。

(川満常務理事)

今年より、個別指導における指導内容が全国共通になった。厚労省のHPに指摘事項が掲載されているので確認してほしい。

(大城課長)

会報に掲載されている「一包一話」(著者:橋の下)のエッセイ集が発刊されたので、購入と寄付を呼び掛けている。

報告(薬連)

(1) 元衆議院議員 宮崎政久氏との打ち合わせ 5月14日(月) 宮崎政久事務所
(山城次長)

薬学部創設のために今後の展開の相談と指示を仰いだ。署名提出はあくまでパフォーマンスのため、琉球大学側に障壁となっている事案を聞き出し、東京の政治家にお願いしに行くのが良いのではないかとご教授を受けた。

(2) 平成30年度 第1回全国会長・幹事長拡大会議

5月17日(木) 主婦会館

(亀谷会長)

亀谷会長が出席した。本田あきこ氏の支援者名簿収集に力を集結しようと協議した。スローガンは「目指そう！ 10、70、30」。紹介者10万人、支援者70万人、選挙で30万筆以上を目標に行っていく。

(3) 本田あきこ中央後援会 第2回役員会

5月17日(木) 主婦会館

(亀谷会長)

日本病院薬剤師会と日本女性薬剤師会が本田あきこ氏を全力で支援していく事を語られた。

(4) 第2回 那覇市長選挙選考委員会

5月19日(土) パシフィックホテル沖縄

(亀谷会長)

那覇市長選挙選考委員への就任依頼があった。先方の強い要望により承諾した。会議内容は非公開である。

(5) 沖縄県薬剤師連盟 総務会

6月6日(水) 19:30 ~ 県薬

(山城次長)

本田あきこ支援者名簿の収集が始まるため、特にそれらについて協議した。

(6) その他

会報原稿募集のご案内

広報委員会



おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します(薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です)。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております(手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します)。

☆原稿送付先(会報に関する問い合わせ)

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

平成30年度 第5回理事会 議事概要

日時：平成30年7月14日（土）午後7時～21時

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

<出席者>

会 長：亀谷浩昌
副 会 長：江夏京子、前濱朋子
理 事：山里 勇、川満直紀、笠原大吾、西川 裕、村田美智子、成川賢一、佐藤雅美、
渡具知一枝、新垣秀幸、下地睦夫、幸地良信、荒井千春、我喜屋美香、吉田洋史
監 事：神谷朝雄
欠 席：外間惟夫、吉富弓江、上原卓朗
事 務 局：山城英人、大城喜仁、長嶺勇作

議題

(1) 行政薬剤師会員（正会員C）入会促進に伴う入会金免除（期間限定）について <資料>P. 1
(山城次長)

行政薬剤師の会員を増やすために今年度4月1日から来年3月31日までに入会申請書を提出した者は入会金免除の了承を頂きたい。（対象者：26名）

協議の結果、短期集中キャンペーンで10月末までの募集期限を設ける事で了承された。

(2) 第80回九州山口薬学大会（沖縄開催）におけるイベント委託業者について <資料>P. 2
(山城次長)

2年後に九州山口薬学大会が沖縄県にて開催されるが、他県においても過去何回も委託しており、前回の沖縄開催の時も委託し大会を熟知している、コンベンションリンケージをお願いをしたいがいかがか、協議して頂きたい。

協議された結果、地元の業者にも見積もりを取り、理事会にて決定する事になった。

報告（会）

(1) 会営薬局の調剤保険料等について <資料>P. 1

(2) 講師派遣（医療通訳ボランティア養成講座）

6月10日（日）（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団<資料>P. 4

(山城次長)

阪本嵩彰先生を講師として派遣した。

(3) 平成30年度第3回学校薬剤師部会役員会 6月10日（日） 県薬

(4) 平成30年度第1回青年薬剤師部会主催実践薬学講演会

6月10日（日） 株式会社アトル<資料>P. 5

(西川常務理事)

昨年度は台風直撃の為、標記講演会が中止となったが、今年度は無事に開催する事が出来た。

講師には、日経DIや安心処方infoboxにも連載している山本雄一郎先生を熊本県からお招きし開催した。講演会の参加者は69名であり、参加者から薬歴に関する質問など多くの質問が飛び交い、とても有意義な講演会となった。また、講演会前日と当日の終了後に計2回の情報交換会を開催し、2回とも約15名の人数が集まり、活発な情報交換会を行うことが出来た。

- (5) 中部地区薬剤師会総会 6月10日(日) ちゃたんニライセンター
(佐藤理事)

参加人数30名だった。役員はそのまま継続となったが、経理の方が退任となった為、普久原副会長が兼任する事になった。総会終了後には、県薬剤師会医療保険委員長の仲真先生に調剤報酬請求業務及び個別指導における指摘事項の講習会をしていただいた。

- (6) 県立精和病院との打ち合わせ 6月11日(月) 県立精和病院
(荒井理事)

時期は未定だが院外処方せんの発行率を高めていきたいとの事。また、精和病院では訪問看護を行っているが、薬に依存している患者が多いので在宅医療で薬剤師が携わってほしいと話があった。現在、県薬ホームページに掲載されている在宅支援薬局一覧では、何軒の薬局が精神疾患に対応しているか把握できていない為、あらためて項目を追加して全薬局にアンケート調査を行い、精神疾患患者対応薬局を把握していく。

- (7) 平成30年度日本薬剤師会 薬局実務実習担当者全国会議 6月13日(水)慶応義塾大学 芝共立キャンパス<資料>P.6
(佐藤理事)

副委員長の平田先生と一緒に参加してきた。来年度から大学を中心として薬局と病院が連携をして疾患について実習する事になっている。また、全国会議に参加し、今後、伝達を行っていく。

- (8) 琉球大学への薬学部創設を求める要請文および署名の提出 6月13日(水) 琉球大学<資料>P.7
(亀谷会長)

医師会、歯科医師会会長、看護協会の専務理事、他、当会三副会長と共に、10万2千人分の署名を琉球大学へ提出してきた。マスコミも多数取材に来ており、琉球大学の学長も署名の重さを感じており、検討するとの事であった。また、国立大学への薬学部創設は非常に難しい見解を示しているが、他県では公立大学において薬学部創設を実現させており、当会においても薬学部創設実現のためにあらゆる方法を用いて今後も取り組んでいく。

- (9) 平成30年度第1回おきなわ津梁ネットワーク運営実行委員会 6月13日(水) 沖縄県医師会館
(吉田理事)

現在、29軒の薬局が津梁ネットワークに加盟しているが、まだまだ少ないので是非加盟して頂きたい。

- (10) 個別指導・新規個別指導 6月14・28日(木) / 7月5日(木) 那覇第一地方合同庁舎
(川満常務理事)

以前より厳しくなっている。指摘事項のチェック項目が全国統一となっており、厚生労働省のホームページでも指摘事項確認リストが掲載されているので確認した方が良い。

- (11) 平成30年度第1回地域医療支援病院運営委員会 6月14日(木) 豊見城中央病院<資料>P.11
(亀谷会長)

年に四回開催されている。紹介率や逆紹介率等の報告があり、新病院の進捗状況についての

報告もあったが当初より遅れているとの事。

- (12) 平成30年度在宅医療委員会主催研修会（宮古開催） 6月14日（木）シモジ薬局＜資料＞P. 12
（下地睦夫宮古地区会長）

DVD研修を行った。改めて在宅医療に介入するには難しいと感じたが、宮古地区医師会とも連携し頑張っていきたい。参加者は8名であった。

- (13) 平成30年度沖縄県薬物乱用防止協会臨時理事会 6月14日（木）県薬＜資料＞P. 13
（前濱副会長）

理事会にて議案が議決されなかったため、臨時理事会を開催し無事に議決された。

- (14) 平成30年度沖縄県薬物乱用防止協会総会・表彰式・研修会 6月14日（木）県薬＜資料＞P. 14
（前濱副会長）

研修会では、笠原常務理事が“薬物乱用防止教室～乱用薬剤について最新の話～”の講習をしていただいた。また、表彰式にて当会会員の太田節子先生に感謝状が贈られた。

- (15) 講師派遣（未来の産業人財育成事業） 6月15日（金）那覇市立石田中学校＜資料＞P. 18
（大城課長）

松尾はつよ先生を派遣し、薬剤師職能のPR活動を行った。

- (16) 薬と健康の週間打ち合わせ 6月15日（金）那覇市保健所＜資料＞P. 20
（山城次長）

10月18日に開催される“くすりと健康フェア 県民公開講演会”の講師を誰にするか協議した。現在3名の候補者があがっており、第1候補者にアプローチをかけ無理であれば第2候補者の方へ声をかけていく。

- (17) 沖縄県薬剤師会 第78回定時総会・懇親会 6月17日（日）県薬

- (18) 平成30年度「健康づくり支援事業」第1回推進委員会

6月18日（月）沖縄県総合福祉センター＜資料＞P. 22

（渡具知理事）

今年度はリーダー養成講習会が北部地区で開催される。また、くすりの正しい使い方の講習会が開催されるので、薬剤師会に講師派遣依頼があると思われる。

- (19) 平成30年度第1回在宅医療委員会 6月18日（月）県薬＜資料＞P. 30

（荒井理事）

7月15、16日に山口県薬剤師会理事の戸田康紀先生を講師にお呼びし、「在宅医療に役立つフィジカルアセスメントと症例からの薬学的管理の考え方」と題して講習会を開催する。現在の申込状況は26名である。また、今年度の新しい事業として、平成30年度患者のための薬局ビジョン推進事業に提案していた訪問薬剤業務の見学事業を参考に当委員会として取り組んでいく。（内容は、訪問薬剤業務を実施している薬局に出向き、個別に在宅業務に関する研修を受ける）その詳細を詰める中で、訪問薬剤業務の見学事業を2つ（以下a、b）に分けて進めていく。

a) 在宅経験がない薬剤師を対象

b) 在宅経験があるが、さらなる在宅医療の質を提供する薬局

- (20) 沖縄県薬業連合会 監事監査

6月19日（火）県薬＜資料＞P. 32

（山城次長）

監事の久保田氏、上間氏に平成29年度監査を行っていただき無事に終了した。

(亀谷会長)

議案第1～5号まで無事決議され終了した。その後、懇親会が開催され27名が参加した。

- (32) 豊見城中央病院への応募申込書提出 6月29日(金) 豊見城中央病院 <資料>P. 51

(亀谷会長)

現時点では募集要項が決まっていないが、優先交渉権にて応募の申込書を提出した。

- (33) 平成30年度 日本医薬品卸勤務薬剤師会九州ブロック総会・協議会・議事録

6月29日(金) 株式会社アステム福岡本社 <資料>P. 53

吉富理事が出席した。

- (34) 平成30年度第1回医療安全対策委員会 7月4日(水) 県薬<資料>P. 55

(大城課長)

宇津野宣仁先生が新しく委員に委嘱された。来年3月3日(日) 13時～薬剤師会館にて医療安全講習会の開催を予定している。また、「自動調剤機器・監査システムについて」のアンケートの結果を大分県で開催される九州山口薬学大会にて中尾副委員長がシンポジストとして発表する。

- (35) なごみ会主催県民健康フェア第4回実行委員会 7月4日(水) 沖縄県医師会館<資料>P. 56

(笠原常務理事)

今年度もステージイベントは日本健康指導士会沖縄県支部による“沖縄 Let's プチ体操”に決まった。また、協賛金の申込みが現在4企業しか集まっていないため、ワールド広告社より昨年申込みのあった企業に声掛けをしていくとの話があった。

- (36) 平成30年度 日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部会報告書

7月6日(金) 琉薬<資料>P. 58

(山里常務理事)

報告事項・協議事項ともに問題なく終了した。また、今年度も引き続き実務実習薬学生受入れについても行っていく。研修会等への派遣・助成については、助成金額を一律30,000円とする事で決定した。

- (37) 第11回 子どもの禁煙研究会

7月7日(土) 県薬<資料>P. 59

(笠原常務理事)

「学校における最近の防煙教室」と題し新型たばこの講演を行った。参加者は48名で、その内26名が薬剤師であった。

- (38) 認定実務実習指導薬剤師養成・更新講習会in宮古

7月8日(日) オリーブ薬局 病院前店

(佐藤理事)

宮古地区は更新対象者が居なかったので1回で終了することができた。参加者は5名であった。

- (39) 平成30年度新任・新人薬剤師研修会

7月8日(日) 県薬<資料>P. 60

(大城課長)

研修会の前には、南部医療センター・こども医療センターの施設見学を行い14名が参加した。今回初めて麻薬取締官についても講話していただいた。研修会の参加者は44名であった。

- (40) 平成30年度第1回沖縄県地域医療対策協議会

7月10日(火) 県庁<資料>P. 61

(亀谷会長)

平成30年度事業計画に新規事業として“健康サポート薬局のモデル薬局整備事業”があげられた。また、国会において「医療法及び医師法の一部を改正する法律案」が審議されており、本協議会にて医師確保を協議する場として明確化する事に見直された。しかし、沖縄県では特

殊な事情があるので薬剤師確保事業の件についても、別の会議で今後協議されることになった。

- (41) 平成30年度第1回地域保健委員会 7月10日(火) 県薬<資料>P. 66
(笠原常務理事)

禁煙支援事業について、禁煙支援薬剤師のモチベーションをアップさせるために、沖縄県薬剤師会認定の禁煙支援認定薬剤師のバッジを作成した。対象は、初級「ホワイト」68名、中級「シルバー」7名おり、上級「ゴールド」は0名である。3年おきの更新を何回か続けると最終的にはゴールドのバッジを配布する。地域ケア会議については、各市町村より地域ケア会議における薬剤師の派遣依頼が届いている。薬剤師が参加しやすいように研修会を開催する予定である。

- (42) 健康サポート薬局関連研修会の打ち合わせ 7月10日(火) 県薬<資料>P. 67
(笠原常務理事)

7月22日に研修会を開催する。昨年受講した方で健康サポート薬局の届出をまだ提出していない方も参加することが出来る。講師も昨年とは違う講師となっており、受講証も最新の日付で発行できるので都合が合えば是非参加して頂きたい。

- (43) 日本薬剤師会 意見交換会 7月11日(水) 日薬
(亀谷会長)

(44) とまとめて報告。マスコミを交えない意見交換会であった。厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会の会議にて、薬剤師に対するバッシングがあったとの事。例えば、医薬分業のメリットが患者・他医療従事者に感じられておらず、医薬分業自体を見直し院内処方に回帰しても良いのではないかと声も上がったとの報告があった。それに対し、日本薬剤師会の立場を活かし、薬剤師の見方を世論が変えるような具体的方策を立てればいいと意見した。

- (44) 平成30年度第2回都道府県会長会議 7月11日(水) 日薬

- (45) 平成30年度沖縄県学校保健会 7月12日(木) 南部合同庁舎
(亀谷会長)

平成29年度事業報告・決算について、平成30年度事業計画案・予算案についての話だった。

- (46) 平成30年度学校保健及び学校安全表彰(文部科学大臣表彰) 審査会 7月12日(木) 南部合同庁舎
(亀谷会長)

学校薬剤師部会から推薦のあった神谷正秀先生を文部科学省に推薦する事に決定した。

- (47) 平成30年第2回広報委員会 7月12日(木) 県薬<資料>P. 70
(大城課長)

おきなわ薬剤師会報誌の編集と熟年の集いのシナリオ、次第を確認した。

- (48) 平成30年度沖縄県認知症疾患医療連携協議会 7月14日(土) 沖縄県医師会館<資料>P. 71
(大城課長)

医薬分業対策委員会認知症関連事業担当者の中尾滋久先生が出席した。本日開催されているので、次の理事会で報告する。

- (49) DEM事業について <資料>P. 72
(西川常務理事)

毎年、日本薬剤師会から委託を受けて行っている。患者が薬を服用した後に感じた効きめや不快に感じた副作用を調査・集計し、医薬品の適正使用に一層貢献する目的で、薬局薬剤師の有用性を社会に示すものとなっている。年々参加する薬局は増えてきているが昨年は39軒の薬局から883枚しか回答が得られておらず、例年他県に比べて極端に少ない。理事の先生方は地

区薬剤師会の会合がある際に周知して頂きたい。

(50) 医薬分業推進のためのアンケートについて <資料>P. 73

(西川常務理事)

医薬分業対策会議で協議する資料としてアンケート調査を行っている。アンケート結果は会報誌に掲載する。今年度のアンケート調査は“多剤処方の解消に向けて”となっている。

(51) 沖縄県奨学金返還助成制度について <資料>P. 75

(大城課長)

今年の4月から助成候補者を募っており、募集期間を6月30日までとされていたが沖縄県保健医療部衛生薬務課と相談し8月31日まで延長する事が決定した。現在の段階で20名から応募があったが6名のみ該当している。

(52) 平成30年度啓発事業について <資料>P. 77

(笠原常務理事)

平成30年度助成事業等について、沖縄県の薬局のない離島での“健康とおくすり相談”を通じた住民のセルフメディケーションの向上事業で助成の申請を行った所、申請が通った為、多良間村に介入していく。2回開催する予定で1回目は7月29日に開催し、2回目は来年2月頃に開催する。

(53) 第80回九州山口薬学大会（沖縄開催のテーマについて） <資料>P. 81

(大城課長)

2年後に沖縄県で開催される際のメインテーマ、チラシ・ポスターデザインを会員へ募集する。チラシ・ポスターは11月に大分県で開催される際に広告として配布する。

(54) 沖縄県内の薬系私立大学の分校創設の可能性の調査について <資料>P. 83

(山城次長)

薬学部創設に向けて動向やデータが欲しいとの事で薬系私立大学へアンケート調査を行った。57校中40校の大学から回答をいただいている。

(55) 会営薬局うえはら、とよみの薬剤師の状況について <資料>P. 85

(川満常務理事)

会営薬局とよみで会議を行ってきた。8月から薬剤師が長期で休むことになる。また、豊見城中央病院及び門前薬局で病薬連携を行い、門前薬局同士でも薬薬連携を行っていく。

報告（薬連）

(1) 桑江朝千夫 沖縄市長二期就任激励会 6月11日(月) 沖縄市体育館

(亀谷会長)

桑江朝千夫市長の激励会であった。参加する事によって人間関係が深まる事がメリットになる。

(2) 沖縄県薬剤師連盟評議員会 6月17日(日) 県薬

(山城次長)

総会の前に開催され無事に終了した。

(3) その他

(亀谷会長)

本田あきこさんの支援者を募集するので是非ご協力をお願いしたい。

告知ポスター

薬と健康の週間 10/17(水)▶23(火)
くすりと健康フェア《心身ともに健康》

県民公開講演会

平成30年10月18日(木) 午後6時30分～8時

パレット市民劇場
那覇市久茂地1-1-1 (パレットくもじ9F)

※ご来場の際は、バス、タクシー、モノレール等をご利用下さい。
※会場の都合により、定員を超えた場合はご入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

入場無料

演題

「笑医(わらい)」

講師

久高 学 (くだか まなぶ)

乳腺科・甲状腺科「マンマ家クリニック」大家(院長)。
愛媛大学医学部卒業。医学博士。乳癌学会乳腺専門医。がん治療認定医。

「患者の話を聞き、否定しない」をモットーに、身近なクリニックづくりに力を注ぐ。「大事なものは、笑うことより誰かを笑わせること“笑い”のエネルギーは、笑わせた人に返ってきて、お互いを元気にさせる。」と観客を引きつける軽妙なトークで、ラジオ番組や講演会で人気のスーパードクター。趣味は飲む打つ買う(健康のために青汁を飲み、パソコンで原稿を打ち、グッピーを飼っている)

手話通訳
あります。



健康とおくすり相談会

日時 平成30年10月18日(木) 午後4時～6時

場所 パレット市民劇場ロビー

講演会前に薬剤師が健康とお薬の相談を致します。

相談無料
お気軽に
ご相談ください

日頃使用している医薬品(処方薬、大衆薬)や健康食品、サプリメント類について、また、健康で長生きするための生活習慣(栄養、運動、休養、喫煙、飲酒など)について

主催:南部地区薬剤師会

お薬手帳 5つのいいこと

- ① 医療機関にかかる時は必ず持っていきましょう
- ② 言いたい事や伝えたい事を書いておきましょう
- ③ 一般用医薬品(OTC医薬品・大衆薬)・健康食品も記録して
- ④ いつも携帯・いつも同じ場所に保管して
- ⑤ 一冊にまとめましょう

あなたのスマートフォンがお薬手帳になります!



かかりつけ薬局・薬剤師をもちましょう。健康とお薬については、お近くの薬局・薬剤師にご相談下さい。

主催:沖縄県・那覇市・沖縄県薬剤師会

お問い合わせ: 沖縄県保健医療部衛生業務課 ☎098-866-2055 那覇市健康部保健所生活衛生課 ☎098-853-7963 沖縄県薬剤師会事務局 ☎098-963-8930

平成30年10月14日(日) 沖縄タイムス・琉球新報

薬と健康の週間 10/17▶23(水) ぐすり与健康フェア《心身ともに健康》

県民公開講演会

入場無料

平成30年**10月18日(木)**
午後6時30分～8時

パレット市民劇場
那覇市久茂地1-1-1(パレットくもじ9F)

※ご来場の際は、バス、タクシー、モノレール等をご利用下さい。
※会場の都合により、定員を超えた場合はご入場をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。

手話通訳
あります。



演 題 「笑医(わらい)」

講 師 久高 学(くだけか まなぶ)

乳腺科・甲状腺科「マンマクリニック」大塚(院長)。
慶徳大学医学部卒業。医学博士。乳癌学会乳腺専門医。がん治療認定医。
「患者の話聞き、否定しない」をモットーに、身近なクリニックづくりに力を注ぐ。
「大事なものは、笑うことより誰かを笑わせること。"笑い"のエネルギーは、笑わせた
人に返ってきて、お互いを元気にさせる。」と観客を引きつける軽妙なトークで、
ラジオ番組や講演会で人気のスーパードクター。趣味は飲む(健康の
ために青汁を飲み、パソコンで読書を打ち、グッツを飼っている)

相談無料
お気軽に
ご連絡ください

健康とおくすり相談会

日 時 平成30年10月18日(木) 午後4時～6時
場 所 **パレット市民劇場ロビー**
講演会前に薬剤師が健康とお菓子の相談を致します。
医薬品、健康食品、サプリメント類や、健康で長生きするための生活習慣について
主催：南部地区薬剤師会

かかりつけ薬局・薬剤師をもちましょ。健康とお薬については、お近くの薬局・薬剤師にご相談下さい。

主催：沖縄県健康医療部衛生薬務課 ☎098-866-2055 那覇市健康部保健所生活衛生課 ☎098-853-7963 沖縄県薬剤師会事務局 ☎098-963-8930

転載記事

平成30年10月13日 (土) 沖縄タイムス

論壇



成川 賢一

昨今は徐々にセルフメディケーションが浸透してきています。セルフメディケーションとは、日ごろから自分の健康状態や生活習慣に配慮し、定期的に健康診断を受け、軽い症状であれば市販薬を活用するなど、自分の健康は自分でしっかり管理しようという考え方です。薬剤師が普段から「お薬手帳」を確

場合、飲み合わせや副作用が起きた薬を記載してもらうことで薬による被害を予防できます。お薬手帳はご本人の貴重な健康情報だと思っています。お薬手帳は患者さん自身で体調変化や病状の変化を記録でき、医師、薬剤師に情報を伝達することができます。また、小さなお子さんの場合は体重増減や食物アレ

問題が起きやすいものもあるので注意が必要です。薬と健康食品との飲み合わせや、食べ物の薬への影響はどうかといったことも薬剤師に聞いてください。かかりつけ薬剤師は、処方薬や健康食品およびサプリメント等をひとまとめに管理し、生活習慣を把握して薬物治療がより効果的になるようアドバイスしま

よって知ることができずので、お薬手帳の保管場所は家族で共有しておいてください。熊本の震災での話です。着のみ着のまま避難所に来た場合、明日からの薬がありません。薬の名前が思い出せない場合やお薬手帳がない人は診察に6時間もかかったのに、お薬手帳のある人はたった30分で済んだそうです。普段から大切なお薬手帳ですが、非常時も役に立ちますので大切にしていたきたいです。

お薬手帳は健康ツール 本人の病状スムーズに伝達

認するのは、服薬の記録をするだけでなく、患者さんにお薬手帳をセルフメディケーションにも活用していただきたいからなのです。近年、高齢化が進み多くの病気を同時に抱え、複数の医療機関にかかれる方も多くいます。それぞれからいろいろな作用を持った薬が処方されている

ルギー情報など日々の体調変化を記録する健康管理ツールとして活用できます。市販薬を服用している場合は、処方箋薬との飲み合わせに不都合があり得ますので利用の際は記載してほしいと思います。最近では、処方箋薬から処方箋なしでも買えるOTC医薬品に分類替えされた薬に、より

最近では、電子お薬手帳のアプリも複数の会社から出ています。飲み忘れを防いだりするための「飲み忘れ防止アラーム」などの機能が、自分の薬を調べることが付いているものもあります。活用してみたいか？ また、家族の薬情報や注意すべき点もお薬手帳に

毎年、10月17日〜23日は「薬と健康の週間」となっています。18日(木)午後6時半、那覇市のパレット市民劇場で、「笑医」と題してマンマ家クリニックの久高学医師の講演があります。大いに笑っていた健康と触れ合う秋のひと時を過ごしていただきたいと思います。(名護市、県薬剤師会理事、41歳)

2018・10・13 沖縄タイムス

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

平成30年10月19日 (金) 琉球新報

琉球新報 2018年10月19日

普段から何でも相談できる「かかりつけ薬局」を持つているだろうか。薬や健康に関することを気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」がいるだろうか。複数の医療機関からいろいろな作用を持った薬が処方され服用している場合、薬の飲み合わせに気をつける必要がある。もし、同じような薬が重なって処方されていると副作用のリスクが高まる。効き目が弱くなる薬同士が処方されていると期待された効果が表れなかったりすることがある。市販薬や健康食品等の飲み合



幸地 良信

論壇

わせにも注意が必要な場合もある。使用する薬を、一つの薬局でまとめて管理してもらえると、複数の医療機関から同じ薬が処方されていることに気が付いたり、相互作用を防ぐことができる。「かかりつけ薬剤師」は皆

健康と生活サポート

とができる。普段から何でも相談できる「かかりつけ薬局」を持ち、薬や健康に関するさまざまなことを気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」がいれば安心なのである。「かかりつけ薬剤師」は、皆さん

奨されている。「だけど、医療従事者のいない自宅に帰るのは心配だわ。」いえいえ、大丈夫。自宅にいても安心して療養生活が送れるよう医師や看護師、薬剤師、その他の医療従事者が連携し、チームを組んで在宅での療養に適したサポート体制を整備している。「かかりつけ薬剤師」も薬に関するサポーターとしてその役割を担っているのである。薬剤師の仕事は処方せんによる調剤だけではない。処方せんが無くては薬や健康のことで不安があれば、あなたの住まいの近くにある「かかりつけ薬局」に行くといいのである。「かかりつけ薬剤師」がある。「かかりつけ薬剤師」が話を伺い、薬や健康に関する幅広い知識をもとに解決策を提案するからである。複数の薬局に行くのではなく、いつでも気軽に相談できるあなたの「かかりつけ薬局」を一つ決めておく。あなたの「かかりつけ薬剤師」を決めておく。これが皆さんの健康や生活を安心でより良くすることなのである。薬と健康の週間は10月17、23日。18日にはパレット市民劇場において、沖縄県、那覇市、薬剤師会主催の健康講演会を開催した。(石垣市、沖縄県薬剤師会理事、57歳)

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

平成30年10月17日（水）沖縄タイムス

薬の正しい知識学んで
あす県薬剤師会が講演会

県と那覇市、県薬剤師会は18日午後6時半から「くすりと健康フェア県民公開講演会」を那覇市のパレット市民劇場で開く。17日から1週間の「薬と健康の週間」の関連イベントで、乳腺科と甲状腺科のある浦添市の「マンマ家クリニック」の久高学院長が「笑医（わらい）」と題して講演する。講演前には健康と薬に関する相談会もある。入場無料。

薬剤師会の亀谷浩昌会長は「薬の正しい飲み方や知識を広めたい」と来場を呼び掛けた。週間中は那覇市役所1階ロビーでのパネル展のほか、県内各地で街頭キャンペーンを展開する。問い合わせは県保健医療部衛生薬務課、電話098(866)2055。



薬と健康の週間をPRする県薬剤師会の亀谷浩昌会長(右)と県保健医療部の砂川靖部長=12日、県庁

平成30年10月14日（日）琉球新報

県薬剤師会の亀谷浩昌会長
(右)と県保健福祉部の砂川靖部長=12日、県庁



薬と健康週間で講演会
18日、県薬剤師会など

17日からの薬と健康の週間に合わせ、県と那覇市、県薬剤師会は18日午後6時半から那覇市久茂地のパレット市民劇場で「くすりと健康フェア 県民公開講演会」を開く。マンマ家クリニックの久高学院長が「笑医（わらい）」をテーマに講演する。入場無料。

午後4～6時には劇場ロビーで薬剤師が健康と薬の相談に応じる。県薬剤師会の亀谷浩昌会長は「医療の効率性を上げるにも薬のことをよく知ってもらいたい」と話し、来場を呼び掛けた。

平成30年10月21日（日）沖縄タイムス

平成30年10月19日（金）琉球新報

認可外保育園に
マスクを4万枚

県医薬品卸業協会が寄贈

県医薬品卸業協会は17日、認可外保育施設の園児を対象に子ども用マスク800箱（4万枚）を贈った＝写真。県によると、県内で入所園児がいる認可外施設は24市町村にある。

県庁で開かれた贈呈式で井元哲郎会長は「一人でも多くの子が元気で健やかに

過ごしてもらえることを願う。活用してほしい」と述べ、県子ども生活福祉部の大城玲子部長に目録を手渡した。同会は1986年から毎年、県内の福祉施設にマスクや紙おむつなどを寄贈している。



認可外園にマスク4万枚
県医薬品卸業協会が寄贈



県医薬品卸業協会の井元哲郎会長＝写真中央＝らは17日、県子ども生活福祉部を訪ね、子ども用マスク4万枚を寄贈した。24市町村369カ所の認可外保育施設に配布される。医薬品や薬剤師の役割などを周知する「薬と健康の週間」の一環。同協会は1986年から毎年、高齢者用紙おむつやマスクを寄贈している。

井元会長は「安全・安心な医薬品を届けるのが使命。子どもたちが元気に育つことを願っている」とあいさつした。

大城玲子部長＝同右から2人目＝は「県民の健康に貢献してもらいありがたい」と感謝した。

※発行元が記事利用を許諾しています。

きょうから「薬と健康の週間」

「薬と健康の週間」は、処方箋を調剤したり、薬を調剤する...

薬師はおよそ6年間、薬と関する専門知識を身につけて、市販薬や処方箋...

薬師は、処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...

薬師が処方する薬の服薬方法は、薬師が処方する薬の服薬方法を...

薬師は、処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...

少くは、処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...

在宅医療や夜間も対応... 処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...

処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...

災害現場へ薬局が急行... 処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...



日本薬剤師の清水大輝

処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...

処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...

処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...

処方箋を調剤する際、処方箋に記載されている薬名...



モバイルフーマーシンの様子

セルフメディケーション税制の控除額と減税額... 控除効果... 計5400円の減税効果

賢く使って所得控除を... Q&A... セルフメディケーション(税)控除対象

セルフメディケーション税制の控除額と減税額... 控除効果... 計5400円の減税効果

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

平成30年10月12日(金) 毎日新聞

PR

かかりつけ薬剤師・薬局の役割

第1回:「かかりつけ薬剤師をもちましょう」

日本薬剤師会では、健康に関することや処方薬・市販薬などについて身近で気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」を選んで活用していただくことをお勧めしています。

さまざまな状況に応じて正しく使用しないと逆効果になる

ことがあっても、健康に悪影響を及ぼすことがありません。薬局で処方箋を調剤してもらう時、ちょっと体調が優れないので薬を服用しようか迷った時、薬の飲み合わせや副作用が心配な時などは、薬の専門家である薬剤師を上手に活用しましょう。ご自宅または職場の近くなど、信頼で

きる一つの薬局を「かかりつけ」として利用されることをお勧めします。一つの薬局で様々な情報を継続的に管理しておくことで、薬を使用する際の安全性と有効性が格段に高まります。処方箋の調剤だけでなく、市販薬の選択、健康に関する相談などを通じて信頼できる薬局を選ぶと良いでしょう。

さらに、その薬局の中で「かかりつけ薬剤師」を決めておけば、薬局での相談はもちろん、休日や夜間に薬について困ったことがあったときにも電話で相談できます。ご高齢で薬局に行くことが難しい場合には、ご自宅

で薬を受け取ることでも可能です。かかりつけ薬剤師に継続的に薬の情報を管理してもらうことで、薬を受け取る時だけでなく、薬の使用中の体調変化についても気軽に相談することができま

す。また、かかりつけ薬剤師がいることで、医師に必要な情報を伝えてもらうことができ、その後のより良い医療につながります。

健康保険でも若干の窓口負担は生じますが(三割負担の場合60~100円増)、かかりつけ薬剤師を選ぶことができる仕組みがあります。いま利用されている薬局でご相談されるのも良いでしょう。

東京都新宿区 四谷3-3-1
日本薬剤師会
http://www.nichiya
ku.or.jp/



※発行元が記事利用を許諾しています。

平成30年10月19日（金）毎日新聞

PR

災害時でも活躍、お薬手帳の活用

第2回：「お薬手帳はお持ちですか」

「お薬手帳」が誕生して約20年。今では薬局利用者の9割の方がお持ちいただいています。すでに皆様の身近なものになり、広辞苑にも「お薬手帳」という言葉が新たに掲載されました。

薬局に処方箋を持参される時や市販薬を医療機関を受診する際にも忘れずにお薬手帳を持参し、医師に見てもらいましょう。

お薬手帳をご活用いただくことで、同じような薬の重複、薬や食べ物との飲み合わせの問題などを確認できます。そのためにもお薬手帳はまとめて1冊で管理

しましょう。処方された薬が前回と同じでも、いつ受診したかという情報も重要なので、毎回記入してもらおうことが大切です。

また、副作用が発生した時にも、過去に服用した薬の情報があれば、原因究明や予防対策に役に立ちます。

そんなお薬手帳ですが、これらの基本的な使い方の他に、災害時にも重要な役

割を果たします。被災地では「病院まで行けない」「普段飲んでる薬がない」「いつもの病院が被災し受診できない」といったことが起こります。

しかし、お薬手帳の記録があれば、今までどのような薬を

服用していたか分かるので、災害時の救護所や避難所であっても医師・薬剤師によるスムーズで適切な対応を受けることができます。

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨、北海道地震などの被災地においても多くの活用例が報告されています。普段の薬の管理だけでなく、災害など万が一の場合に備える意味でもお薬手帳を上手

に活用していただきたいと思えます。紙のお薬手帳では忘れてしまうという方にはアプリの「電子お薬手帳」もご利用いただけます。スマートフォンからダウンロードいただくか、かかりつけの薬局で相談してみてください。

東京都新宿区 四谷3-3-1
 (株)日本薬剤師会
<http://www.nichiya.ku.or.jp/>



※発行元が記事利用を許諾しています。

平成30年10月26日（金）毎日新聞

PR

地域・在宅での薬剤師の活用

第3回・薬剤師がご自宅に伺います！

人生の最期をどこでどのように迎えたか、考えてみたことはありますか？

高齢社会が進む中、ご自宅等で最期を過ごしたいという希望があるものの8割の方が病院で最期を迎えています。国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年

を目的に、重度な要介護状態となっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を進めています。

病院では、医師をはじめとした薬剤師、看護師、管理栄養士等の多職種がチームを編成し、患者さんに最適な医療を提供しています。では退院後はどうでしょう。在宅での療養を希望する患者さんには、地域の診療所

の医師、薬局の薬剤師、訪問看護ステーションの看護師、ケアマネジャー等がチームとなって連携し、住まいを訪問して患者さんとその家族を支えています。

薬剤師は、患者さんが日々お薬を使用するご自宅で、薬の効果はきちんと出ているか、副作用などは出ていないか、食事や睡眠など生活状況への影響を確認し、より安全・有効に薬による治療がで

きるよう対応していきます。

たとえば、複数の医療機関にかかり薬の種類や量が増え、患者さん自身での薬の管理や薬を正しく飲むことが難しくなることがあります。

そのような場合には、薬剤師がその状況や問題を整理し、より適正に薬の治療が行えるよう対処します。必要に応じて、処方医に情報提供や相談を行います。

また、薬局では医薬品だけでなく介護用品、衛生材料等も扱っています。ご自宅での生活の質を向上させるため、個々の患

者さんに合わせて必要なものを選択できるよう薬剤師がアドバイスします。

住み慣れた地域・環境で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、地域の身近な薬局・薬剤師があなたの力になります。



東京都新宿区

四谷3-3-1

日本薬剤師会

http://www.nichiya

ku.or.jp/

※発行元が記事利用を許諾しています。

平成30年11月2日 (金) 毎日新聞

PR

健康サポート薬局

第4回…薬局の健康サポート機能を上手に活用

これまで3回にわたり、かかりつけ薬剤師・薬局の役割、お薬手帳の活用、在宅医療での薬剤師の仕事などを紹介してきました。薬局や薬剤師のイメージというと、医療機関で発行された処方箋を持っていき、調剤してもらう。また

は、体調が優れないときや健康維持のために薬を買いに行くと、そんなイメージを持つ人が多いかもしれません。

実は薬局では、処方箋の調剤や市販薬などの販売だけでなく、薬や健康に関する相談会、運動不足解消のためのウォー

キング体験会、認知症の方とその家族が集う情報交換会など、地域住民の方々に対象に、健康づくりを支援する情報発信や交流の場を提供する活動なども行っています。

そのような薬局を推進するため、平成28年から「健康サポ

「健康サポート薬局」がスタートしています。「健康サポート薬局」とは、地域住民による健康の保持・増進を積極的に支援する機能を備えた薬局のことです。所定の研修を受けた薬剤師が常駐し、在宅医療の応需や時間外の相談対応など、厚生労働省が定める数多くの項目の基準を満たしていることが必要です。また、薬だけでなく、介護や食事・

栄養摂取に関することなど、健康な生活に相談できる薬局だけが「健康サポート薬局」と表示することができます。施設の規模は関係ありません。

現在、「健康サポート薬局」は本年7月時点で約1000施設とまだ少ないですが、全国で1万5000の「健康サポート薬局」の普及を目指し、多くの薬局が取り組みを進めています。

「健康サポート薬局」の情報は、都道府県のホームページで公開されています。インターネット上で「健康サポート薬局」をキーワードに探すこともできます。また、薬局に日本薬剤師会の作成ロゴマークを掲示しているところもありますので、探す際の目安にしてください。

みなさんの街の「健康サポート薬局」を是非活用ください。

東京都新宿区 四谷3-3-1
 (株)日本薬剤師会
<http://www.nichiyaku.or.jp/>



※発行元が記事利用を許諾しています。

平成30年11月

- 1木○ 故 喜納政利氏（会員）・富美江氏（会員）・香織氏（会員）より沖縄県薬剤師会と学校薬剤師部会へ寄付 県薬会長室 亀谷会長、前濱副会長、太田節子氏、吉田久子氏、渡嘉敷見氏、大城課長
- 八重山地区 疼痛を考える会 ANAインターコンチネンタル石垣リゾート 主催：エーザイ株式会社
- **D I 委員会主催アンチ・ドーピング研修会** 県薬ホール
- 2金○ 第50回沖縄県公衆衛生大会 沖縄県市町村自治会館 受賞者：小渡宏二、内間俊和、事務局花城 比嘉はつみ、平良恭子
- 病院・薬局実務実習調整機構会議 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 外間副会長、中村克徳病院薬剤師会会長
- 九州山口薬剤師会事務職員協議会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 山城次長、事務局上原
- 薬剤師生涯学習担当者会議 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 外間副会長、中尾滋久氏、大城課長
- 在宅医療推進協議会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 荒井理事
- 学校薬剤師協議会運営委員会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 前濱副会長、村田成夫学校薬剤師部会長
- 医療安全対策連絡協議会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 吉富理事
- 薬学会運営委員会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 外間副会長、中村克徳病院薬剤師会会長
- 九州ブロック行政協議会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 沖縄県保健医療部衛生薬務課・新城室長、中村主幹、宮城技師
- 薬局実務実習受入調整機関運営委員会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 佐藤理事、宮城幸枝氏
- 病院薬局協議会運営委員会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 外間副会長、中村克徳病院薬剤師会会長
- 災害対策協議会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 中尾滋久氏、山城次長
- 医療保険協議会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 荒井理事
- 試験センター運営連絡協議会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 小泉主任検査技師
- 九州山口若手薬剤師連絡協議会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 西川常務理事
- 大会運営委員会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 亀谷会長
- レセプション 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 亀谷会長、他
- 3土○ **第79回九州山口薬学大会(1日目)** 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza
- 薬学大会本会議 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 亀谷会長、山里常務理事（九州山口薬学大会表彰）
- ランチョンセミナー2 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 中村克徳氏(座長)
- シンポジウム1「今後の医療の方向性」 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 姫野耕一氏（シンポジスト）

- 3土○ 病院薬局協議会/学術フォーラム 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 鈴木毅氏 (シンポジスト)
- 懇親会 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 亀谷会長、他
- 4日○ **第79回九州山口薬学大会(2日目)** 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza
- シンポジウム4「医薬品安全管理における pro and con」 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 中尾滋久氏(シンポジスト)
 - シンポジウム6「先駆者に訊く! ~がん医療に携わる薬剤師に必要なスキルとは~」 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 吉田理事(座長)
 - シンポジウム8「若手薬剤師の取り組みとその先」 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 上原理事 (シンポジスト)
 - シンポジウム9「次世代の医療人の資質とその教育を考える」 別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 潮平英郎氏 (シンポジスト)
- 5月○ 平成30年度第3期薬学生実務実習受入開始(11/5 ~ H30/1/27) 受入薬局
- 6火○ 平成30年度沖縄県災害対策本部設置運営訓練 県庁 鈴鹿玲子、山城次長
- 平成30年度第10回幹事会 県薬会議室
- 7水○ 平成30年度 再乱用防止対策講習会 那覇市ぶんかテンプス 主催：沖縄県保健医療部衛生薬務課
- 社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
 - 第4回吸入支援OkinaWa 中頭病院 主催：グラクソ・スミスクライン株式会社
- 8木○ 個別指導・集団的個別指導 沖縄県八重山合同庁舎第1会議室 仲真良重、荒井理事
- 沖縄県内科医会学術講演会 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 主催：MSD株式会社
 - Insulin治療を考える会 名護市産業支援センター 主催：サノフィ株式会社
 - 平成30年度第2回財務委員会 県薬会議室
- 9金○ 平成30年度沖縄県新型インフルエンザ等対策連絡訓練 県薬事務局 山城次長
- 平成30年度第3回沖縄県がん診療連携協議会 琉球大学医学部管理棟 亀谷会長
 - ジェネリック医薬品使用促進に係る講演 (主催：協会けんぽ) 名護中央公民館 講師：西坂順氏
 - 宮古島消化器連携懇話会 沖縄県立宮古病院 主催：武田薬品工業株式会社
- 10土○ 第1回認知症疾患医療連携に関する情報交換会 P's SQUARE 笠原常務理事、中尾滋久
- 平成30年度第9回理事会 県薬研修室
- 11日○ **第164回健康とおくすり相談会 (担当：中部地区薬剤師会)** うるみん (うるま市)
- **第163回健康とおくすり相談会 (担当：那覇地区薬剤師会)** 沖縄セルラースタジアム
 - **平成30年度高度管理医療機器管理者技術者継続研修会** 県薬ホール 講師：吉田理事
 - 平成30年度第7回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
 - **平成30年度第1回薬剤師認知症対応力向上研修会** 県薬ホール 講師：中尾滋久
- 12月○ 腎症重症化予防を見据えた糖尿病治療について考える会 那覇市医師会館 主催：小野薬品工業株式会社
- 平成30年度第4回患者のための薬局ビジョン推進事業協議会 県薬会議室 事務局長嶺・仲里
- 13火○ ジェネリック医薬品使用促進に係る講演 (主催：協会けんぽ) 沖縄産業支援センター 講師：吉田理事

- 14水○九州厚生局沖縄事務所より来訪 県薬会議室 吉田・荒井理事、宮城幸枝氏、川上善久氏、事務局長嶺
- 平成30年度医療安全対策委員会 県薬研修室
- 15木○平成30年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（16日迄） 栗東芸術文化会館さきら大ホール（滋賀県） 上原理事
- 平成30年度集团的個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏
 - 第1回糖尿病に関わる医師と医療スタッフのための研修会 浦添市産業振興センター結の街 主催：一般社団法人浦添市医師会
 - 臨床薬剤師育成研修会 株式会社琉薬 主催：株式会社薬正堂
 - 平成30年度第2回薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室
- 16金○第4回トファシチニブ適正使用講演会 沖縄県医師会館 主催：ファイザー株式会社
- 18日○第2回薬剤師のための臨床腫瘍薬学セミナー 都久志会館（福岡県）
- 平成30年度沖縄県健康づくり表彰式（がんじゅうさびら表彰） イオンモール沖縄ライカム 笠原常務理事、山城次長、事務局長嶺
- 20火○保険指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 主催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
- 平成30年度第4回医薬分業対策委員会 県薬研修室
- 21水○琉球大学後援財団来訪 県薬会長室 亀谷会長
- 睡眠障害カンファランス 沖縄県立八重山病院 主催：エーザイ株式会社
 - 平成30年度中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 第3回勉強会 中部地区医師会 主催：中部地区医師会
 - 第10回沖縄 Airway Conference ザ・ナハテラス 主催：杏林製薬株式会社
 - 第4回薬剤師スキルアップセミナー おきなわクリニカルシュミレーションセンター 主催：第一三共株式会社
- 22木○個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・川上善久氏
- 平成30年度沖縄県学校保健会表彰審査会 県庁 亀谷会長
 - 第9回糖尿病週間学術講演会 沖縄県医師会館 主催：ノボノルディスクファーマ株式会社
 - 平成30年度第3回学術研修委員会 県薬研修室
- 23金○第28回日本医療薬学年会(25日迄) 神戸コンベンションセンター
- 25日○アンチ・ドーピング研修会（主催：沖縄県アイスホッケー連盟） スポーツワールドサザンヒル 吉田典子（DI）
- 26月○平成30年度第1回選挙管理委員会 県薬会議室
- 27火○九州厚生局沖縄事務所より来訪 県薬会長室 亀谷会長、山城次長
- 保険指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 主催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
 - プライマリー医のための便秘治療 ホテルロイヤルオリオン 主催：アステラス製薬株式会社
- 28水○薬物乱用防止講演会 名護市民会館 主催：沖縄県薬物乱用防止協会
- 29木○月次会計監査 県薬会議室 仲程税理士、事務局上原・前原
- 第30回沖縄県立学校保健研究大会 沖縄県立総合教育センター 西登貴代（被表彰者）、

前濱副会長、渡嘉敷見、大城課長、事務局長嶺

○個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・成川理事

○北部地区糖尿病連携パス特別講演会 出雲殿 主催：MSD株式会社

○BLS（一次救命処置）アドバンス講習会 県薬研修室 講師：中尾滋久氏

30金○県病院事業局来訪 県薬会長室 山城次長

○平成30年度都道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動担当者研修会 日本薬剤師会 吉田典子（DI）

○保険指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 主催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター

○RAコミュニケーションサポートセミナー 豊見城中央病院 主催：小野薬品工業株式会社

○Diabetes & Incretin Seminar in 沖縄 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 主催：大日本住友製薬株式会社

沖縄県薬剤師連盟会務報告

平成30年11月

13火○平成30年度第2回全国会長・幹事長拡大会議 ホテルニューオータニ（東京都） 亀谷会長、前濱総務

○本田あきこ中央後援会第3回役員会 ホテルニューオータニ（東京都） 亀谷会長、前濱総務

13火○藤井もとゆき君と語る会 ホテルニューオータニ（東京都） 亀谷会長、前濱総務

16金○本田あきこ支援のための中頭病院薬剤科訪問 中頭病院薬剤科 亀谷会長、山城次長、大城課長

○本田あきこ支援のための那覇地区薬剤師会とのディスカッション 県薬会議室 那覇地区薬剤師会役員、亀谷会長、山城次長

19月○本田あきこ支援のための沖縄県薬剤師連盟女性薬剤師部会打ち合せ 県薬会議室 女性薬剤師部会役員、前濱総務、山城次長

21水○本田あきこ支援のための南部地区薬剤師会とのディスカッション 県薬会議室 南部地区薬剤師会役員、亀谷会長、石川副幹事長、山城次長、大城課長

27火○本田あきこ支援のための北部地区薬剤師会とのディスカッション 名護市 北部地区薬剤師会役員、亀谷会長、石川副幹事長、山城次長、大城課長、事務局花城

28水○沖縄県薬剤師連盟総務会 県薬研修室 亀谷会長、山城次長

29木○本田あきこ支援のための中部地区薬剤師会とのディスカッション 中部地区薬剤師会 中部地区薬剤師会役員、亀谷会長、石川副幹事長、大城課長、事務局長嶺

年間目次

おきなわ薬剤師会報 平成30年もくじ

通巻291号～295号

No.(号) 発行月号 頁

表紙掲載会員作品

写真 「台北の薬局」	小那覇幸子	291	1・2	表紙
写真 「Pharmacy in New York」	鈴木 毅	292	3・4・5	表紙
写真 「ニューカレドニアの薬局」	吉富弓江	293	6・7・8	表紙
写真 「プラハの薬局」	山里美恵子	294	9・10・11	表紙
写真 「トリノの薬局」	廣川直子	295	12	表紙

年頭挨拶

新年のご挨拶	亀谷浩昌	291	1・2	3
新年ご挨拶	山本信夫	291	1・2	4
新年のあいさつ	砂川 靖	291	1・2	6
年頭にあって	藤井基之	291	1・2	8
年頭のご挨拶	松本 純	291	1・2	9
年頭ご挨拶	西銘恒三郎	291	1・2	10
あけましておめでとうございます	本田あきこ	291	1・2	12
年頭ご挨拶	國場幸之助	291	1・2	13

祝賀会

平成29年度薬事功労受賞者合同祝賀会開催	大城喜仁	291	1・2	24
・・・受賞者プロフィール		291	1・2	26
・・・祝賀会スナップ写真		291	1・2	31

表彰

学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰（神山康喜先生）		291	1・2	23
沖縄県学校保健功労者表彰（真栄城玄一先生、垣花チエミ先生、山城 専先生）		291	1・2	23
うるま市教育委員会表彰（蒔 初子先生、瑞慶山純子先生）		291	1・2	23
那覇警察署から感謝状が贈呈される	大城喜仁	292	3・4・5	2
那覇地区学校保健功労者表彰および感謝状（被表彰者：前濱朋子先生、笠原大吾先生）長嶺勇作		292	3・4・5	2
平成30年度 日本薬剤師会有功賞受賞（金城孝有先生、長嶺文子先生、宮里暁子先生）		294	9・10・11	1
秋の叙勲 旭日小綬章（神村武之先生）		295	12	2
平成30年度 薬事功労者厚生労働大臣表彰（上原正徳先生、小湾勝敏先生）		295	12	3
学校保健および学校安全文部科学大臣表彰（神谷正秀先生）		295	12	3
平成30年度 沖縄県薬事功労者知事表彰（伊佐常隆先生）		295	12	4
九州山口薬剤師会会長表彰（山里勇先生）		295	12	5
沖縄県立学校保健会より感謝状授与（西登貴世先生）		295	12	5
第50回沖縄県公衆衛生大会知事表彰（小渡宏二先生）		295	12	6

第50回沖縄県公衆衛生大会大会長表彰 (内間俊和先生、比嘉はつみ先生、平良恭子先生)	295	12	6
沖縄県健康づくり表彰 (がんじゅうさびら表彰) 準グランプリを受賞	295	12	7

会長候補者選挙

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 会長候補者選挙に関する公示	亀谷浩昌	295	12	37
------------------------------	------	-----	----	----

代議員選挙

沖縄県薬剤師会代議員選挙の告示	選挙管理委員会	295	12	38
-----------------	---------	-----	----	----

薬学部創設にむけて

沖縄県内への薬学部(科)創設に向けて	亀谷浩昌	291	1・2	15
署名活動への協力依頼文書・署名用紙		291	1・2	16
琉球大学医学部への薬学科設置に関する要望書を提出	山城英人	291	1・2	18
薬学科設置に関する要望について		291	1・2	19
和歌山県立医科大学薬学部創設に伴う視察報告	山城英人	291	1・2	20
沖縄県内の国公立大学に薬剤部の創設を求める署名活動への御礼	亀谷浩昌	293	6・7・8	2
沖縄県内の国公立大学への薬剤部創設を求める署名活動報告	山城英人	293	6・7・8	2
沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けて共同記者会見	大城喜仁	293	6・7・8	10
琉球大学への薬学部の創設を求める要請文		293	6・7・8	13
琉球大学へ薬学部の創設を求める要請	大城喜仁	293	6・7・8	14
琉大学生記者より取材を受ける	大城喜仁	293	6・7・8	18

沖縄学術大会

第32回沖縄県薬剤師会学術大会報告	外間惟夫	295	12	8
第32回沖縄県薬剤師会学術大会プログラム		295	12	10
第32回沖縄県薬剤師会学術大会懇親会	大城喜仁	295	12	16
第32回沖縄県薬剤師会学術大会奨励賞受賞講演要旨		295	12	17

災害対策

平成29年度第2回BLS (一次救命処置) 講習会報告	石川有美子	292	3・4・5	40
平成29年度第3回BLS (一次救命処置) 講習会報告	田場英美	292	3・4・5	40
平成30年度沖縄県災害対策本部設置運営訓練に参加して	鈴鹿玲子	295	12	25

寄付

沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式報告	大城喜仁	292	3・4・5	3
-------------------	------	-----	-------	---

薬と健康の週間

くすりと健康フェア 会長あいさつ	亀谷浩昌	295	12	19
くすりと健康フェア	山城英人	295	12	20

薬祖祭	大城喜仁	295	12	22
平成30年度「薬と健康の週間」行事表		295	12	23

実務実習

平成30年度第Ⅰ期薬学生実務実習報告	佐藤雅美	294	9・10・11	53
実務実習薬学生 平成30年度第Ⅰ期生からの体験記・感想		294	9・10・11	54
國場志音・大濱勝太・新垣秀鷹・川小根駿・城間光希・比嘉由希 金城大知・當眞美咲・石川舞子・佐多由希子・宮里恵梨・東江美音 池原小夏・普天間学・有銘兼史・渡慶次星				

医療安全

平成29年度医療安全講習会報告	吉富弓江	292	3・4・5	39
-----------------	------	-----	-------	----

総会

第77回臨時総会開催	大城喜仁	292	3・4・5	4
平成30年度事業計画および平成30年度収支予算		292	3・4・5	6
第77回臨時総会における議案事項の資料		292	3・4・5	17
平成29年度事業経過報告および平成29年度決算		293	6・7・8	27
議題審議及び質疑応答の概要		293	6・7・8	52
第78回通常総会会長挨拶	亀谷浩昌	293	6・7・8	24
第78回定時総会開催	大城喜仁	293	6・7・8	25
第78回定時総会懇親会	大城喜仁	293	6・7・8	26

学術研修

平成30年度 新任・新人薬剤師研修会報告	大城喜仁	294	9・10・11	64
----------------------	------	-----	---------	----

研修会

平成30年度名城大学薬学部公開講座	宮城幸枝	294	9・10・11	74
-------------------	------	-----	---------	----

青年部会

災害対策関連特別講演会・情報交換会報告	宮城勇己	291	1・2	34
在沖米軍基地内海軍病院見学ツアー報告	中曽根鳴香	292	3・4・5	54
平成30年度青年薬剤師部会主催実践薬学講演会報告	山内優香	293	6・7・8	68

卸部会

平成29年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会に参加して	鈴鹿玲子	291	1・2	36
平成29年度日本医薬品卸勤務薬剤師会フォーラム報告	吉富弓江	292	3・4・5	64

地域保健

平成29年度自殺予防対策事業ゲートキーパー薬剤師スキルアップ研修会	宮本直樹	292	3・4・5	44
-----------------------------------	------	-----	-------	----

第231回全国禁煙アドバイザー育成講習会報告	真崎しのぶ	292	3・4・5	46
薬局薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業を終えて	笠原大吾	292	3・4・5	47
なごみ会主催第8回県民健康フェア2018報告	笠原大吾	294	9・10・11	45
県民健康フェア参加報告…新井康之、柘井亮太、田中由紀子、高場美保		294	9・10・11	46
なごみ会主催第8回県民健康フェア2018広報ポスター・チラシ		294	9・10・11	50
第11回子どもの禁煙研究会報告	杉森千里	294	9・10・11	52

啓発・普及活動

沖縄県U・Iターンガイダンス報告	大城喜仁	291	1・2	39
健康づくり支援事業「リーダー養成講習会」報告	安谷屋聡一朗	291	1・2	40
八重瀬町立新城小学校「仕事の達人に聞くインタビュー」	喜久里里奈	291	1・2	41
八重瀬町立東風平小学校「職業インタビュー」	喜久里里奈	292	3・4・5	67
沖縄県社会保険委員会コザ支部主催研修会報告	小堀端民男	292	3・4・5	68
沖縄市高齢福祉課主催講座報告	佐久川こずえ	292	3・4・5	69
沖縄県初の医療介護無料情報誌「メディサポ沖縄」から取材を受ける	大城喜仁	292	3・4・5	70

在宅医療

会営薬局うえはら無菌調剤室共同利用に関する講習会と 在宅医療のための無菌調製実践講座に参加して	神谷朝斗志	292	3・4・5	42
平成29年度在宅医療委員会主催研修会 「実績ゼロからの住宅のはじめ方」の講演を聞いて	古謝真己	293	6・7・8	66
平成30年度 在宅医療委員会主催研修会	伊佐要一	294	9・10・11	66

月例相談会

第151回健康とおくすり相談会報告		291	1・2	42
第152回健康とおくすり相談会報告	山城 晶	292	3・4・5	48
第153回健康とおくすり相談会報告	宮良長博	292	3・4・5	50
第154回健康とおくすり相談会報告	太田井寛	292	3・4・5	51
第156回健康とおくすり相談会報告 (担当：中部地区薬剤師会)	新垣むつ子	293	6・7・8	78
第157回健康とおくすり相談会報告 (担当：那覇地区薬剤師会)	砂川美佳	293	6・7・8	79
第158回健康とおくすり相談会報告 (宮古地区薬剤師会)	上川畑剛	294	9・10・11	76
第159回健康とおくすり相談会報告 (那覇地区薬剤師会)	比嘉 仁	294	9・10・11	77
第160回健康とおくすり相談会報告 (南部地区薬剤師会)		295	12	27
第161回健康とおくすり相談会報告 (南部地区薬剤師会)		295	12	27
第162回健康とおくすり相談会報告 (宮古地区薬剤師会)		295	12	27
第163回健康とおくすり相談会報告 (那覇地区薬剤師会)	中村昌義	295	12	28
第164回健康とおくすり相談会報告 (中部地区薬剤師会)	四谷祐子	295	12	29

その他会務報告

沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊	大城喜仁	293	6・7・8	80
---------------	------	-----	-------	----

日薬通達

日本薬剤師会薬剤師行動規範・同解説の制定について	日本薬剤師会	291	1・2	60
--------------------------	--------	-----	-----	----

薬局訪問

はいさい！はいた～い！ぎのぞ薬局	伊差川サヤカ	292	3・4・5	88
はいさい！はいた～い！宮盛薬局	前濱朋子	295	12	42

医薬分業

平成29年度健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会を終えて	笠原大吾	292	3・4・5	22
第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会	盛本直也	292	3・4・5	30
第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会	上原卓朗	292	3・4・5	32
第3回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会	平良恭子	292	3・4・5	34
平成29年度薬剤師認知症対応力向上研修報告	中尾滋久	292	3・4・5	36
平成29年度医療機器販売等の営業所管理者・医療機器修理業の 責任技術者に対する継続研修報告	吉田洋史	292	3・4・5	38
平成30年度医薬分業対策会議報告	松本圭吾	294	9・10・11	2
保険薬局向けアンケート		294	9・10・11	6
病院薬局長向けアンケート		294	9・10・11	8
保険薬局向けアンケート結果発表	盛本直也	294	9・10・11	12
病院薬局長向けアンケート結果発表	姫野耕一	294	9・10・11	19
平成30年度第1回医薬分業対策委員会主催研修会報告	松本圭吾	294	9・10・11	25
平成30年度第2回医薬分業対策委員会主催研修会報告	西川 裕	294	9・10・11	28
平成30年度F A Xコーナー担当者意見交換会報告	松本圭吾	294	9・10・11	30
F A Xコーナー担当者意見交換会アンケート結果発表	平良恭子	294	9・10・11	35

学薬部会

平成29年度薬物乱用防止指導員伝達講習会に参加して	上里美矢子	291	1・2	38
平成29年度日本薬剤師会学校薬剤師部会 くすり教育研修会報告	新垣紀子	292	3・4・5	53
平成30年度学校薬剤師新人研修および学校環境衛生一部改正説明会参加報告	伊集智英・川満亜希子・鈴鹿玲子	293	6・7・8	70
平成30年度学校薬剤師部会総会と講習会に参加して	方 智子	294	9・10・11	68
薬物乱用防止教育の講演会を終えて	上里美矢子・新垣紀子	294	9・10・11	70

地区だより

第16回北部地区薬剤師会定時総会報告	北部地区薬剤師会事務局	293	6・7・8	76
--------------------	-------------	-----	-------	----

社保だより

平成30年度診療（調剤）報酬請求書等受付及び 返戻レセプト等発送予定日について	社会保険診療報酬支払基金沖縄支部	291	1・2	57
平成30年度における診療報酬等の支払日予定表	社会保険診療報酬支払基金沖縄支部	291	1・2	58
資格関係誤りレセプト発生防止について(お願い)	社会保険診療報酬支払基金沖縄支部	291	1・2	59

国保だより

平成30年度レセプト受付日と診療報酬支払日 沖縄県国民健康保険団体連合会 291 1・2 56

取材報告

麻薬探知犬取材報告 安次富大 292 3・4・5 90

職員紹介

沖縄県薬剤師会新入職員紹介 292 3・4・5 119

新入会員

平成29年10月1日～平成30年3月末日入会分 292 3・4・5 83

女性薬部会

平成29年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング報告 292 3・4・5 56

村田美智子・蒔 初子・玉澤真理子・藤田良子・山城聖子

第3回「妊娠・授乳とくすり」研修会報告 知念正人 292 3・4・5 62

女性薬剤師部会主催 第24回漢方講座報告 友利美佳 293 6・7・8 74

平成30年度女性薬剤師部会第25回漢方講座を終えて 小野加那恵 294 9・10・11 72

DI

薬事情報おきなわNo. 248 薬事情報センター 291 1・2 43

薬事情報おきなわNo. 249 薬事情報センター 292 3・4・5 71

薬事情報おきなわNo. 250 薬事情報センター 293 6・7・8 81

薬事情報おきなわNo. 251 薬事情報センター 294 9・10・11 79

薬事情報おきなわNo. 252 薬事情報センター 295 12 31

薬事情報

薬事情報センター委員会主催 アンチ・ドーピング研修会報告 吉田典子 295 12 24

アンチ・ドーピング研修会に参加して 南雲翔太 295 12 25

医療保険

調剤報酬請求業務Q&A (第3回) 医療保険委員会 292 3・4・5 84

平成30年度調剤報酬改定等説明会報告 新江裕貴 293 6・7・8 61

調剤報酬請求業務Q&A (第4回) 医療保険委員会 294 9・10・11 100

薬草学

身近な薬草を知ろう 第34回 シカクマメ・四角豆・ウリズン豆 狩俣イソ 291 1・2 52

身近な薬草を知ろう 第35回 クワ：桑：シマグワ 狩俣イソ 292 3・4・5 86

身近な薬草を知ろう 第36回 チデークニ：黄人參：シマニンジン 狩俣イソ 293 6・7・8 96

身近な薬草を知ろう 第37回 ドラゴンフルーツ：ピタヤ 狩俣イソ 294 9・10・11 102

リレー随筆

車の運転	名古屋万理菜	291	1・2	51
旅と薬と思い出と	安次富大	292	3・4・5	92
「いけますか？」	新垣優美絵	293	6・7・8	98

理事会

平成29年度第6回定例理事会議事概要		291	1・2	67
平成29年度第7回定例理事会議事概要		291	1・2	74
平成29年度第8回理事会議事概要		293	6・7・8	102
平成29年度第9回理事会議事概要		293	6・7・8	111
平成29年度第10回理事会議事概要		293	6・7・8	116
平成29年度第11回理事会議事概要		293	6・7・8	126
平成29年度第12回理事会議事概要		293	6・7・8	134
平成29年度第13回理事会議事概要		294	9・10・11	108
平成30年度第1回理事会議事概要		294	9・10・11	116
平成30年度第2回理事会議事概要		294	9・10・11	128
平成30年度第3回理事会(臨時)議事概要		295	12	44
平成30年度第4回理事会議事概要		295	12	47
平成30年度第5回理事会議事概要		295	12	55

訃報

大城勲先生、喜瀬乗惟先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げます		292	3・4・5	113
金城保景先生、謹んでご冥福をお祈り申し上げます		293	6・7・8	141
大城桂子先生、喜納政利先生、ご冥福をお祈り申し上げます		294	9・10・11	139

薬連だより

本田あきこ オレンジ日記 ～新年会にて思うこと～	本田あきこ	291	1・2	54
国会レポート ～平成30年度政府予算案～	藤井もとゆき	291	1・2	55
沖縄県薬剤師連盟会務報告(平成29年12月・平成30年1月分)		291	1・2	85
本田あきこ オレンジ日記 ～堀内実穂さんと二人三脚～	本田あきこ	292	3・4・5	93
本田あきこ オレンジ日記 ～薬剤師会の会員でよかった！！～	本田あきこ	292	3・4・5	94
国会レポート ～厚生労働委員会の質疑～	藤井もとゆき	292	3・4・5	95
平成29年度沖縄県薬剤師連盟若手薬剤師フォーラム	石川恵市	292	3・4・5	96
若手薬剤師フォーラムに参加して	富永晃弘	292	3・4・5	98
後発薬使用率地域差大きく 最高は沖縄、最低は徳島		292	3・4・5	99
沖縄県薬剤師連盟会務報告(平成30年2月～3月分)		292	3・4・5	112
本田あきこ オレンジ日記 「安部総理と災害対策等について対談」	本田あきこ	293	6・7・8	99
平成30年度沖縄県薬剤師連盟評議員会報告	山城英人	293	6・7・8	100
国会レポート ～通常国会閉幕～	藤井もとゆき	293	6・7・8	101
沖縄県薬剤師連盟会務報告(平成30年5月～7月分)		293	6・7・8	147

A J Pフォーラム参加報告	名嘉紀勝	294	9・10・11	104
本田あきこ オレンジ日記 「本田あきこ中央後援会第3回役員会の開催」	本田あきこ	294	9・10・11	106
国会レポート ～第4次安倍改造内閣発足～	藤井もとゆき	294	9・10・11	107
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成30年8月～10月分）		294	9・10・11	137
沖縄県薬剤師連盟会務報告（平成30年11月分）		295	12	75

一包一話

橋の下氏のエッセイ集「一包一話」が一冊の本となりました！	大城喜仁	292	3・4・5	116
閉店の霹靂	橋の下	293	6・7・8	148
おお！久米島	橋の下	295	12	86

告知ポスター

くすりと健康フェア		295	12	62
-----------	--	-----	----	----

会務報告

平成29年12月・平成30年1月分		291	1・2	80
平成30年2月～4月分		292	3・4・5	104
平成30年5月～7月分		293	6・7・8	142
平成30年8月～10月分		294	9・10・11	132
平成30年11月分		295	12	72

薬草園だより

グァバ（バンジロウ）	与儀和子	294	9・10・11	140
------------	------	-----	---------	-----

転載記事

論壇 琉球大学に薬学部を 人材不足補い学術向上へ	亀谷浩昌	291	1・2	21
文科相に薬学科設置を要請		291	1・2	22
110番の家 新たに11団体 名護署が委嘱		291	1・2	79
服薬忘れ沖縄最多 糖尿病患者調査		292	3・4・5	100
身近な薬剤師 気軽に相談を	西川 裕	292	3・4・5	101
県内医療4団体60万円超を寄附		292	3・4・5	102
茶のみ話 薨の波	狩俣イソ	292	3・4・5	102
健康おきなわ21リレーエッセイ		292	3・4・5	103
「薬局薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業」	幸地良信			
健康フェスで身体チェック 南大東		292	3・4・5	103
論壇 琉球大学に薬剤部を 人材不足補い学術向上へ	亀谷浩昌	293	6・7・8	4
論壇 薬剤師養成校設置願う 県内医療支える人材確保へ	前濱朋子	293	6・7・8	5
論壇 薬学部設立沖縄に貢献 天然資源生かし創薬を	大浦 孝	293	6・7・8	6
薬学部求め署名活動 県薬剤師会、人材定着図る		293	6・7・8	7
薬剤師全国最小「薬学部創設を」署名活動延長		293	6・7・8	8

沖縄県内への薬学部設置「進めることもやむを得ない」	293	6・7・8	9
県内に薬学部創設を 医療3団体が訴え	293	6・7・8	12
薬学部創設「協力を」 県薬剤師会署名呼び掛け	293	6・7・8	12
琉球大に薬学部創設を要望 沖縄県薬など4師会が連名で	293	6・7・8	16
薬学部創設へ10万筆 県薬剤師会 琉大に署名提出	293	6・7・8	17
県内国公立大に薬学部創設 署名10万筆余提出 県薬剤師会、琉球大に	293	6・7・8	18
地元で薬学部を！～創設求め署名活動～	293	6・7・8	19
沖縄県薬、琉球大に薬学部新設を求める署名提出	293	6・7・8	20
人工10万人当たり薬剤師数が全国最下位の沖縄県 理想に向かう薬剤師	293	6・7・8	21
		吉田洋史	150
従軍の祖父思い追悼 殉職医療人碑で参拝	293	6・7・8	151
薬剤師や医師ら 殉職医療人追悼	293	6・7・8	151
後発薬、沖縄使用1位 厚労省、医療費抑制狙う	293	6・7・8	152
利用前に医師・薬剤師へ相談 健康食品を服用 体に合わず返品	293	6・7・8	152
週刊レキオ「故・久場とよアトリエ、盛夏の発表40年」葉月会	294	9・10・11	89
DRUG magazine 薬剤師の「働き方改革」進めよ	294	9・10・11	90
朝日新聞 新時代を拓く薬学教育	294	9・10・11	98
患者第一対話で信頼 旭日小綬章 神村武之さん	295	12	2
空手と私 拳に刻む「報恩継承」 厳しい稽古と仕事両道 神村武之さん	295	12	2
平成30年度薬事功労者厚生労働大臣表彰 上原正徳氏・小湾勝敏氏	295	12	3
伊佐さんに知事表彰 薬事功労、中部地区薬剤師会長	295	12	4
健康づくり推進 6団体がんじゅうさびら表彰 活動も報告	295	12	7
くすりと健康フェア 県民公開講演会	295	12	63
論壇 お薬手帳は健康ツール 本人の症状 スムーズに伝達	295	12	64
		成川賢一	
論壇 「かかりつけ薬剤師」健康と生活サポート	295	12	65
		幸地良信	
薬と健康の週間で講演会 薬の正しい知識学んで	295	12	66
認可外保育園にマスクを4万枚 県医薬品卸業協会が寄贈	295	12	66
薬と健康の週間PR広告 薬局は健康サポート拠点	295	12	67
		日本薬剤師会	
第1回：「かかりつけ薬剤師をもちましょ」	295	12	68
		日本薬剤師会	
第2回：「お薬手帳はお持ちですか」	295	12	69
		日本薬剤師会	
第3回：「薬剤師がご自宅に伺います！」	295	12	70
		日本薬剤師会	
第4回：「薬局の健康サポート機能を上手に活用」	295	12	71
		日本薬剤師会	

会員作品(誌上ギャラリー)

平成29年誌上ギャラリー大賞&優秀賞

写真 廣川 直子「チンクエ・テッレ」(大賞)	291	1・2	裏表紙
写真 吉富 弓江「ダイバー泣かせの貿易風」(優秀作品)	291	1・2	裏表紙
写真「熊野詣」	292	3・4・5	裏表紙
		山里美恵子	
写真「大阪城の梅林」	292	3・4・5	裏表紙
		新垣紀子	
写真「猫2。。。」	292	3・4・5	裏表紙
		潮平英郎	

写真「コペンハーゲンの古い鍵」	狩俣イソ	293	6・7・8	裏表紙
写真「輝かしいサントリーニの青と白」	山里美恵子	294	9・10・11	裏表紙
写真「ブルーインパルス」	山道峻也	291	1・2	裏表紙
写真「スイスのマッターホルンを眺めて」	成川玲子	292	3・4・5	裏表紙
左下「アオウミガメ」	宮本直樹	293	6・7・8	裏表紙
写真「どこかしら秋の気配」	亀谷浩昌	294	9・10・11	裏表紙
写真「SUPボードと慶良間ブルー」	宮本直樹	294	9・10・11	裏表紙
写真「月光」	伊集智英	294	9・10・11	裏表紙
写真「グァバ（バンジロウ）」	薬草園だより 与儀和子	294	12	裏表紙
写真「富士山」	廣川直子	295	12	裏表紙
写真「英国の珍しい花」	成川玲子	295	12	裏表紙
写真「ハマクマノミ」	宮本直樹	295	12	裏表紙
写真「赤瓦の古民家」	吉田久子	295	12	裏表紙

○以下のコーナーについては、ページ等の詳細は省略いたします。

編集後記

県民の皆様へ

あまくま薬立つ情報

お知らせ

会報原稿募集のご案内

県薬が会員に販売している印刷物等

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

開催日が決定した平成29年度の主な行事

地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！

沖縄県薬剤師会 Facebook をご覧ください！

平成30年度沖縄県薬事功労受賞者合同祝賀会案内

“おお！久米島”

台風24号が沖縄を直撃し大きな被害を及ぼしたかと思ったら、台風25号がまた24号と同じコースで沖縄を狙っているというから気が気ではない。というのは、10月7日、8日に久米島旅行を予定しているのである。それは三女が小生と妻に敬老の日のプレゼントとして、飛行機・ホテル・レンタカーを手配し、旅費も持ってくれたからである。日頃の善行のお陰で台風25号も駆け足で去ってくれたのだろう。当日は快晴となった。

ここ数年、小生は自分の生まれ島のことを口にすることが多くなっていくらしい。生まれ島の久米島に行きたいようだと言った娘がそう感じとったことで、このプレゼントに繋がったのである。大変に嬉しく有難いことである。やりたい事、欲しい物は、時々つぶやくと叶うものかなと思うのである。

フライトは約25分くらいであった。高所恐怖症の小生は、着陸態勢に入っても緊張が取れない。滑走路に車輪がゴツンと着地した時、スーッと力が抜けるのを感じた。まずは、久米島と久米島のアウトラインを認識するために幾つかのスポットを選び、見物することにした。

娘の運転で昼食を取れる所へ向かう。飛行場を出ると沢山の松の並木が続く。

「この松は人間の年でいうと幾つぐらいかな？イヤ、青年ぐらいだろう。これから50年も100年も経つと巨木になり、素晴らしい沖縄一の松並木になるだろうなあ」

「50年も100年も待つとは超気が長いこと」

「そうさ、チョウキだもんな」^{※1}

意味不明な会話をしながら久米島博物館に向かう。ここ久米島は、琉球王朝の頃、冊封使が往来し、その他の唐旅は久米島まで来て順風を待って舟出したのであった。当時の帆船の動力は追い風だったのである。ここはつまり、ニライカナイ^{※2}への窓口だったのであろう。海洋国琉球の一大基地だったのであろう。こんな事を思いながら博物館へ向かった。

そこの敷地に石造りの建造物が2基あった。近づくともフル^{※3}と書いてある。これはウファー^{※4}フルであるが、負のイメージの代表なので説明は省く。中に入るとビオトープのレプリカが作られている。久米島の生物達と表示されている。草の下には喜久里へび・昆虫類、木の上にはトカゲ・アカショウビン・手のひら大の青ガエルなどと興味深い。展示場を見る。化石類・生活を支えた民具・農耕器具、さらに古文書・サバニと島の文化の粋が集まっている。別室には小学生達の夏休みの作品が展示されている。敷居を低くし、町民に開放しているようで、大いにグッドである。

8キロほど離れたウミガメ館へ向かう。ここではカメに乗った浦島太郎と乙姫さんが迎えてくれた。中に入ると、大水槽に甲羅が1.2mくらいのウミガメが数匹群れている。近づくとも、人懐っこく寄ってきて優雅な亀の舞を見せてくれた。音声サービスのボタンを押すと、久米島とウミガメの関わり方、産卵の場として最適であるとの解説があつて、その後にはチョッと辛い話があつた。久米島で生まれたカメが大海で成長し故郷へ帰る途中、好物にクラゲを見つけガブッとやる。ところが、これはビニールだった。悲しいかな、そのせいで生命を落としたのである。人間の横着な行いが不幸をつくるのである。今、世界中の海でマイクロプラスチックが増え過ぎて、海の生物の脅威となっているという。反省反省である。

すぐ近くに、五角形・六角形のカメの甲羅のような石が畳のように敷き詰められた海岸がある。大自然の匠の作品であろう。ちょうど満潮だったので防波堤の上から眺めることになったが、娘は下に降りて直近まで近づいていた。余程興味深かったのだろう。今日はこれでチェックインとするか。

2日目は小生の幼い頃の記憶を辿って思い出探しとなった。まずは「やーんぐわあ」と

いう人気のそば処へ行く。12時開店し2時半には閉店という人気の味自慢で、小生達も40分くらい並んで食べることができた。帰り際に店の人に声をかけた。

「70年くらい前にこの辺りに住んでいたの、この辺の話が聞きたい」

と言うと、

「チョット待って」

と奥に引っ込んで、すぐに、

「同年代の人を連れてきました。」

と好々翁を紹介した。紛れもない同年代である。名前を言うと、

「あー、那覇で薬局をしていた人を知っています。」

と叔父の事を覚えていた。色々と話してくれたのである。小生が是非見たい・知りたいた願っていた小学校1年生の時まで住んでいたスキノハルヤ（書記の畑家）は10数年前に取り壊されて、開発予定地で更地になっているとのことである。そこへ行ってみると70年の年月は近くの森や雑木林・畑などを消していた。目をつぶると幼い頃の風景が浮かぶ。古いウチナー風の民家で左側には馬小屋があった。庭の右の方には大きながじゅまるの木、左の方には井戸があり、時々、野良帰りの近所の人がここで手足を洗い、縁側で一休みし、お茶を飲んでいる風景もあった。幼少頃の沢山の思い出は、小生の記憶の中で消えることのない宝物である。

鳥島の海岸に行ってみる。ここは硫黄島島の噴火で住民が移住して作った集落である。その頃は砂浜に行けたのだが、今は高い防波堤ができて、また防波堤で囲まれた漁港もできている。子供の目線で見た風景と今の目線で見た風景はスケールの差が大きい。でもガラサー山とか弁慶岩が「お帰り」と出迎えてくれているようで嬉しい。先日、TVの世界不思議発見でこんな事を聞いた。モンゴルでは大切な人との再会の時、顔をくっつけて匂いを嗅ぎ合う挨拶をすると言う。また、久し振りに帰省した時に、山の匂い・川の匂いを含



久米島の海岸に広がる畳石



ガラサー山

んだ空気を胸一杯に吸い込んで故郷を感じるという。匂いと言えば、鮭が生まれた川から海へ下って、大海で大きく成長し、今度は生まれた川へ戻ってくる。これはその川の水に溶け込んだミネラルの匂いに誘われるからという超能力である。小生がこの地が恋しくやって来たのも、もしかしたら心の中に生物的帰巢本能のひとつかけらがあるのかもしれない。

もう少し時間があつたので車を走らせて上江洲家、太陽石の日時計、五枝の松、チュラ^{※5}ふく木並木、島の絶景を堪能してから機上の人となる。もう一度、ここに来るだろうかはおぼつかない。でもVIVA久米島・・・ 橋の下

- ※1 筆者の名前は朝喜^{チョウキ}
 ※2 海のかなたや海底にあると信じられる理想郷の名称で、来訪信仰の一つ。
 ※3 便所
 ※4 豚
 ※5 美しい



誌上ギャラリー（裏表紙）について

右 上：「富士山」 photo by 廣川直子（ハイジア薬局）

静岡県上空。機内より撮影。東京→那覇の便は、年に数回は乗りますが、このように雲海の上に綺麗に頭を出している富士山は珍しくて写真を撮りました。イタリア旅行の帰りの乗継で、ないちゃーの私はこの景色で「ああ、日本に帰ってきてしまったなあ」と、無事帰国でほっとするのと同時に旅の終わりの寂しさも感じるのです。

中央左：「英国の珍しい花」 photoby 成川玲子（レオナ薬局） 撮影地：イギリス

中央右：「ハマクマノミ」 photo by 宮本直樹（クララ薬局ティエラ） 撮影地：とかしくビーチ

下：「赤瓦の古民家」 photo by 吉田 久子 撮影地：名護市

沖縄県指定有形文化財の「屋部の久護家」は、名護市宇屋部の久護という集落の中にあり、同家の屋号がそのまま集落名になったほどの旧家で、別に「屋部ウェーキ」と呼ばれています。地方豪農の造りを残す旧家で、母屋と同時に、ひんぷん、井戸、文書二点、福木囲いも文化財に指定されています。

編 集 後 記

この号の原稿を校正しているときに、なんと「会報9・10・11月号」が郵送されてきた。今回の編集後記は「年末のご挨拶」にしようと思っていたが急遽変更。「新年あけましておめでとうございます！」2020年は東京オリンピック開催、我が沖縄県では九州山口薬学大会が開催、明るい年になりそうな気がするのですが、私としては1年飛ばして2020年にワープしたいくらいではあるがそうもいかない。2018年後半は米中貿易戦争を始めとする世界の不安定な状況があり、また足下を見れば沖縄県内も重苦しい話題が多く、この先どうなるのか不透明感が漂っている。「9」の付く年には中国では歴史に残る大事件が起きてきたようで2019年も波乱含みの年になるのでは、と憂慮してしまう。しかし、ここで気を取り直して元気に「新年あけましておめでとうございます。今年もおきなわ薬剤師会報をよろしくお祈りします！！」（ピアナ）



今年は暑い、と感じながら早12月です。衣替えの時期があやふやになって久しいですが、12月にはさすがに長袖を着ていたような…。暖かさのためか、患者さんもまだまだ風邪の受診が少ない様子。インフルエンザも大丈夫じゃない？と話す方もちらほら。流行してからでは遅いですよ、と予防接種の推奨をしています。インフルエンザの患者さんは年中いる沖縄県ですが、治療に関しては、以前と異なり、治療の幅が出ています。新しい治療薬、ゾフルーザもその一つ。一回内服すれば、服薬終了となるこの薬。体重によっても服用量が変わるのですが、最大の難点は包装単位。10錠包装となっており、ぴったり使い切ることがなかなか難しい。シオノギさん、一錠包装出してくれませんかね…。（松）



今年を振り返り、あっという間の1年だった気がする。公私共に充実していたのかもしれない。様々な課題が山積みだったけど、周囲の助けもあって前向きに進んでいると実感している。苦難はあるが、基本は『何事も楽しく！』これをモットーに邁進していきたい。来年は更なる飛躍の年になりそうだ！！やりたい事も色々ある。期待と不安、、、考えるとこれがまた楽しい。馬車馬の如くではなく、多方面でのネットワークも構築して面白い活動ができれば幸いだ。その前に皆さん！まずは家庭を大事に！！そこからですよ～ 笑 (ごり)

休暇をとってラオスへ行ってきた。医師数が少なく病院へのアクセスも悪いため、薬局のセルフメディケーションが基本の国らしい。薬局の中をのぞくと雑多だが幅広く薬剤が並べられており、ほとんどが処方箋なしで手に入る(バクタもメルカゾールも)。「ラオスにいったい何があるというんですか？」という村上春樹のタイトルの返しには、私的には「種々の薬が手に入り薬剤師の腕がなるところ」かも。それだけじゃなくてもね、のどかでいいところです。(いさ吉)

お知らせ

Facebook をご覧下さい！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp
 ■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
 ■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
 ■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
 ■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報 第295号 平成30年12月29日発行

◇次号は、平成31年2月下旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／池間記世・前濱朋子・鈴木一徳・石川恵市・伊敷松太郎
 伊差川サヤカ・座覇里奈・安次富大 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子
 八重山地区通信員／金城智史 事務局／大城喜仁 印刷：有限会社 Skill

誌上ギャラリー
(会員作品)
お気軽にご投稿下さい。

